

## ⑥避難生活について

### 【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
7	意見	1日でも早く埼玉加須から撤退してもらいたい。町民皆は、独立して生活している。いつまでもそのような事をしてないで、いち早く退去し、避難所を早急に出してもらい、町役場を福島に戻してほしい。	01福島
9	補償	補償問題を取り上げて、1日でも早くやってほしい。	01福島
11	駐車がほしい	駐車が、一家に1台では足りない。2台は欲しい。	01福島
12	暮らし	加須だと、西も東もわからない。	01福島
18	バイクの音	近隣のバイクの音が夜など気になる。	01福島
21	修繕費	修繕費はどのような意図か。補償費から引かれるのではないか	01福島
22	いつかえられるのか	どのくらいで帰れるのか。帰れないところにお金をもらってもどうしようもない。	01福島
27	財産	自宅には、私たちの財産がいっぱいある。どうしてくれるんですか。	01福島
33	防災関係が少ない	今の避難所は防災無線、大風、大雪でも役場に人がいない。	01福島
54	一時帰宅	動物が繁殖していることによって人に害をもたらさないのか？	01福島
90	願い	何もいらぬ。近いうちにあの世にいきたい。	01福島
95	願い	仮の町にお金を使うのであれば、除染もしくはみんなに配ってほしい。	01福島
204	生活	双葉町にいたら長生きできるのに、今はストレスいっぱい。	01福島
205	医者	長い付き合いの医者と別れて自分の体が心配。	01福島
206	子供	子供がバラバラになってかわいそう。	01福島
207	距離	双葉町町民、国、東電との間に距離があり、話が出来ない。ストレスはそんなところからたまる。	01福島
208	故郷	故郷自慢が出来なくなった。	01福島
209	付き合い	今までの町の人達との付き合いにお金がかかって困っている。	01福島
210	補償	原発補償で今までの生活レベルは確保できるのか？	01福島
212	東電	東電(国)は今の生活を全て補償すべきだ。	01福島
213	友人	大切な友人との距離が遠くてさみしい。	01福島
215	国	国は、町民の自立に早く傾けるべきだ。	01福島
218	生活	ふるさとのない生活はさみしい。	01福島
219	思い出	自宅には、宝がたくさんあるのに、取りに行けない。	01福島
221	つながり	つながりの意味がよくわからなくなった。	01福島
224	補償	住宅補償、精神的苦痛の補償はいつまでか？	01福島
225	補償	ふる里を奪われた補償は十分に。	01福島
226	国の方針	国の方針が不明瞭だ。我々を悩ませるな！	01福島
227	イノシシ	双葉の庭にはイノシシが入ったことなかったのに。	01福島
228	荒れ地になった双葉	双葉町は荒れ放題。それを見ると苦しい。	01福島
263	双葉町	双葉町民の生活の現状を改善してほしい。	01福島
264	これから	私たちはこれからどうなっていくのでしょうか？	01福島
291	町民の声	加須にいる孫たちの学校のことが心配です。	01福島
294	町民の声	何分にすべての補償の支払いがなくては先に進めない。	01福島
298	賠償金	とりあえず、テブコのクレジットカードを全員に配ってほしい。賠償金も多めに一人一億ぐらい配って余ったら返せばいいと思う。	02東京
302	これからの双葉町	双葉町を最終処分場にして、永代供養料として家賃をずっと東電から払ってほしい。	02東京
321	原発	原発が収束するまで補償する。	02東京
342	避難民に対する措置	原発避難民はETCカードを無料配布。	02東京
347	賠償	すべて失った。まずは賠償。	02東京
348	補償	慰謝料と立ち退き料も欲しいです。	02東京
350	置いてきたもの	自宅にはお金に変えられないものがいっぱいある。どうしてくれるのか。	02東京
364	住民票	住民票発行を各地でできるようにしてほしい。	02東京
368	面倒な手続き	諸手続き、住民票の発行が面倒。役場を県内に戻して欲しい。	02東京
388	賠償	原子力賠償の但し書きを適用して、国の責任で賠償を進めてほしい。	02東京
420	住まい	避難先は狭く一戸建てに住みたい。	02東京
430	笑顔	AKB48復興ライブを招待し、双葉町の子供たちに笑顔を。	02東京
441	噂話	噂話には慎重になる。	02東京
479	空気環境	東京ではエアコンがないと生活が出来ない。昔はエアコンなど必要がなかった。	02東京

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
480	心ない声	免許センターで、住民票が無いなら福島に帰れといわれてしまった。	02東京
481	訓練	原発の訓練が全く活かされなかった。	02東京
482	物価	物価が高い。	02東京
483	東電	避難しているのに東電に電気料金を払うのはおかしい！	02東京
510	お墓参り	お墓参りをしたい。	02東京
511	損害賠償	損害賠償についても自由に話せる場がほしい。	02東京
541	落ちつきたい	早く落ちつきたい	02東京
544	タイヤ置き場	夏、冬でタイヤを変えるので、タイヤ置き場が必要。	02東京
545	一軒家	今は県営団地に住んでいるが二年までなので、福島に帰ってから仮設でなくて一軒家に住みたい。	02東京
548	エレベーター	4階なのにエレベーターがない。つけてほしい。	02東京
550	仮の住まい	東京都や区の借上げ公営、みなし公営はいつまで住めるのか。住めなくなるのであれば次に住む先を決めてほしい。用意する主体はどこか。	02東京
555	線引き	早く非居住地域の線引きを決めてほしい。	02東京
557	補償	納得いかない。補償、対応、何も進んでいない。	02東京
564	離れている	総会や集まりに行きたいが交通費が出せない。	02東京
566	補償	東電の補償は、5年分ではなく、福島に戻るまでの期間分ほしい。	02東京
572	高速料金	一時帰宅時の高速料金は無料にしてほしい。	02東京
580	失業手当	失業手当を今回の震災で使ってしまった。20年働いて貯めた分がリセットになるのはおかしい。	02東京
584	20年住んだ家	20年住んだ家。ローンも払い終わり、まだこれからも住める家に戻れないのが悔しい。	02東京
585	一時帰宅	家に残っているものを取りに行きたいが、そのための支援、車両や許可をしっかりとしてほしい。	02東京
586	ローン	住めない家のローンが大変、火災保険も払うようになるのはおかしい。JAに確認する。	02東京
588	住み場所	義父母と一緒に住みたいと言っているが、東京に住むのは大変。福島に戻りたいけど、どこに住んだらいいか。	02東京
589	住宅ローン	住めない家のローンを未だ払い続けている。	02東京
590	電話代	電話代がものすごく高くなった。双葉の町人と話すのが懐かしくてつい長電話になってしまう。話さないとストレスになる。	02東京
593	家電	エアコン、テレビなど1台分しか認めないという東電の回答、今まで双葉で住んでいたときと同じ生活をしたいただけなのに不誠実。	02東京
607	ローンの延滞金	住宅金融公庫代理店東邦銀行支店、ローンの延滞金について返済をしないと全額返済となるというので全額返済した。	02東京
608	体調を崩した	ストレスで体調を崩した。10kgも痩せて円形脱毛症になった。	02東京
618	他人の目	双葉町民が今住んでいる地域の方から等からどう思われているかが気になる。	02東京
628	保険	保険の保証を伸ばしてほしい。	02東京
652	くらし	狭い部屋は嫌。元のゆったりした家に帰りたい。	03柏崎
653	帰宅	雪はもう嫌。双葉町に帰りたい。	03柏崎
658	原発	原発事故でみんなバラバラになってしまった。	03柏崎
661	孫	3月12日に孫が生まれたので、遠くに逃げてきた。	03柏崎
663	不安	子供、孫が今でも不安がる。	03柏崎
666	避難	避難先の仮設アパートが狭い。	03柏崎
667	集まり	みんなで集まった家だった。親戚、家族友達もバラバラ。	03柏崎
668	アパート暮らし	住んでいるのがアパートなので、知らない人ばかり。この地域に溶け込めない。	03柏崎
670	健康検査	健康検査は避難先で実施してほしい。	03柏崎
675	くらし	避難先のアパートは収納スペースが足りない。	03柏崎
676	くらし	仮設アパートは冷暖房環境が乏しい。	03柏崎
677	くらし	足腰が弱っており生活が大変。	03柏崎
679	くらし	1Kの仮設では人間らしい生活ができない。	03柏崎
680	住まい コミュニケーション	仮の町までの生活をそれぞれ自分達でやっておいて、と言うのは良くない。	03柏崎
681	再利用	使われていない仮設の再利用、その土地の活用をするのがよい。	03柏崎
682	家族	親族が皆バラバラになっている状態で、万が一何かあったら集まれるか不安。	03柏崎
691	雪	柏崎の冬の雪は大変だった。	03柏崎
693	帰宅	一時帰宅するときにバスを運行してほしい。	03柏崎
695	高速道路	高速道路の無料化を続けてほしい。	03柏崎
696	補償	家、土地補償を早く行う。	03柏崎

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
703	離ればなれ	原発事故でみんなバラバラになってしまった。	03柏崎
704	電気	電気を送ってきたのに、電気を使ってきたところに文句を言われたくない。	03柏崎
772	要望	東日本大震災等の被災者向け講習を首都圏以外の被災者にも行えるようにしてもらいたい。	03柏崎
785	仕事	住民票がないため、きちんとした仕事に就けない人もいる。	03柏崎
786	仕事	仕事を続けるために、家族と離れて生活している。	03柏崎
787	家	アパートが狭いので広い家が欲しい。	03柏崎
788	アパート	慣れないアパート生活が大変。	03柏崎
789	暮らし	住民票が避難先にないので、気を遣うことが多い。	03柏崎
790	住宅	狭い借上げ住宅にいる。子供たち（といっても成人）も自分の部屋が欲しいと言っている。	03柏崎
792	暮らし	アパートが狭いので、家族の中で個人間の距離が短く、もめることがある。	03柏崎
793	暮らし	どこに住むのか決められない。	03柏崎
794	土地勘	今住んでいる所は、土地勘がなく出歩けない。	03柏崎
802	その他	離れてみて、懐かしさが増す。やはりいい町だったと思う。	03柏崎
819	他の町の人との合流	浪江の人と一緒にあったことがあったが、考え方の違うところがあった。	03柏崎
825	福祉	母は喜多方市に入所→館林市に入所	03柏崎
834	気候	今は群馬県の大泉町、とにかく暑く、寒さもハンパじゃない。	03柏崎
836	気候	暑くて眠れない。疲れて困る。	03柏崎
837	気候	日本で一番暑い所に行ってしまった。	03柏崎
838	気候	凄い暑いところにいるため疲れる。38℃くらいになる。	03柏崎
841	影響	毎日がケンカ、夫婦ケンカが絶えない。	03柏崎
842	意見	原発の事故のおかげでこんなことになった。	03柏崎
846	影響	ここに来たら忘れっぽくなってしまい、夫婦ゲンカになる。	03柏崎
847	不安感	それにしても5年後、どうすればいいのか不信や不安が募る。	03柏崎
849	不安	自分たちが最終的にどこに落ち着けばいいのか不安。	03柏崎
851	他の町の人との合流	賠償のことでうらやましがられている感じがあり、一緒にいるのが辛い。	03柏崎
857	家族とバラバラになってしまったのが寂しい。	当たり前ではなくなってしまった。	03柏崎
863	仕事	転々としているうちに仕事の意欲が落ちてしまった。	03柏崎
866	心配	親達が心配でならない。いわき市に住んでいるためなかなか会えない。	03柏崎
867	家族	60歳を過ぎていて、家族で今後一緒にになれるのか。	03柏崎
870	雪	福島では雪があまり降らないので、柏崎の雪はとても興味が持てた。	03柏崎
873	自分の家	自分の家はどこに何があるかわかった。今の借上げアパートではどこに何があるかわからない。	03柏崎
879	生活場所	現状としては、5年間は柏崎市で暮らしたいと思っているが、先の事はまだ考えていない。土地、家を探しており、安心した老後を考えている。	03柏崎
884	福祉	医療費免除はいつまで続くのか。	03柏崎
885	病院	双葉町ではかかり付けの医者がいたけれども、ここではどこの病院がいいのかわからない。	03柏崎
886	病気	柏崎市に来てから糖尿で入院し、病院から親類に連絡した。	03柏崎
890	避難生活	新築6年の家がなくなってしまった。	03柏崎
892	政府の対応	補償金の受取りがまともになされていない。	03柏崎
893	高速	高速料金や高速バスの料金免除をどうにかしてほしい。	03柏崎
899	不安	健康面、経済面が一番不安！	03柏崎
903	交通費	親戚に会いに行く事が多いので、交通費は出してほしい。	03柏崎
904	今後の進む道	今後の双葉町の進む道、何年後に町に帰れるのか、仮の町は何年後の話なのか。個人の財物の補償、賠償、基準は何を持って算出するのか。国との協議はいつ頃なのか。	03柏崎
964	住まい	双葉町では、家は十分な広さがあった。今の所は刑務所のよう。	04加須
966	生活	引き込もってしまう問題がある。	04加須
970	一律補償	双葉町はあのまま、町を担保にして、補償でみんなが平和に暮らしていければ良い。	04加須
971	会話	犬や人に話しかけているけど結局は虚しくなってしまう。	04加須
984	生活	自分なりの生活空間がほしい。	04加須
1045	野菜づくり	避難先では、水も野菜も味噌も全て買う生活になってしまった。土地を借りて、野菜を育てている。	04加須

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1057	家の鍵	今までは家の鍵を開けたまま外出していた。今は鍵をかけている。騒音にも気を使っている。	04加須
1059	自立できない	避難所には、自立できない人が多くいる。	04加須
1064	一時帰宅	バスで少し帰るだけでも落ち着く。	04加須
1086	環境	お弁当ではなく自炊生活ができれば楽しみも増えるし、経済的にも良い。	04加須
1100	心のケア	音楽による精神の健全保持を始める。（太鼓など誰でもすぐに楽しめる）	04加須
1153	家のローン	次の一歩を踏み出せないのは前の家のローンがあるから。解決できる制度が必要。	04加須
1163	買い物	イオンモールに行きたい。	04加須
1177	バス	復興のバスを運行して欲しい。	05いわき
1178	財産	財産は今後どのようなになるのか？	05いわき
1183	手続き	埼玉といわきでは手続きの速度が違う。	05いわき
1187	復興バス	双葉町～小名浜～いわき市間を運行して欲しい。	05いわき
1202	補償を	補償を早くしっかりしてほしい。	05いわき
1203	WG「とんちんかん」より	この土地では、老人ホームも入れないだろう。	05いわき
1207	WG「とんちんかん」より	孫が双葉町を忘れないようにしてほしい。帰れない時の補償。	05いわき
1216	生活困難	買い物困難者をなくす。	05いわき
1219	税金を払う	いわきに税金を払っていないので、図書館の本も市民としてかりられない。	05いわき
1220	ゼロからのスタート	ゼロからのスタート。	05いわき
1224	建物	建物が立派だが中身がない。	05いわき
1225	放置した家	故郷に帰りたと思うが、何年も帰れなかったら家には住めないです。リフォームしなければ住めない。	05いわき
1226	WG「とんちんかん」より	文化的な生活をする権利。人間として最低限の権利を与えてほしい。	05いわき
1234	優しさ	避難時に心配して見に来てくれることがあった。	05いわき
1239	早くしてほしい	インフラや除染が進んでいないのに何を復興するのか？今は生活支援のみ。	05いわき
1254	生活	いつまでこの生活をしなければならいのでしょうか。	05いわき
1257	差別	仮設の人と借上げの人の差別がすぎることに納得がいかない。	05いわき
1265	賠償	国や町はあてにしていない！自分で土地を買って住むので、早く賠償を進めてほしい。	05いわき
1267	生活	ダイエットに気をつけています。食事、睡眠、運動、教養はほどほどにしています。	05いわき
1268	他の場所での生活の確保	双葉町の時と同じ土地、家を他に確保するにはお金がかかる。	05いわき
1276	仮の町	仮の町は、どこにできるのか。いつまで避難生活が続くのか。	05いわき
1278	補償	補償は決まっている。合意するかしないかだけになっている。	05いわき
1279	体調	帰りたいが、体調がよくない。	05いわき
1291	心配事	避難民ということでバッシングを受ける。子供たちも心配。	05いわき
1307	暮らし	今、県営住宅で騒音の被害が大きくイライラする。これからの住まいでは、集合住宅は性能の良い住まいにしてほしい。	05いわき
1349	生活	もう2年近くも経っている。全額補償してもらって、早く次のステップの生活に移りたい。	05いわき
1352	補償問題	手術するにしても、補償問題が具体的に決まらなければ手術もできない。	05いわき
1356	東電の反応	東電に相談に行っても、上からの指示があるまで答えられないと、落胆するような答え。	05いわき
1358	被曝手帳	被曝手帳で生活保障。	05いわき
1368	避難先	世話になっている避難地への市民税（住民税）をちゃんと払ってもらいたい。肩身が狭い。	05いわき
1369	その他	亡くなった人がいるとき、いわき市長が来たのに、なぜ双葉町長は来ないのか。連絡ぐらいできるはず。	05いわき
1370	補償問題	自立するには補償がしっかりしていなければ、どうにもならない。	05いわき
1380	避難先	いわき市は自分たちの市民の復興でいっぱい。	05いわき
1388	避難先	役場は住民税を各避難地域の自治体に払ってほしい。そうすれば生活できる。	05いわき
1392	現状	死んでいく人を待たれているような気がしてならない。	05いわき
1395	土地の補償	土地の補償額は、せめて道路用地買い上げ並みにしてほしい。	05いわき

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1399	補償問題	まずは、補償が片付かないと決められない。	05いわき
1403	生活レベル	今までと同じ暮らしをしようとすると、とんでもなく高くなってしま	05いわき
1404	現状の課題	現実の今の課題をまず片付けよう。	05いわき
1405	高速料金	避難生活での高速代は無料にしてほしい。	05いわき
1407	避難時	震災時の避難で高速規制、ガソリン不足は大変だった。	05いわき
1408	避難時	避難するときにガソリンが買えなかった。片道通行だったのもおかしい。	05いわき
1409	現状	お医者さんに、東電の用紙を持ってきて証明してほしいと言われる。	05いわき
1410	現在	埼玉限定の枝豆をつくっている。おいしい。	05いわき
1415	受け入れ	埼玉で車検を受け入れてもらえない。そのため、車のナンバーを変え	05いわき
1428	葬式	91歳のおばあさんは、埼玉では葬式したくないと言っている。	05いわき
1429	生きがい	80歳以上になると土いじりがしたい。元気農園に参加して体調が良く	05いわき
1431	書類	請求の書類が分厚く、読みこなせなかった。	05いわき
1432	残してきた家	家の中が草だらけで、ネズミの家になっている。	05いわき
1433	避難生活	避難生活の平等化を早くやるべきだ。	05いわき
1434	住宅ローン	住宅ローンについて何も対応がない。時間が過ぎるだけ。	05いわき
1436	避難先の目	いわきでは避難をしていると白い目で見られる。他県で傷つく。	05いわき
1437	避難状況	避難状況が違い、避難場所によって条件が違う。団結しなきゃならない	05いわき
1445	他の市町村	他の市町村に住んでも肩身の狭い思いをしなくて良い環境をつくってほ	05いわき
1450	避難先	いわきは街灯が少なく夜歩くのは怖い。	05いわき
1451	まちの整備	双葉町は整備が行き届いていた。いわきは行き届いていない。	05いわき
1456	避難生活	親戚を転々とし、人の良い面も悪い面も見えた。	05いわき
1459	暮らし	食事作りは自分でしたい。	05いわき
1460	若者の自立	若い人は早く職につき、自立してほしい。自立できるよう、補助してほ	05いわき
1461	仕事	働かない親をみて育った子どもは教育上よくない。	05いわき
1467	避難生活	仮設と借上げの人で差が大きい。支援物資が来ない。	05いわき
1468	現状	一部の人の行いで、多くの避難者が双葉町民と名乗りづらい。	05いわき
1484	カウンセラー	震災後、避難先の学校に専門のカウンセラーを配置してほしい。今だに	06郡山
1491	補助金	収入が下がって辛い。補助を出してほしい。	06郡山
1493	現状の生活	借上げ住宅に住む高齢者の孤立が目立つ(現状の生活)。	06郡山
1503	送迎サービス	病院の送迎サービス等、バスやタクシーの利用が出来るようにしてほし	06郡山
1509	墓の移転費用	墓の移転費用まで請求したい。	06郡山
1513	高速の無料化	高速の無料化は続けてほしい。	06郡山
1524	支援体制	県の支援体制が整っていなかった。病院、避難所、バスでの避難…。	06郡山
1525	避難のあり方	今後の災害に備え、国、県、全体の取り組みとして、災害弱者に対する	06郡山
1528	場所の提供	畑や田んぼができるような場所を提供してほしい。それに必要な機械も	06郡山
1535	遊ばせられる公園	子供を思いっきり遊ばせられる公園をつくってほしい。	06郡山
1542	仕事	今まで農業をしていたが、朝の水やり、草むしり、何もなくなってい	06郡山
1544	生きがい	避難地と自分たちの生活リズムが違う。今まで田んぼを見るのが生きが	06郡山
1546	避難時	ペットと一緒に住みたいから、仮設を探すのが大変だった。	06郡山
1547	一時帰宅	自宅に入るのにも草刈りが必要。	06郡山
1548	人との会話	誰かと話すことで、気持ちがスッキリする。	06郡山
1549	仮設住宅の広さ	津波で家がなくなった方の仮設住宅と、放射能の避難者の仮設住宅の必	06郡山
1550	情報	情報が役場に伝わらないため、タイミングがずれてしまう事が多く、損	06郡山
1551	一時帰宅	一時帰宅で何を持って帰ってきてよいか、判断に困っている。	06郡山
1555	家	安定できる家をもつ。仮設では希望がない。	06郡山
1556	費用、証明	何をしてもお金や証明が必要になってしまう。	06郡山
1558	借上げ住宅	仮設住宅で行われているイベントがうらやましい。借上げ住宅は孤独。	06郡山

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1561	疎遠	今までの縁は変わってしまっている。親兄弟すら疎遠になってしまう。組単位の冠婚葬祭もなくなってしまっている。	06郡山
1567	高齢者	仮設に住む高齢者の方がかわいそうになる。白黒決めてもらわないと、あまり避難が長引くと、未来が描けない。	06郡山
1581	先の不安	仮設の向こうに何が見えるのか、見えない現状を見えるものにしたい。	06郡山
1594	一時帰宅	一時帰宅、5回目になると眺めるだけ。住む所ではないなと感じてしまう。	06郡山
1597	東電	東電のコールセンターに電話をかけても、怒りが爆発してしまい、抑えが利かなくなってしまう。	06郡山
1600	情報	借上げ住宅は孤独で、情報が入って来ずらい。	06郡山
1601	仮設住宅	仮設住宅には希望はない。	06郡山
1609	賠償	賠償についても、前提が異なるはずなのに、帰町前提になっているのはおかしい。	06郡山
1637	ストレスの原因	借上げ住宅か仮設かによって差が大きい。	06郡山
1639	家庭菜園	家庭菜園などができる庭がほしい。	06郡山
1644	住環境	借上げ住宅、仮設によって差が大きいのがストレスの原因になっている。	06郡山
1646	避難先	避難先の見方が変わってきた。	06郡山
1652	福祉	医療、高速道路の無料化を続けてほしい。	06郡山
1655	補償	2011年11月以降に発症した病気に対する補償もしてほしい。	06郡山
1667	住宅ローン	住宅ローンの利息を東京電力に払ってほしい。	06郡山
1694	よその町	新しい町に簡単には溶け込めない。	06郡山
1695	電気料金等	電気料金等を下げてほしい（考慮してほしい）。	06郡山
1701	新しい場所=避難場所	新しい場所が自分の町だと思えない。避難場所ではない。	06郡山
1702	負担になりたくない	新しい地域の方たちの負担になっていることが心苦しい。	06郡山
1704	補償	補償について、早く明確に提示してほしい。	06郡山
1706	生活	法の下で平等なのか、知りたい。	06郡山
1713	体調	震災後、血圧が下がらなかった。	06郡山
1714	娯楽	思い切り走りたい。釣りがしたい。	06郡山
1718	双葉町	双葉町全体を国に買ってもらう。	06郡山
1720	希望を	希望がもてる情報がほしい。前に進めないでいる。もう限界。	06郡山
1722	避難生活は限界	賠償を早く適正に進めてもらいたい。避難生活は限界にきている。	06郡山
1724	二重ローン対策に法律を変えて	新築で1ヶ月で被災し、住宅ローンがまるっきり残っている。二重ローンにならないよう法律を変えて欲しい。今の法律では対象外となっている。	06郡山
1727	友人の所に会いに行く費用	他県に避難している友人の所に会いに行く費用を1ヶ月1回認めてほしい。	06郡山
1728	状況	どんどん状況は悪くなっていく。	06郡山
1745	財産	会社の重機や機械を早く持ち出したい。	06郡山
1753	避難者が肩身の狭い思いをしている	避難先の市町村に町から「ふるさと納税」すれば、避難者が肩身の狭い思いをしないのでは？	06郡山
1758	賠償	精神的苦痛の部分をもっときちんと賠償してほしい。	06郡山
1759	賠償	賠償について、ワンストップサービス機関を設けてほしい。	06郡山
1764	国に求む	高速道路の無料化を続けてほしい。	06郡山
1769	情報公開してほしい	再建、賠償関連のノウハウを集めて、みんなに情報公開してほしい。	06郡山
1784	借上げ住宅	借上げ住宅が見つからないまま、仮設を追い出された。	06郡山
1785	格差	借上げ住宅と仮設住宅を使っている人を、平等にしてほしい。（支援物資）	06郡山
1788	不安	この先どうしていいか不安だらけ。いつまでこんな生活が続くのか。	06郡山
1789	精神的苦痛	日が経つにつれて、精神的苦痛はひどくなっている。早く生活基盤をしっかりとらせてほしい。	06郡山
1795	仮設住宅	仮設住宅で体操をしたり、作品を作ったりしている。	06郡山
1797	気がついたら	情報も得られず、気が付けば雪国に避難していた。	06郡山
1799	牛、豚	先日自宅に戻るときに牛や豚が巨大化して道路にいた。	06郡山
1802	東電	被害者に対する賠償の意識が、まるでない。	06郡山
1813	補償情報	補償関係の情報が不足している。	06郡山
1819	窓口	様々な事への窓口が分からない。明確にしてほしい。	06郡山
1839	生活	今までの生活パターンが崩れるとストレスになる。	07つくば
1840	住宅ローン	住宅ローンが10~20年残ってる人も多い。	07つくば
1841	仮設の手入れ	つくばの仮設住居周辺の雑木、雑草は自分達できれいにした。	07つくば
1842	住まい	（つくば公務員住宅）建物は手入れすればきれいになる。以前は誘いつらかったが、今はもっと他の人を誘いたいと思う。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1843	住宅	（つくば吾妻）6棟あって2棟で11世帯しか住んでいない。利用できれば利用した方がいい。	07つくば
1844	生活	いつまで今のところ（つくば吾妻）にいられるのか、今は満足しているが不安ではない。	07つくば
1845	一時帰宅	一時帰宅のために道路を直してほしい。	07つくば
1846	一時帰宅	一時帰宅を簡単にできるようにしてほしいのと同時に、防犯も強化してほしい。	07つくば
1847	補償	補償がクリアされれば、住民票をつくばに移す。	07つくば
1848	暮らし	ゴミひとつ出すのに迷惑をかけたくない。	07つくば
1849	住民票	住民票を移していないので、つくば市に気兼ねあり。	07つくば
1850	横のつながり	もう少し快適に横のつながりを。風通しよく集まれるといい。	07つくば
1851	つくばでの生活	何とかして、つくばに居させてほしい。	07つくば
1852	つくばでの生活	つくばから出ていきたくない。交通が便利で人々が親切。	07つくば
1853	つくばでの生活	つくばは居心地がいい。出ていく3年後が不安。	07つくば
1854	生活	今は2人で十分の広さがある。何かあれば自分で直す。	07つくば
1855	生活	つくばの仮住まいでドアの開く方向を反対に改造した。	07つくば
1856	抵抗	福島の商品を親しい人に送るにも抵抗がある。	07つくば
1857	抵抗	未だに福島の産地に対する抵抗がある。	07つくば
1859	今の生活	つくばが気に入ってきている。	07つくば
1861	今の生活	今現在はそれなりに幸せ。	07つくば
1865	つくば	つくばは全国から集まった住人が多いので入り込みやすい。	07つくば
1871	国の方針	国の方針が出ないことには先のことを考えられない。	07つくば
1875	元の家	不在の家は傷む。ネズミも発生していた。	07つくば
1876	感情	同じ東北同士だと、難しい感情の問題がある。	07つくば
1881	仕事	現在避難先で、栽培方法などの教授をお仕事としている人もいる。	07つくば
1887	仕事	仕事を失って、それに対する不安が解消できない。	07つくば
1889	サポート	サポートがだんだん薄くなってきている。	07つくば
1890	一時帰宅	帰る度に家の老朽化と崩壊を実感して悲しい。	07つくば
1892	借上げ住宅制度	借上げ住宅制度を継続してほしい。	07つくば
1894	コミュニティの崩壊	近所の人達の居場所がわからない。コミュニティの絆が完全になくなってしまった。	07つくば
1895	現状の生活	現状に安定を感じる人もいる。	07つくば
1896	復興と避難	復興と避難は違う。避難をどう回避させてもらえるのか。	07つくば
1899	健康	避難しているお年寄りにはむしろ健康を維持できている人も多い。	07つくば
1901	娯楽	プランターを買って野菜作りなどをするのが生活の楽しみ。	07つくば
1903	娯楽	月～金のお年寄り向けのニコニコ学級（折り紙やぬり絵）	07つくば
1904	娯楽	図書館に行くことが楽しみ。	07つくば
1906	娯楽	美術館に行くと鑑賞する時間が楽しみ。	07つくば
1932	避難状況	いわき市に電力関係の人は土地を買っている現状だ。	07つくば
1937	避難生活	避難時に7回も移動した。	07つくば
1940	避難生活の課題	交流会に行きたいけれど行けない人に声かけをしていたが、それがなくなってきたのが残念。今日来れない人の代弁でもある。	07つくば
1941	避難生活の課題	移ってきたばかりの時は共有していたが、今は自分の生活だけに目がいつている。余裕ができつつも精神的に限界。	07つくば
1942	長引く避難生活での課題	ずっとこの町（避難先）にいるのであればよい。人間関係を継続させるのがよいが、今の生活では諦めてしまう現状がある。	07つくば
1943	地域の人たちの現状	議会懇談会で愛媛に避難している人の現状の暮らしぶりを知った。役場事務機能としてやるべき。	07つくば
1944	避難生活での課題	つくば全体の自治会は、全体を見る役割だと思うが、各グループが拡大してしまっている。	07つくば
1945	避難生活での課題	この時間を使って絆づくり。	07つくば
1948	手厚いつくば市の支援	つくば市は月一回、交流会が役場職員が家庭訪問をしてくれる。	07つくば
1966	賠償	申請しても賠償金がもらえない。	07つくば
2012	ストレス	この鬱々とした重く暗い気持ちをなんとかしてくれ！	07つくば
2020	ストレス	双葉町から自殺者が出ないような対策をしてほしい。	07つくば
2056	補償	今の補償では満足できない！もっと上げてほしい。	07つくば
2057	住民票	住民票のことで細かくて大変。就職面接で住民票移せと言われるが、簡単でない。	07つくば
2060	今の生活	双葉町に住んでいた家より悪い、古い環境になぜ我慢して住まなければならないのか。	07つくば
2061	役場移転後	役場が加須市からいわき市に移っても、週一でもいいのでバスを出してほしい。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2062	仮設住宅の制度	福島県の仮設に入った人が、県外で仮設に入れたい。つくばに移りたい人が移れない。制度の見直しを。	07つくば
2065	全額補償	政府、東電へ、双葉町に残してきた住宅に住めないのなら、全額補償してほしい。	07つくば
2067	今の生活	畑つきの一戸建てがよいが、なかなかいい物件が少ない。	07つくば
2073	双葉町の家	原発避難区域にある住戸は、今ひどい状況にある。5年も経てば間違いなく住めないだろう。	07つくば
2075	平等な支援	双葉町民を悪く言うつもりはないが、双葉町で町営団地に住んでいた人と家を持っていた人に、避難後の格差がある。一町民として、平等に施しを受けることはできないだろうか。	07つくば
2078	高速料金無料化	高速料金無料化をもっと続けてほしい。	07つくば
2081	補償	国、東電に、健康に対する補償をしてほしい。	07つくば
2088	土地の代替	もし帰れないのなら、同じような土地を代替してもらうのがよい。	07つくば
2092	補償	補償の分類は、番地ごとでなく家族ごとに統一せよ。	07つくば
2098	賠償	金で賠償を考えるが、時間を考えてほしい。	07つくば
2099	補償	同一世代家族、親子関係は兄弟は補償してほしい。	07つくば
2113	差別	願わくば、福島の女性が変に見られないよう皆で注意して生活していきたい。	07つくば
2115	避難生活	コミュニティということでくっついているのも分かるが、まいてしまう。	07つくば
2117	家財の保管	家財を一時保管できるとよい。コンテナのようなもの。	07つくば
2118	避難生活	つくばは中古物件が少ない。リフォームは魅力的。今まで戸建てだったので、窮屈で戸惑っている。	07つくば
2120	ペット	ペットが飼えない。犬がいると高齢者の元気が出る。	07つくば
2121	避難生活	温和しい地域の町民が、避難して人間性が変質するのを見るのは悲しい。	07つくば
2123	現在の生活	毎日が平和過ぎたため、現在は大変戸惑っている。	07つくば
2124	現在の生活	井の中の蛙であったが、3.11以降、別の人生となった。	07つくば
2158	つくばのインフラ	つくばは学校、病院、公園が近くにあると良い。	07つくば
2159	つくばのインフラ	つくばは社会インフラが充実している。（学校、医療、公園など）	07つくば
2160	支援	つくば市内の大学の支援が充実している。	07つくば
2173	住宅支援期間	仮設、借上げ住宅の支援期間の先はどうなるのか。打ち切られたら生活できない。	07つくば
2175	子供たちのつながり	避難先で双葉の子供たちが会えるように日にちを決めて遊んでいる。（松代）	07つくば
2176	ペット	動物を飼いたい、規則上できない。	07つくば
2179	賠償	東電の賠償の見通しが立たないから、今後の生活の方向性がつけられない。	07つくば
2181	人間関係	震災で人間関係が冷えきってしまった。家族、行政区自体も崩れつつある。	07つくば
2182	避難先での不便	避難先でゴミが捨てられない人がいる。（近隣の目を気にして捨てられない）	07つくば
2198	せめてもの願い	帰る見込みはないが、せめて補償をしてほしい。	08全体
2200	やっぱり双葉町民は一つ！	あまりに町民が分断しすぎると、町のコミュニティの維持が図れるか不安。	08全体
2201	住まいへの不安	仮設、借上げ住宅の入居期限が心配。	08全体
2203	放射能汚染	東京に来て初めて病院に行った時、全身スクリーニングされて驚いた。	08全体
2205	今後の暮らしの不安	仮設住宅の中に交流の場をつくったが、仮設は5年しかいられない。	08全体
2208	家族の分断	じいちゃんばあちゃんは県内。子供、孫世代は県外。これが家族の分断になる。	08全体
2225	住まい	自分の家があって別につくるのは納得しない。3年で今の家は期限が切れる。	08全体
2226	住まいの違い	双葉町では一軒家だったので、定年の年になって都内のアパート暮らしは辛い。	08全体
2227	双葉の風景	一時帰宅の時、94歳の父が海が見たいと言ったので、連れて行ったら少し元気になった。	08全体
2229	補償の問題	事故の関連でなければお金が下りない。途中で死亡、医者にかかった場合、カルテを出しても同様である。	08全体
2233	高齢者の住環境	借上げ住宅で高層階に住んだ高齢者が、民間の賃貸に移った。災害公営住宅でも、5階建てでもエレベーターをつけるべき。高齢者への配慮が必要。	08全体



no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2237	住みたい場所	福島でも年寄りと若い世代が離れて暮らしている。とにかく放射能がない場所がいい。	08全体
2241	賠償問題	これからも賠償請求は厳しくなるのではないか。	08全体
2242	一時立入費用	一時立入費用も東電から出ししづらされた。	08全体
2251	賠償の問題	賠償の際、避難生活との因果関係を証明するのは難しい。	08全体
2252	賠償請求の書類	東電に、賠償請求のため診断書だけでなくカルテも要求された。	08全体
2253	賠償問題	帰れる見込みがないから、母が活着ているうちに何とかして賠償などを解決したかった。	08全体
2256	震災直後	震災の後、家族を探すのは大変だった。ネットでやっと消息が分かった。	08全体
2261	避難時	爆発した後、移動中に亡くなった方はいない。	08全体
2269	生活再建の資金	生活再建をするためには、やはりお金が必要。	08全体
2271	お墓参り	お墓参りは、少なくとも年に1、2回はしたい。	08全体
2274	前向きな気持ち	終わったことは気にしない。前向きに笑ってみんなで話したりすることが大切。	08全体
2275	住宅の性能	長期的な避難が必要な双葉町にとっては、仮設住宅は適切ではない。	08全体
2276	役場職員の対応	避難先の役場の方の対応が、時折冷たい気がする。	08全体
2277	避難先のコミュニティ	避難先でコミュニティ(自治体)がいくつかに別れているが、これは現状の調和として必ずしも悪くない。	08全体
2278	避難先での交流	避難生活での不安をできる限り和らげるために、仲の良い人たちで集まるのも意味がある。	08全体
2288	地域への溶け込み方	地域の輪に溶け込みたいが、初めて来た土地なのでとっかかりがわからない。	08全体
2300	東電に対して	東電には誠意を持った対応をしてほしい。	08全体
2302	賠償弁護団に向けて	賠償弁護団には、避難者のために強く闘って欲しい。	08全体
2303	賠償問題の情報公開	弁護団が直面している賠償に関する問題点を、町は情報公開して欲しい。	08全体
2304	東電に対して	過去には戻れない。東電は今最善を尽くして欲しい。	08全体
2306	東電、経産省に対して	東電も経産省も「すみません」しか言わない。誠意ある対応が欲しい。	08全体
2307	避難先の選択	放射能の少ない加須市に避難したことは正しかったと思う。	08全体
2309	支援	県知事が、1年経ち少しは落ち着いただろうと県外の避難者への支援を打ち切るのを、撤回すべき。	08全体
2311	治療	病気でリハビリ中の人が、避難によってまともな治療ができなくなった。	08全体
2319	期限	厚生労働省は原則を守ろうと必死だが、前例がないのだからもっと慎重にやって欲しい。	08全体
2321	期限延長	仮設、借上げの期間を落ち着くまでは伸ばして欲しい。	08全体
2322	負担	高速無料、医療費補助などの期限は延長して欲しい。墓参りや医者へ行く負担が増えてしまう。	08全体
2329	受け入れ	知事が他県からの受け入れを断るのはどういうことか。	08全体
2330	つくば	つくば避難者で帰りたいたった人は聞いたことがない。	08全体
2336	県外への移動	県内から県外への移動を禁止しない	08全体
2339	つくば	つくばはいい所だが、みなさんに迷惑をかけないよう気を使っている。	08全体
2343	線量計の値表示	一時帰宅の際の線量計の値が「ミリシーベルト」に変わった。値が小さくなったように感じてしまう。	08全体
2344	町長の判断	町長が子供、孫、曾孫のことまで考えて、被曝線量が低いところへ避難させたのは評価できる。	08全体
2374	仮の町を作ることに ついて	仮の町はお年寄りには必要だが、働ける世代は自立すべき。生活再建するための賠償を早急にしてもらう方が、仮の町を作る事よりも先決。	東京G
2380	避難生活	避難して1年かかってやっと電車に乗れたり、外に出歩けるようになった。	東京G
2384	避難生活	避難生活は限界を感じている(住居の不便さ、ホッとできない精神的なストレス)。	東京G
2396	精神的な苦痛	数値に表せるものではないが、精神的苦痛は、東電に訴え続けたいといけない。	東京G
2398	紛争解決センター	紛争解決センターの現状からみて、もっと投げかけていかないといけない。	東京G
2410	ローン・固定資産税	東電、国が結論を収束させてしまう前に、こちらは策を考えないといけない。	東京G
2419	仮設を出る	仮設ではなく集合住宅でよいので、早く住める場所に行きたいという声を多く聞く。	東京G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2425	仮の町の移転先	東京に移住して1年9ヶ月経ち、東京の生活に慣れて来た。もしも仮の町が茨城や福島にできるのであれば戻らない。仮の町が東京または東京近郊で一戸建てという条件なら、そこに住みたい。	東京G
2434	一時帰宅	一時帰宅の入町・退町の際に、何度も止められるが、町民の場合もう少し簡素化できないものだろうか。	東京G
2436	優先事項は賠償の解決	賠償についてが一番の優先事項。	さくらG
2438	賠償について	何をやるにもお金が必要、人に頼るだけでは立ち行かない。	さくらG
2439	10年かかるなら国が借上げ	10年かかるのであれば、国が借上げてほしい。	さくらG
2443	帰れないことが決定した際の動揺	帰れないのはわかっているが、実際に、国からここには戻れないと言われたら、ショックを受けてふさぎこんでしまうだろう。	さくらG
2445	必要なのは法律的バックアップ	住民票の問題など、法律的なバックアップが必要。カットされた医療費についても同様に。	さくらG
2446	当面の課題として	いつまで、今の場所＝仮設住宅・借上げ住宅にいられるのだろうか	さくらG
2447	仮設の耐用年数	仮設住宅の耐用年数が知りたい。また、一棟建てるのに600万以上かかると聞くと、仮設といっても費用がかかるので、計画をしてほしい。	さくらG
2448	仮設の現状	現在、住まなくなった富田町の仮設を壊して、移設していると聞く。	さくらG
2460	火災の責任	9月15日に帰ったら、草ぼうぼうだった。冬を過ぎれば乾燥して火事の危険がある。もし今の双葉町に火が出たら全滅してしまう。その賠償はどうなるのか、東電・国がとるのか？	さくらG
2475	賠償の問題	何年と決められないのは、損害賠償の部分。	さくらG
2476	現在の双葉町について	賠償してもらった後、所有権が自分にある家の管理はどうするのか。	さくらG
2477	賠償の問題	財物の賠償について、登記をした人にだけ案内がいつている。14,000円/m <sup>2</sup> とのことだが、もらっても直せない。	さくらG
2478	賠償の問題	賠償について、具体的な話が何も出てこない。抽象的で何も分からない。	さくらG
2479	賠償の問題	放射線被害がなければ、地震後すぐにお墓を直したが、立ち入れなかったのも今も倒れたまま。東電は賠償すべき。	さくらG
2480	賠償の問題	故郷がなくなったら、そのことについても賠償してもらいたい。墓についても賠償してもらいたい。	さくらG
2481	今後の双葉町について	個人個人価値観が違うのだから、早く賠償してくれさえすればいい。	さくらG
2483	現在の双葉町について	お墓は地震の被害。これは誰が補償してくれるというものではないが、先祖を見捨てるわけにはいかない。	さくらG
2486	今の暮らしについて	建物が1～2年でできるわけがない。普通では5年くらいかかる。自分は生きていないかもしれない。	さくらG
2515	賠償の問題	東電の説明会で家屋の修繕費のことを言っていたが、修繕費をもらっても帰れないので意味がない。	さくらG
2529	町長への要望	早く仮設住宅を出たい。だから早く双葉町に将来の方向性を決めてほしい。	日和田G
2530	仮の町を決める上での希望	仮の町はどこがよいかは、賠償の内容で決めたいが、賠償の内容が決まらなると土地や家を求めることはできない。（計画できない）	日和田G
2531	東電の対応について	銀行の融資も受けられないので、まずは賠償の内容を決めてほしい。	日和田G
2539	現在の生活について	日和田仮設は結露の問題が酷い。天井から水滴が落ちてくる。業者に尋ねると「郡山は当たり前」と言われる。双葉町の気候のよさが分かった。	日和田G
2540	現在の生活について	仮設住宅の住環境改善は、自費になるが、いつまでも仮設住宅に居るわけではないので、無駄な出費は避けたいし余裕もない。	日和田G
2541	現在の生活について	仮設住宅の生活では、物置きが少なく不便すぎる。共同物置が小さいうえに盗難の危険がある。	日和田G
2542	現在の生活について	仮設住宅にもう少し大きな共同の物置が欲しいが、福島県は仮設の空室を使えという。双葉町は空室の使用はダメという。	日和田G
2543	現在の生活について	他と比較して、仮設にコンビニや病院が併設されていたりしているが双葉町の仮設住宅は整備が不十分。	日和田G
2544	現在の生活について	波江町の仮設住宅では、浪江町のクリニックが仮設住宅に移転している。知っている先生に診てもらった方が安心なのでうらやましい。	日和田G
2549	賠償	とにかく、何よりも賠償問題の解決が先。それが決まらなると住まいも考えられないし、仕事も見つけれない。	日和田G
2569	東電の対応について	賠償に不満がある。損失分しか保証しないので住宅ローンを払うと無くなる。なので新たに生活を始められるような保障をしてもらわないと困る。	日和田G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2571	仮設住宅での暮らし	他の仮設住宅では、網戸が付いていないので窓が開けられないという話を聞いたが、ここ（日和田）は、近くに下水処理場があり、匂いがひどくて窓が開けられない。1年のうち、開けられるのは、冬だけ。	日和田G
2572	仮設住宅での暮らし	仮設住宅で生活する人にとっては、次の住まいをどうするかが一番の問題。お金があれば、自分で土地も家も買うかもしれないけれど、できないから仮設住宅にいる。牢屋にはいっているのと同じ気持ち。	日和田G
2578	現在の生活について	早く仮設（日和田）を出たい。結露が酷くて布団や洋服のカビが酷い。冬期間は洗濯物も乾かない。健康にも悪い。	日和田G
2587	仮の町を決める上での希望	具体的な国の補償を明確に決めてほしい。（それを踏まえてから自分で決められる）	日和田G
2596	仮設住宅での暮らし	日和田の仮設住宅は、前に移動するという話が役場からあった。その理由が「放射線の線量が高いから」。この理由で一方向的に、移動したら、仮設住宅の周りで、普通に生活している人に対する風評被害を残して立ち去ることになる。そんなことはできない。町はそこまで考えているのか、わからないが、理由が気に入らなかった。	日和田G
2604	仕事・就職について	うちの娘は、子どもがストレスで精神的におかしくなり、働きに出られない。	会津若松G
2606	現在の生活について	仮設住宅（城前）はとにかく狭くて気分的にも辛く、住居という感覚ではない。今の心境は「いつまで仮設住宅を我慢できるか」。今までは50坪の家2つに600坪位の畑があった。	会津若松G
2607	東電の賠償について	老後のためにせつかく家を建てた（8年）。賠償も、現在の基準では土地を買えば終わりで、「再建」とはほど遠い。	会津若松G
2608	東電の賠償について	補償基準は、せめて普通の家に30年住める（それでもこれまでの10分の1だが）状態にしてほしい。	会津若松G
2609	仮の町を決めるうえでの希望	もし家を一軒建てられる補償がでるのなら、浜通りに住みたい。	会津若松G
2612	仮の町を決めるうえでの希望	仮設住宅での生活はいよいよ限界なので、仮の町の場所を早く決めてほしい。	会津若松G
2614	仮の町を決めるうえでの希望	双葉町町民の元の生活環境（戸建や集合など）を調査して、その条件に類似したものを丁寧に準備してほしい。皆そんなに器用ではないから生活様式が変わると困惑する。（仮設で痛感した）	会津若松G
2617	東電の賠償について	築〇年での一律補償では困る。100年の住宅を何度もリフォームしてずっと住んできたし、これからも暮らしていくはずだった。	会津若松G
2618	東電の賠償について	毎年毎年「良くしよう」と思って、塀を直したり、側溝をつくったりお金をかけてきたのに、築年数が経っているという基準の補償とは合わない。	会津若松G
2620	現在の生活について	娘夫婦と一緒に住みたいが、人数制限があるので広いところを借りられない。だから少し離れて生活しているが、雪道が怖くて運転できず会いに行けない。	会津若松G
2624	現在の生活について	会津ではまだ自治会がない。自治会をつくりたい。	会津若松G
2631	現在の生活について	現在の生活は、とにかく雪がものすこいので不便。	会津若松G
2636	東電の賠償について	補償内容をもっと細分化してほしい。仏壇だって何百万もしたのに「それは家財道具あつかい」では困る。	会津若松G
2637	東電の賠償について	バイクについても、250CC以上じゃないという理由で補償されない。	会津若松G
2642	国のはたすべき責任	直接利害関係のある東電にやらせているから、補償もなかなか進まないのだと思う。だから国がやるべき。	会津若松G
2643	差別的な対応への不満	避難者は県外に行くと「税金で生活してる」と思われてしまうので肩身が狭い。	会津若松G
2646	国の果たすべき責任	現在補償を受けているが、先が決まらず将来が見えないからお金も怖くて使えない。国がはっきりしないと、我々は将来設計をしたくてもできない。	会津若松G
2648	生活再建について	「帰れないので自立してください&生活再建のための補償を出してくれる」となれば、皆自分で将来の選択をするつもりだ。	会津若松G
2649	仮の町を決めるうえでの希望	皆の顔が違うように希望も皆違うので、仮の町を作り、補償を決めてもらい、町民が選択するようにしてほしい。	会津若松G
2655	賠償基準について	避難生活はいつまで我慢できるかという状況にある。賠償に関しては、あの基準では土地を買って終わりになってしまう、生活の再建にならない。	会津若松G
2657	賠償について	3年で賠償打ち切りにしないということを確認してほしい。ここが一番不安であり、その確認をとることが最も必要なこと。	会津若松G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2658	会津に来るまで	避難は大変だった、うちのお父さんは心臓がわるいためいつも薬を飲んでいましたが、着の身着のままできてどうなることかと思った。双葉町でも、埼玉の避難先でも、大変お世話になった「石田先生」は今どうなされているのか。	会津若松G
2659	東電と個人を直接やりとりさせない機能がほしい	東電への請求に関してのやりとりについて、今まで辛い思いをしてきた。実際に会って説明をする方は親身に聞いてくれるが、電話での担当は事務的で何も考慮されておらず、何度くやしい思いをしてきたか。ただでさえ、我慢の日々を過ごしているのに、追い打ちをかけるように、当事者である東電からつらい対応をされることに憤りを感じている。お父さんは心臓が悪いので負担をかけてはならず、私がすべて対応している。 このような思いを抱えている人は大勢いると思うので、毎日の課題や苦情を集約して、皆と共有できるような機能＝町役場の中にあってもいい、をつくってほしい。個人と大企業である東電が直接やり合うのは限界がある。	会津若松G
2667	銀行	息子の家に引っ越したとしても、自分の利用している銀行がないので、不便。	北幹線G
2672	自立した暮らし	自分自身は障害者（手足が不自由）だけれども、1人で借上げ住宅で自立している。やろうと思えば何でもできるのだから、加須に避難所をいつまでもおくのは良くない。	北幹線G
2675	子どもたちに関すること	子どもたちも、まだ小さいが以前の友人を覚えている。たまに暴れることがあり、子どももストレスが溜まっていると思う。	北幹線G
2681	町長への意見	中間貯蔵施設は生涯認めない。精神的苦痛の賠償金35万円を取り下げない。この2つが問題になってさっぱり進まないし、我々には情報がほとんど入ってこない。	北幹線G
2687	東電の補償について	自立力のある知人はみんな「土地を買った」、「家を買った」という声を聞く。このような話を聞くと、取り残されているのではないかと我々もあせってくる。だから早く補償を決めてほしい。	北幹線G
2697	東電の補償について	補償額を早く決めて、町民に生活再建させるべき。	北幹線G
2699	双葉町への帰還について	「補償金をもらったならあなたは双葉町にもどりますか」というアンケートを取ったほうがよい。	北幹線G
2702	生活再建について	他の町民（知人）が「家を買った」、「土地を買った」という話をきくが、私にはお金もないし、この先どうするかについて気がもめて仕方がない。	北幹線G
2703	現在の生活について	今住んでいる仮設住宅は、物置がなく物があふれているので、長時間の滞在は不可能だから孫たちも段々来なくなった。	北幹線G
2704	現在の生活について	昔からの友人や心を許せる友人が近くにいないので、電話代も毎月2万円もかかっている。早く現在の避難生活から卒業したい。	北幹線G
2705	現在の生活について	車もないし、買い物もタクシーで行っている。タクシー代も月に2万円位かかる。	北幹線G
2707	現在の心境	同じ行政区だった人はバラバラになってしまった。家を買った人もいる。お金の無い人はどうすることもできない。	北幹線G
2708	現在の生活について	家族がある程度まとまっている世帯は、補償も人数分集めればそれなりの金額になるが、1人暮らしの年寄りは大変。	北幹線G
2709	現在の生活について	お金をもらっても、先が分からないので怖くて使えない。いつ無くなってしまいかもわからない。	北幹線G
2710	国、県、町に対するおmoi	議員は私たちの気持ちは分かっている。1カ月くらい仮設住宅で生活してみればいいと思う。	北幹線G
2711	東電の補償について	前は嫁と孫2人と暮らしていたが、現在は仮設住宅に1人である。今後どうしたらよいか、補償が決まらないうと先々どうするか決められない。	北幹線G
2712	東電の補償について	東電に賠償の請求をしたが、ほとんどが認めてもらえず、もうあきらめてしまった。今は年金で生活している。	北幹線G
2713	現在の生活について	足が悪いので大原病院に通っているが、交通手段がタクシーなので1回1,000円くらいかかるので経済的にも大変。	北幹線G
2714	現在の生活について	今までは広い家だったので、仮設住宅の生活にどうしてもなじめない。健康にも悪いのでなるべく表に出るようにしている。	北幹線G
2715	双葉町への帰還について	一時帰宅で自宅に行ったが、ネズミの糞がひどいし、障子はボロボロ、家の傷みがひどくて帰りたいとは思わない。	北幹線G
2717	東電の補償について	息子たちが長野県や宮城県で新しい生活をしている。一緒に暮らしたいので、補償をもらえれば息子のところに行く。現在も息子たちには「一緒に住もう」と言われるが、経済的に負担がかかることが気にかかっている。	北幹線G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2718	東電の補償について	賠償問題が決着しなければ、次の生活を始められないので早く決めてほしい。うちは線量が高くて40マイクロシーベルトもあるので帰れない。	北幹線G
2721	双葉町への帰還について	イノシシとブタの雑種が野生化して危ない。一時帰宅でも危ないのに安心して暮らすことなど想像できない。	北幹線G
2723	東電の補償について	東電の補償が決まったら、息子が生活している近くで暮らすつもりだ。	北幹線G
2725	現在の心境	高齢者はなるようにしかならないのだから、なりゆきに任せるしかないと思っている。	北幹線G
2727	現在の生活について	仮設に4人で生活しているので、狭くて不便で寒さも厳しい。早く現在の生活から卒業したい。	北幹線G
2728	仕事・就職について	現在の生活費も節約してなんとかやっている。仕事を探すにも年齢が高いと就職先はない。	北幹線G
2730	賠償手続き	賠償の申請を弁護士に依頼しているのだが、まだ、もらえていない。（月10万円も）途中で弁護士からは、何も連絡がこなくなり、こちらからお願いをして、月に一度は電話で進捗を報告して欲しいとお願いをして、ようやく電話がくるようになった。自分では何も分からないので弁護士にお願いしているのに、何も解決できないのでは困る。引っ越しをしたくてもお金が必要なので、早く手続きを進めてほしい。	北幹線G
2731	一時立ち入り	一時立ち入りについて、出入りをもっと自由に（簡易に）してほしい。どうせ帰れないのだから、少しでも自分の家に行きやすくしてほしい。	北幹線G
2739	現在の生活について	南台仮設はいわき市でも外れの地域なので、生活していても便利は良くない。ここは確かにまとまってはいるが、買物するにも出かけるにも便利が悪い。	南台G
2740	現在の生活について	いわき市の勿来は、気候がよい（雪が降らない）だけで、交通の便も悪い上に繁華街が遠くて不便である。バスは通っているが、停留所の場所が良くないので、数か所の場所を回りたいときにはとても不便。バスに乗ったことがない人の考えで整備したバスとしか思えない。	南台G
2741	現在の生活について	南台仮設周辺は「陽だまり」や特老はあるが、学校などはないので、子どもがいる世帯にとって、この周辺に住むのは便利が良い。	南台G
2742	仮の町を作るうえでの希望	現在、南台仮設に暮らしている人の中には、便利は悪くてもここから動きたくないという人もいる。ずっとここで良いという人もいる。	南台G
2743	現在の生活について	自分の車で買い物や病院などに出っていく場合でも、仮設住宅から繁華街がとても遠いので、ガソリン代がより多くかかる。	南台G
2747	現在の生活について	南台の仮設住宅から買い物に出かけるにも、車の運転ができない人は復興支援バスを利用しているが、今後、来年以降もバスの運行をしてもらえるかが心配。	南台G
2748	暮らし	南台に住んでいて、いわき市内まで買い物に出かけることはほとんどない。行くのは植田の方。南台は不便な場所。二本松も不便。	南台G
2749	復興住宅	今の仮設の場所に、今のまま復興住宅だけができては不便である。	南台G
2750	当たり前の生活	ぜいたくがしたい訳ではない。足元がしっかりとっていて、きちんと税金を払えるような生活がしたい。	南台G
2751	双葉町の子どもたちについて	いわき市に来て、周辺の人には良くしてもらっているが、中には「補償金で贅沢してる」という者もいる。子どもの中には、いじめられ登校拒否になる子どももいる。	南台G
2759	生活再建について	借上げ住宅に住んでいるが、期限があるので心配。先を決めてくれないと、我々は宙ぶらりんなのでこの先どうすればいいのかわからない。	南台G
2764	双葉町町民のやるべきこと	選挙でどこが政権をとったとしても、私たちの生活再建の補償をしてもらいたい。たとえ東電が破たんしたとしても、我々も文句ばかり言っても前に進まないのだから、「こうしてもらおう」という想いを伝える次のステップにいかねばと思う。	南台G
2768	東電の補償と生活再建について	原発反対もわかるが、私に必要なのは、現在の状況をどうするか、仮設住宅の生活から脱却するためにどうするかなので、早く補償をどうするかを決めてもらいたい。	南台G
2769	風評被害に対して	メディアの情報で、双葉の人はお金をたくさんもらっていると思われる。言われるままになるのではなく、自分たちでも事実を話せるようにならなければ、本当の被害は伝わらない。	南台G
2781	避難先での交流について	借上げ住宅に引っ越してきた当初、ゴミ出しにいくと「町内会費も払わないでただでゴミ出しして」なんて聞かされた。避難先の自治会に入ったら良くなった。	さくらG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2789	現在の生活改善についての要望	大熊町では、全部の仮設住宅に洗濯乾燥機を付けてくれている、現在の仮設住宅での生活が不便なので大熊町を参考にしてほしい。せめて空いている仮設住宅に皆で使う洗濯乾燥スペースを設けていただけないだろうか。	さくらG
2790	現在の生活改善についての要望	仮設住宅は押入れがない、収納スペースが少ない、狭くて不便が尽きないので、早く次のところ（仮の町など）に行きたい。場所はどこでもいから、早く仮設住宅を出たい。	さくらG
2793	仮設住宅の設備	さくらの仮設には、乾燥機がない。わざわざ、コインランドリーに毎日通っている。労力も大変だが、お金もかかるので金銭的にも大変。早く改善して欲しい。	さくらG
2806	双葉郡の人がうける差別の問題	いわきナンバーというだけで周囲の目が違う。	さくらG
2807	双葉郡の人がうける差別の問題	車を売ったが、いわきナンバーだと買ったたかれる。	さくらG
2814	東電の補償についての意見	東電でどう評価をするかは分からないが、そんな立派でなくとも、個々に調査をして、以前と同じくらいの生活ができる補償をしてもらいたい。リフォームした人もいるので、単純に築何年の基準にしないでほしい。	さくらG
2815	東電の補償についての意見	単純に土地の評価や家の新旧を基準にするのではなく、以前の生活がどうだったかを細かく確認して補償してほしい。	さくらG
2816	東電の補償についての意見	「築100年だから、土地&建物で1,000万円の補償」では、ここ福島市には家は買えないので困る。以前ほど大きな家でなくてもよいので、普通に生活を再建できるような補償をしてほしい。	さくらG
2839	暮らし・住まいについて	補償金をもらって生活再建するにも、双葉町町民が好きだからみんなで一緒に住みたい。だから早く公営住宅なり集合住宅なりをつくるなど、計画をまとめてほしい。	南台G
2844	仮の町について	賠償・補償の問題と安心して住める住まいの確保は別。補償とは別に、まず先に、双葉町町民がまとまって暮らせる公営住宅や団地などをつくるべき。	南台G
2850	双葉町の子どもたちのための対策について	双葉町の子どもたちは、他の被災町村に比べ特にかわいそうだ。双葉町の子どもたちには学校がない。私たちもこの年になって同級会や同窓会をやるが、一番懐かしいのは小学校・中学校の友だちだ。しかし子どもたちの現況は、ちりちりばらばらだ。	南台G
2859	財産の補償についての希望	双葉町にある家や土地については、やっぱり故郷なので、もう住めなくとも手放したいという人は少ないようだ。だったら補償を何とかしてほしいという人が多いようだ。高速道路工事で買収する価格で補償してほしいというのが、一つの具体例である。	南台G
2863	井戸川町長についての意見	双葉郡のよその町民の話や聞くと、復興が進まないなりに「こうしてくれるんじゃないか」という希望がある。でも我々双葉町町民は、今も我慢して夢も希望もない。しびれを切らして自分で土地や家を買ってしまう人もいいる。	南台G
2882	双葉町の子どもがうける課題について	子どもがいじめられるので、車のナンバーを変える人が多いそうだ。福島県に避難した人に聞いたが、学校で子供が「放射能がうつる」と言われることがあるそうだ。	南相馬G
2883	現在の避難生活で不便なことについて	宮城県〇〇市には、家族5人で避難してきた。父親が96才、母親が98才、病院にも通っているが新規で病院にいくと診てくれるが、持病持ちだと、以前診てもらった病院の系列でないと診てもらえない。	南相馬G
2887	補償についての要望	固定資産税や工事価格、築年数で計算されても、皆新しい家など買えないので、高速道路建設時の買収価格でやってほしい。	南相馬G
2889	現在の避難生活で不便なことについて	宮城県〇〇町では、ほとんど集まりがない。この会は全国放送のニュースで分かった。日頃から図書館では新聞をとってくれているので、情報源はその新聞のみだ。	南相馬G
2891	今後の生活再建などの見通しについて	先日、宮城県から「転入しますか？」という通知が来たが、判断がつかない。大家さんがダメだと言えれば出ていかなければならないし、先のことや不安定な現状。ここにいつまでいられるかもわからない。	南相馬G
2896	補償についての要望	生活再建のためのお金を工面できない人も多いので、補償を早く決めて土地を買うなり家を建てるなりの計画ができる状態にすべき。	南相馬G
2897	補償についての要望	「帰りたい」という人は、20年～30年がんばって生きてもらい、高齢者は現実帰るのは難しいので、復興住宅で暮らすとか家を建てるとか個々の希望で再建する。そのためにも早く補償を決めてもらいたい。	南相馬G
2917	復興への取組みについて	仮設住宅での生活も2年～3年が限界だろう。私は借上げ住宅にいるが、5年が限界だろうが、その間に復興住宅が完成するかも心配だ。	南相馬G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2920	双葉町に残された財産	家のほとんどは津波で流されてしまったが、農業に使う機械の一部は流されずに残っていた。しかし、がれきと間違われて一緒に片づけられてしまった。東電に申請しようにも、自分の責任ではなく無くなってしまったものに説明がつかないので、申請できなくて困っている。役場にも責任を聞いたが知らないと言われた。	南相馬G
2929	次の生活の拠点について	大熊町のように、色々決めていけば、お金（補償）も入るので考えも固まる。	郭内G
2931	これからの生活を考えた場合の希望について	向こう5年間くらいは、大熊町と同じような方針（区域再編、補償対応、自治体機能、復興への取組みなど）でやってほしい。周囲（双葉町民）の話を聴いても8割は、このような希望だ。	郭内G
2934	生活再建について	補償について、個々の条件を満たすのは困難なのであれば、お金よりもむしろ普通の生活ができる復興の町をつくり、家などを提供してほしい。	郭内G
2938	双葉町からの情報提供についての希望	広報ふたばなどで情報は得ているが、白河にも職員一人常駐してもらえないか？現在は週に1回程度なので、情報を得るためにも「連絡所」をつくってほしい。	郭内G
2944	生活の拠点を県外に求める場合の支援の希望	現在、子どもの学校の関係があるので、3年間はここ（白河）に居ようと思うが、3年以上ここ（白河）に居るわけではないので、移動する場合しかたなく県外へ出ることも想定される。災害救助法により、県外への移動の補助は認められなくなる点を寛容に対応してほしい。	郭内G
2952	人間関係	仮設住宅でも、もともと双葉町にいたときと同じ行政区の人が一緒にいるわけではないので、初めは知らない人ばかりだった。人間関係もトラブルがたくさんあった。今は、自治会が良くなったので落ち着いているが、自分は、あまり関わりたくないの、一線を引いている。	郭内G
2961	東電に対しての希望	（自分で）新たに土地を買った人も家を買った人も沢山いるが、「賠償」の内容に不満がある。基準ばかりを先行せず（一律ではなく）、個々のさまざまな生活事情にあった柔軟な対応をしてほしい。	郭内G
2964	双葉町にある所有物について	双葉町にある家屋の盗難や火事などの管理は、今後の課題になるが、元の所有物に対して全部補償をしてもらえば、全て更地にして除染してもらったほうがよいのではないかと。そのほうが安全、安心で、一つの考え方だと思う。	郭内G
2965	双葉町に対する要望	大熊町は3区分に分けられるなど種々決まってくるが、早くそのようにしてもらわないと補償も何も決まらない。個人の生活再建（家を買うとか土地を買うなど）を決めることができないので、早く方針を示してほしい。	郭内G
2967	双葉町に帰るか否かについて	今の双葉町には、環境条件上、帰れないと思うし、「自分の家で知らない人が生活している」なんていう話を聞くと、双葉町には帰れないと思うので、早く補償を決めてほしい。	郭内G
2968	双葉町の国や東電に対する交渉について	補償についても土地や家がある人はいいが、賃貸に住んでいる若い世代については何もない。居住権の賠償について、きっちり交渉してもらいたい。	郭内G
2976	双葉町に対する要望	役場機能移転より先に、東電の補償確定と中間貯蔵施設の調査、補償を進めてほしい。	郭内G
2977	双葉町に対する要望	基盤となる住宅がないのに「仕事」は決められないので、補償の確定を急いでほしい。	郭内G
2983	賠償	賠償が一律なのはおかしい。	郭内G
2990	双葉町の復興への取組みについての意見	双葉町町民のなかには、主体性を持って自治会活動などを行っている人もいるので、そのような人を活用（雇用）して双葉町町民のサポートをしていくことも考えてはどうか？	県中借上げ自治会H
2992	県中地区借上げ住宅自治会について	最初は皆手弁当で始まったが、現在は会場は無料にしていたり、さまざまな支援を頂いているが、いつまでも続くわけではないので、今後どうしたらいいか。補償も決まらないので、私自身も先が決まらない。	県中借上げ自治会H
2993	県中地区借上げ住宅自治会について	現在約130名の登録があり、県外の人の登録もあるので、この先しばらくは続けなくてはならないだろう。NPOなどの設立も考えてはみたが、私を含め事務局役員が、この先郡山以外のところへ移動するかもしれないので、NPO化を決めるのを躊躇している。	県中借上げ自治会H
2995	町民支援者のネットワークについて	借上げ住宅自治会は、県中地区だけでなく県北地区にもある。今後要所要所に立ち上がるのではないかと？そうなれば、各地区の役員が集まって、連携し復興を進めていくべきではなからうか？	県中借上げ自治会H



no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3008	復興を進めるうえでの流れについての意見	住居や資産の賠償を早く決められるように、「帰れるor帰れない」を決めるべき。帰るのを目的に復興しようとしているのか、帰れないのを目的に復興しようとしているのかを決めるのが、復興のスタートラインだと思う。	白河婦人会H
3010	双葉町から東電や国への賠償に関する交渉の具体的な要望	土地や家屋などの賠償の基本的な考え方は、従来の価値（高速道路建設に伴う買取単価）を採用すべきと国に提案してほしい。	白河婦人会H
3011	双葉町から東電や国への賠償に関する交渉の具体的な要望	土地の賠償が「固定資産税」や「築年数」などで判断されると、避難先での生活再建ができないので、以前の生活レベルに応じた賠償の交渉をしてほしい。	白河婦人会H
3030	避難所に残る人のケア	いわきに役場が移ったら、残る人のことが心配。皆がついて行くわけにもいかず、福祉関係も一部の人が残って、バラバラになってしまうと思う。やはり、加須市の力を借りなければいけないのではと思っている。	埼玉G
3031	土地の確保	土地を買うのに不動産を通したらお金がかかるので、地元農家の人から紹介してもらいたい。	埼玉G
3032	避難所のメリット	ここの避難所は不便だけど良い面もある。高齢者同士の相部屋なので、病気など何かあった時、気がついてもらえる。	埼玉G
3044	身近な問題の解決	他の会議で出ている意見とほとんど同じだと思う。賠償など、もっと身近なことについて進めてほしい。	埼玉G
3047	仮の町の実現性	お金がないからここにいる。そういう状況で仮の町に希望を言って、実現してもらえるのか。	埼玉G
3048	意見のまとめ方	皆我慢強いからこうしているが、不便を言ったらきりが無い。意見を吸い上げて、どうまとめるつもりなのか。	埼玉G
3049	現在の生活場所	1年半過ぎ、どこに住むかそれぞれで決めていて、皆バラバラになると思う。	埼玉G
3051	賠償金の一律化	双葉町には住めないのだから、賠償金は線量に関係なく一律にしてほしい。	埼玉G
3052	まずは賠償が先	賠償をもらうのが先。それから双葉町をどうするか考えるなら参加したいと思う。	埼玉G
3054	補償を受けるための住所	自分は双葉町に戻る気はないが、補償を続けてもらうために、住所は双葉町のままだしている。	埼玉G
3060	平等な支援を希望	自分はここにいて十分な支援をもらっているが、家族は福島借上げ住宅にいるため、支援はほとんど受けていない。そういう人も細目に支援が受けられたらいいなと思う。	埼玉G
3061	仮設住宅での生活	仮設に行くと、よそに出たもの来るな、というような閉鎖的な考えがあるようで、シャットアウトされると聞いている。	埼玉G
3062	避難先での生活	若い人が借上げ住宅にいて、支援を受けていていいのかと思う。	埼玉G
3063	避難先での生活	住む場所が変わり、去年一年間は外に出るのが怖くて電車にも乗れなかった。でも健康は自分の責任だと思い、整形外科に通い、今は何とか一人でも電車に乗れるようになった。	埼玉G
3065	一時帰宅について	一時帰宅は行政区ごとに日時を決めて、近所の人と一緒に帰れることになればいいと思う。	埼玉G
3066	一時帰宅について	一時帰宅をして、家財がなくなっていたり、ネズミに入られていて、ショックを受けた。	埼玉G
3067	一時帰宅について	一時帰宅で何度も帰すよりは、持ち出したものを保管する保管庫を用意してほしい。何度も帰るのは大変。	埼玉G
3068	避難先での生活	遠くに避難した者としては、悲しいことに、この土地に1日1日慣れていっている。色々なことを覚えて便利だと感じる。	埼玉G
3069	避難先での生活	今は近くに誰も知り合いないが、近所の奥さんが気さくな方で、何か持ってきてくれたり、電話番号も教えてくれて、何かあったら声をかけてと親切にしてくれた。その言葉でほっとした。	埼玉G
3071	避難先での生活	娘の家といっても、人様の家庭に避難させてもらっている気持ちがあるので、加須とか避難所と同じように見てもらいたい。それがないのが辛い。	埼玉G
3072	避難先での交流	所沢市の民生委員の方から、健康体操や何かの活動に参加してみませんかと言われたが、この年になって一人ではなかなか飛び込めないで、誰か双葉町の人と一緒にならいいなと思っている。なので、まずは双葉町の誰が近辺にいるか知りたい。	埼玉G
3073	高齢者の生活	年配者で一人の方は、医者も何でも揃っている騎西高校にいるのが一番安心。	埼玉G
3086	現在の生活について	今は5階建ての5階に住んでいるので、階段の上り下りが大変。	埼玉G



no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3087	現在の生活について	孫同士が同級生で、行ったり来たりして、夏はバーベキューをしていた。そういう楽しみがいっぱいあったのに、なくなってしまったのが悲しい。	埼玉G
3088	現在の生活について	住む場所がなく、生活の基盤がない状態なので、不安で落ち着かず、生きているのも疲れてきてしまった。だから、高齢者で病気になったり認知症になる人が多いのだと思う。	埼玉G
3089	現在の生活について	ストレスをためないように、散歩したり、何か体験をしなければと思う。認知症にならないように、色々なことに挑戦していきたい。	埼玉G
3090	これからの生活場所	今の避難先の人は、とても優しく挨拶をしてくれ、今のところ楽しい。でも、どうしても双葉町から離れたくない気持ちがあり、いわきに行くことを考えてしまう。	埼玉G
3091	高齢者の一人暮らし	双葉町だからこそ、一人でも生活が成り立っていた所がある。避難生活の中で、一人では生活できない人が年々増えてくると思う。	埼玉G
3092	介護が必要な高齢者	避難所にいたかったが、迷惑をかけると思い、借り上げアパートに移ってデイサービスを受けている。	埼玉G
3093	現在の生活について	加須で私が住んでいるアパートの住人も優しく、孫が友達連れて毎日来るのが楽しい。	埼玉G
3102	補償の問題	引越しも結婚もだめ、住所変更しただけで補償が受けられなくなるのは不公平である。	埼玉G
3104	周囲からの差別	車のナンバーを見て「福島」だと、ばい菌扱いする人もいる。	埼玉G
3105	周囲からの差別	友人にも、双葉町だと言ったら、お金もらっているでしょ、今まで潤っていたからしょうがない、そういう目で見られる。周りが思っているようなお金はもらっていない。	埼玉G
3106	周囲からの差別	避難してきた最初は可哀想だと尽くしてくれても、お金をもらっていると聞くと、私たちの方がもらいたって口に出すような人もいる。	埼玉G
3107	精神面に対する補償	精神的なことに対して、何年補償してもらえるのが一番心配。新聞では向こうに帰るまで補償するというけど、いつになったら帰れるのか。	埼玉G
3120	現在の生活について	現在の借上げ住宅での生活で、別に支援は困っていない。アパート代だけは町がもってくれているし、保険は国が持っているから問題ない。	埼玉G
3123	現在の生活について	親戚の家に避難していると援助もない。周りは、日赤にいただいたということを知ったが、そういうのありません。	埼玉G
3124	現在の生活について	親戚の家にいるので、援助はない。家賃程度は出しているが、そこに補助があるわけではない。	埼玉G
3127	避難先での社会支援が受けられない	国で二重住民票みたいな政策を作り、大宮に避難しているのなら大宮の住所に移すことが可能にしてほしい。	埼玉G
3129	現在の生活について_仮設	借上げ住宅に住んでいるが、この間仮設に行った。狭いし隣の音は聞こえるし、夏は暑いし冬は寒い。たとえば今まで100坪のうちに住んでいた人が、3坪4坪の所に住んで病気にならないとは思えない。	埼玉G
3130	移住の権利	自分の好きなところに行ってもいいと選択する権利はほしいが、ただある程度生活の保障は国にしてもらいたい。	埼玉G
3132	放射能の影響への不安	避難するときも、子供（孫）が小さいからこそ、何も持ってきませんでした。放射能だから持ってこないでと言われた。なので、何も持ってきません。避難するときもスリッパで出てきたので。	埼玉G
3133	放射能の影響への不安	一時帰宅は一回だけ行って、書類などは持ってきた。	埼玉G
3134	放射能の影響への不安	孫が小学生なので、買ってくださいと娘に言われている。持ってこれるものがあるって持ってこれない。	埼玉G
3135	放射能の影響への不安	放射能に対しての不安は強い。うちは厚生病院のそばにある。一番最初に一時帰宅で行ったとき、線量計を個人で持って行き、測定してみると27ありました。2回目か3回目行ったときは、みんなはそんなじゃないっていうんだけど、5時間で17くらいだった。	埼玉G
3146	放射能の影響への不安	いじめられた子供が二本松の学校に戻ってきているらしい。	埼玉G
3148	現在の生活について_情報提供	避難所や仮設ではなく、娘の家に避難しているから、支援は何にもない。	埼玉G
3149	現在の生活について_双葉町町民とのつながり	大宮に双葉町の人がいるのか、全く分からない。近所にも誰もいない。	埼玉G
3150	現状の双葉町での自宅状況	一時帰宅で帰ったとき、家のサッシが外れていた。屋根は直してくれているけど、周りは何もしていないからひどい状態。表門を閉めてきたが、レースのカーテンが開いて、宝石は全部盗まれていた。あとは、何を盗まれたか分からないが、食べかすが置いてあった。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3151	現状の双葉町での自宅状況	一時帰宅で帰ったとき、猫が家の中に入っていた。	埼玉G
3152	現状の双葉町での自宅状況	家具が全部傷み、主人が亡くなり仏壇も大きいのを買ったところだった。それもひっくり返って、となりの桐のタンスもひっくり返って、茶箆筒も、全部。3部屋にタンスばかり4つか5つあって、一人で悠々と暮らしていたけど、全部駄目になった。	埼玉G
3153	現在の避難地までの経緯	はじめは、川俣の避難所に3日くらいいた。アリーナに行く前に娘が向かえに来てくれ、避難所を出たので、アリーナで友達がいるか聞いてもらったが、その後はどこにいったのか全然わからなくなってしまった。	埼玉G
3154	現在の避難地までの経緯	1週間後に加須に行く話を聞いて、加須に行くのは団体のような感じだったので、自分たちはそれをやめて携帯で調べて借上げ住宅にした。	埼玉G
3155	現在の避難地までの経緯	借上げ住宅も、自分は年だから一人ではどうかと思ってやめた。でも、今も医者にたくさん薬をもらっている。精神的に疲れている。	埼玉G
3156	現在の避難地までの経緯	避難所のはじめは、廊下で寝ていた。段ボールで寝たのは初めてだった。段ボールがあんな温かいとは思わなかった。避難所に行ったときは、何もなかったのだから、段ボールを敷いて、そしたら誰かが上着を持ってきてくれた。まだ寒かったのだから、3日間ほとんど寝れなかった。	埼玉G
3157	現在の避難地までの経緯	避難するときは、行く途中行く途中ガソリンがなくて最悪だった。	埼玉G
3158	現在の避難地までの経緯	男の人は車の中で寝た人もいた。女の人は隅っこでみんなにふとんを借りて、私も年寄りですけど、もっと年寄りは布団を買いに行っただけでなかった。毛布なんて配給になったの3日か4日。こんな状態では駄目だから娘が迎えに来てくれて、そして今は上尾にいる。	埼玉G
3160	情報提供について	石巻とかは有名人がやってくるがこっちは来ない。	埼玉G
3161	現状の双葉町__自宅状況	自宅の荷物は、もう諦めた。一時帰宅ももう行かない。みんなネズミがいるって言っている。私たちが行ったときは、友達と大きな車で行く途中で牛とぶつかった。生き残った野牛で、回収はしていただろうが、生まれた子供の牛なのだろう。それからはもう行ってない。持ってこれないし、置けないし。持ってこないでって言われている。思い出の品もある。孫のために買ったピアノも、桐のタンスも。なんだかもうがっかり。	埼玉G
3162	現状の双葉町__自宅状況	保管できる倉庫があれば、持ってきたいと思うこともある。でも、そういう支援は何もなし、自分は1人だから無理。娘も子どもの学校のことがあるからできない。加須の人が借上げ住宅に入っていて、その人に乗せてもらって行って、泊めてもらって、着てきた服を脱いで、捨ててくださいと置いてきて、お風呂に入って帰ってきた。そこまでしないと、娘に嫌だと言われる。もうそこまでして帰る気がしない。我々のような年寄りは別だが、子供が小さい人は帰る気はないだろう。	埼玉G
3169	現状	みんなの現状を聞いてみると、あちこち分散していて、土地を買った人もいるのではないかな。	埼玉G
3171	情報提供について	大宮のことは全然わからない。双葉町の人はいないと思っている。	埼玉G
3172	情報提供について	これだけばらばらになったら、情報を届けるのも大変だろう。	埼玉G
3179	国の責任__補償・賠償	国がいつまでという期限、いつまで補助を出すと明確にさせなければならぬ。	埼玉G
3184	各避難地域との関係	今、いわきでも問題になっている、パチンコ屋に車止めつばなし。みんな双葉町の住民だということになってしまっている。これは人間が受けることなのか？私たちが好き好んで来たわけではないのに、どうしてそういうこと言うか。	埼玉G
3185	各避難地域との関係	会津にいたとき、お金もらえていいなということも言われた。	埼玉G
3188	現在の生活について	今、住民票を移動させるかどうかで、東電の補償が受けられるかどうか問題になっていると聞く。この間来た方は、娘より高齢のお母さんのほうが予防接種が高かったという話を聞いた。	埼玉G
3189	現在の生活について	住民票を移動していても関係ないと思う。履歴が残っている。北海道に住む人が書類も届いて、賠償金ももらっている。	埼玉G
3190	現在の生活について	個人の問題はあるが、それをどう解決していくのが望ましいか、少しでも前向きな話ができる。	埼玉G
3197	一時帰宅で思うこと	服、仏壇、墓、家のあちこちの修繕の補償は難しい。放射能の不安と愛着。	埼玉G
3198	現状	土地を買って住むと言っている人が多いと聞く。埼玉のどこかの名刺を持っていて、土地探してあげますという話も聞く。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3208	現在の生活について	今、夫婦離れ離れで暮らしている所も多い。それも離婚の原因になる。離れ離れで暮らしている人の気持ちを考えたら犠牲が必要になる。じゃあだれが犠牲になるのか、それは国だと思う。	埼玉G
3219	仕事再開の問題	機械が双葉町にあるが、もう一度美味しい十万山のお菓子をつくりたい。食品を扱うので放射能の問題もあり、一時帰宅では運び出せない。	埼玉G
3220	生活再建	避難先で畑を借りるなど、何人かは自分の進路を決めて前進している人がいる。双葉町に戻るのを待っているわけにはいかないので、自分たちで心豊かな生活ができるように動きださなければと思っている。	埼玉G
3227	生活再建	先頭に立つ人が引っ張ってくればついていきたいと思うが、ばらばらになった今、ここには高齢者が多いので難しい。	埼玉G
3228	職について	もともとは一人暮らしで、埼玉に引っ越してきた。母が一人暮らしだったので、震災の半年くらい前から双葉町に住んでいた。震災後〇〇に戻って来て、新たに仕事を探し始めたが、被災者に対する偏見が強く辛い思いをした。（震災・津波にあっていいる方は精神科に行ったほうがいいと）	埼玉G
3229	借上げ住宅への補助期限	今住んでいる借上げ住宅の補助が、来年の1月で終わりという契約になっていたと思う。（震災から2年。大家さんに確認できていないが。）それが一番不安。	埼玉G
3230	米を買うということ	今までは田んぼを多くもっており、作ってくれる人もおり、お米は買うものではなかったが、現在は購入している。	埼玉G
3231	避難生活の気分転換(1)	一番の気分転換が畑だった。今はアパートの前に少し土地があり、大家さんの厚意で借りて畑をやっている。	埼玉G
3232	避難生活の気分転換(2)	地域の老人会、「長生会（ちょうせいかい）」に入れてもらっている。グランドゴルフをやったり、カラオケなど、気晴らしになっている。	埼玉G
3233	避難生活について_地域との関わり	優しい方は声をかけてくれ、優しくしてくれるが、やはり心ない人は、家流されちゃったの？と傷つくようなことも言われる。そういうことを気にせず明るくしているが。	埼玉G
3234	避難生活について_双葉町コミュニティ	双葉町の人が近くにいてくれるといい。以前は双葉町の老人会に入っていた。	埼玉G
3235	避難までのプロセス	主人がガソリンをあちこち探しまわって迎えに行った。2人は車で向かう途中で落ち合って避難し、他にも恩師の先生など4世帯が空いている部屋に入れてもらって助かった。	埼玉G
3238	避難生活について_双葉町コミュニティ	最初、騎西高校に避難した幼なじみ家族とは、今でも加須に足を運んで交流している。しかし、高齢の母は、所沢から加須まで電車で移動することは難しく、行く事はできない。	埼玉G
3239	避難生活について_双葉町コミュニティ	所沢にはたくさんの方の世帯の方が避難しているという情報は聞いたが、誰がどこにいるかは教えてもらえない。集まる機会があればいいと、個人的には連絡先を交換しているが、色々な方と会うチャンスがもっとほしい。気軽にお茶を飲んでお話しする場所が、所沢にもあればいいなと思っている。	埼玉G
3240	仮の町について	私自身は将来は双葉に帰って家を建てて住み、地域の文化等を地域の子供に伝えていきたいって考えていたので、家を買わずにいた。もし仮の町をつくるのであれば、同じ集落の人たちが一緒にまとまっていなければ意味がないと思っている。小さいときから、地域の人たちが見守ってくれて、育ててきて、小さいときからお祭りやイベントに参加して、それがばらばらになってしまって、私は悲しくて悔しい。	埼玉G
3241	避難生活について_双葉町コミュニティ	育ててくれた地域のおじいちゃんおばあちゃんたちが、今避難所に行って顔を見ると、文句も言わずに、協力し合ってみんなで一所懸命淡々としているのがとても切ない。なんでこんな目にあわなくてはいけないんだらうと、それがとても悲しい。	埼玉G
3243	避難生活について_双葉町コミュニティ	年月が経つと、年配の方が戻れるのかどうか、その次の世代、次の世代、孫やその下の曾孫の世代が戻らなくなってしまうたら、鴻草の地区が成り立たなくなるのでは、ということがとても心配。もし戻れるようになった時に、人口がかなり減ってしまうのではないかと。	埼玉G
3244	一時帰宅について	母は5回行っているが、妹は年齢もあるので一度も行っていない。	埼玉G
3245	一時帰宅について	一時帰宅は、毎回車で母を連れていくため、主人が休みを取り、いわきのビジネスホテルに前日に泊まっている、交通費と宿泊費が自己負担なので大変な思いをしている。	埼玉G
3246	高速代無料について	高速代が無料と聞くと、毎回料金がかかっている（ETCを使用しているからか、加須ICを使用しないと無料にならないのか？）	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3247	双葉町の自宅について	ときどき自分の家を見に行かないと、もう住めなくなっているのではと心配になる。雨樋が詰まって部屋がプール状態になっていたが、溜まっている水は汚染されているため触ることができず、対処的に布をひいてきただけになっている。	埼玉G
3249	避難所の規制	お年寄りや歩けない人のために、ここで髪を切ってあげたいが、高校なので許可が下りない。	埼玉G
3253	仕事環境	騎西高校では保健所の許可が下りないので、今の場所では気兼ねなく仕事できている。	埼玉G
3257	親切な地元住民	加須の人は心が温かくて優しい。果物などを持ってきてくれる。	埼玉G
3259	自炊の食事	弁当が有料になってから、子供たちは外食をしなくなり、お母さんの食事を美味しいと言って食べている。	埼玉G
3260	安定した暮らしのため	土地が必要。じっくり構えなくてはと思っている。74歳(家内73歳)	埼玉G
3261	孫の福島での暮らし	孫が福島に何人も残っているが、心配している。	埼玉G
3263	思い出す避難生活	最初の避難先は体育館で、歩けないくらい大勢の人がいた。	埼玉G
3266	現在の生活の楽しみ	元気農園で大根、白菜、ブロッコリー、キャベツ、サツマイモ、ジャガイモをつくっていて楽しい。	埼玉G
3267	現在の生活の楽しみ	双葉町の土はサラサラだが、こちらの土は硬いと思う。でも、作物を作って焼き芋もできるように楽しい。	埼玉G
3269	埼玉での暮らし	孫が最近生まれ、元気な子で良かったと思っている。埼玉にいて良かったと思う。	埼玉G
3271	家族一緒に暮らせる家	農家だったので、広い家で12部屋あった。今は家族ばらばらなので、一緒に集まれる家がほしい。	埼玉G
3272	映画の感想	去年1年間を追ったドキュメント映画は良く撮れていた。たくさん上映してほしい。	埼玉G
3273	映画の感想	映画の中で、盆踊りが最も印象に残った。	埼玉G
3274	町長の判断は正しかった	福島に残っている人たちは、安全とは言い切れない。この埼玉に来て安心している。町長の選択は正しかったと思う。	埼玉G
3275	映画の感想	一人減り、二人減り、心細くなる。	埼玉G
3276	一時帰宅時の惨状	一時帰宅をした時、品物が探し出せない程ネズミがたくさんいて驚いた。50年こんなことはなかった。	埼玉G
3277	町長を支持する	町長のことを悪く言う人は、騎西高校にはいない。皆支持している。	埼玉G
3278	一時帰宅時の惨状	双葉町のネズミの大群を撮影してほしい。	埼玉G
3279	東電の対応に不満	爆発しても東電が謝りに来てくれない。お金の問題ではない。	埼玉G
3281	堀切さんに感謝	堀切さとみさん、1年間お世話になりました。これからもよろしく願います。	埼玉G
3284	仕事と学生とのコミュニケーション	ガソリンスタンドを運営しながら、ペンギンのおばちゃんの愛称で双葉高校生の相談役をしていた。騎西高校でも、若者に人気だった。	埼玉G
3289	親の仕事先と子供への影響	親の仕事の関係で、子供が福島に戻っている。	埼玉G
3290	現在の住まい	騎西高校まで5kmの所に住んでいる。	埼玉G
3292	避難生活の良い所悪い所	騎西高校ではプライバシーはなかったが、仲良くなれた。	埼玉G
3293	若者との交流	あいさつを通して、若い人たちと少しずつ仲良くなっていった。	埼玉G
3294	仮設住宅での暮らし	いわきの仮設住宅では、隣に誰が住んでいるのかわからなかった。	埼玉G
3295	ばらばらになった子供達	小学生の「再開の集まり」の時に、「一緒にいわきに住みたい」という思いになっていて、かわいそうになった。	埼玉G
3296	知り合いのいない生活	周りに知り合いがいない状態で生活をするのは辛かった。	埼玉G
3297	知り合いのいない生活	いわきの町中には知り合いがいない。	埼玉G
3298	騎西高校の安心感	「双葉町民が集まっている」というだけで騎西高校には安心感があった。	埼玉G
3299	騎西高校での出会い	騎西高校に避難してきて、色々な人たち(若者)と知り合いになれた。	埼玉G
3301	趣味や娯楽	つくばに避難している浪江町の90歳のおばあちゃんは、一時帰宅をして編み物の道具を持ってきた。	埼玉G
3309	前向きな考えを持つ	震災からもらった休暇だと思い、人と人との出会いを大切にしたい!	埼玉G
3310	避難先での不安	避難先から「いつまでいるのだろう」と思われるのは嫌だ。	埼玉G
3311	避難時の状況	3/11の避難の時は、車の中で一晩過ごした。次の日の避難時にはガソリンが半分以上なくなっていた。	埼玉G
3312	避難道路の問題	避難道路が1本しかないため、原発からの避難の時に時間がかかり大変だった。	埼玉G
3313	避難時の状況	避難の時は手ぶらでそのまま避難することになった。	埼玉G
3315	避難時の状況	3.11の時、東電のジャケットを着たまま避難している人もいた。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3316	避難してわかる双葉町の恵み	双葉町にいた時には野菜も買ったことはなかったし、海の幸にも恵まれていた。おいしい魚が食べられていたこと、今埼玉に来て恵まれていたと改めて感じた。（こちらのスーパーで売っている魚は味がしない）	埼玉G
3317	お墓参りがしたい	お墓参りだけは何とかできるようにしてほしい。 今でも行きたいが、自分のお墓がある場所は線量も高いし、そこに行くにも道が整備されていないので、まだ一度も行けていない。 お墓は簡単に移動できるものではないので、今の場所で何とか墓参りできる方法を考えてほしい。	埼玉G
3321	一時帰宅	今、一時帰宅で家に帰っても何も持ってくるできない。 （時間もない、室内なのに線量が高いものが多い）	埼玉G
3323	避難所で自炊をしたい	旧騎西高校では、自分で料理をすることができないので、料理の作り方も忘れてしまう。作る場所があって、置いておく場所もあればたくさん作りたいという思いはある。	埼玉G
3325	映画の感想	やはり避難当時のことを思い出すと悲しくなる。	埼玉G
3333	除染はやめて生活再建を	今なお放射線が出続けている場所を除染しても意味はない。 そこにお金をかけるくらいなら、町民の生活再建に使う方がよい。	埼玉G
3334	戦争と原発事故を体験	自分は戦争も体験している。爆撃も受けた。その時の大変さ苦しさを考えたら、今の辛さは乗り越えられる。戦争体験をしている人は同じように思っているのではないか。 でも、自分の人生で2度もこんな辛い体験をするとは思わなかった。	埼玉G
3336	何も分からないまま避難した	当時犬を飼っていて、避難するときに繋いだまま避難してしまった。 自衛隊が繋がれている犬はくさりをはずして回っていると聞いたので少し安心していたが、それは嘘だった。一時帰宅で初めて帰ることができた日、繋がれたまま死んでいたのを発見した。 これも、すぐに帰れる（2、3日で）と思っていたから。	埼玉G
3337	避難所での暮らし	今、避難所にいれば双葉町の人たちと話ができるが、外の人たちとはあまり話すことはなく、挨拶くらい。	埼玉G
3340	自炊環境の整備を希望	自炊が当たり前でできる暮らしをしたい。 今は4階の家庭科室でできるが、年配者に階段は辛い。	埼玉G
3341	現在の生活への要望	避難所では教室でまとまった生活なので、できれば自分の部屋がほしい。	埼玉G
3345	映画を見て当時の思い	お弁当の配給は、何もない状況で本当にありがたいという思いでもらっていた。でも、簡単なものでもいいので、自分で作ったものが食べたいという気持ちもあった。	埼玉G
3346	映画を見て当時の思い	映画にもあったように、温かいみそ汁をもらって飲んだ時は本当にありがたかった。それまで当たり前だったことに、ありがたみを感じた。	埼玉G
3347	自炊環境の整備を希望	自炊ができるようになったが4階の家庭科室まで上らなければいけないので、ここ（生徒ホール）の調理場を使えるようにしてほしい。	埼玉G
3348	避難を経験して感じたこと	避難当初、避難生活で溜まったうっぷんが、お酒を飲むことによって爆発してしまい、地域住民に迷惑をかける人が出てきてしまった。 今は活動しているが、早く趣味やサークル、イベントを開いて発散する場が必要だった。	埼玉G
3350	気分転換になる活動	定期的に行っている合唱で声を出し、いい気分転換と発散になっている。	埼玉G
3352	映画の感想	映画を見て、自分は福島に戻ることに賛成できなかった。	埼玉G
3353	映画撮影への希望	避難所の教室の様子など、ひとりひとりの生活の様子も記録に残してほしい。	埼玉G
3354	映画の感想	映画にして記録に残してくれるのはありがたい。自分たちの気持ちを代弁してくれている部分もある。	埼玉G
3355	賠償問題の解決	まず解決してほしいこと。東電に賠償をしっかりともらいたい。	埼玉G
3356	映画を見て当時の思い	ありがたさも感じる中で、ボランティアの好意の押し付けを感じることもあった。	埼玉G
3357	映画を見て当時の思い	プラスチック容器と茶碗で食べるご飯の違いは、辛い避難生活の中で心の惨めさや豊かさを感じるとても大事なことのひとつだった。 それを贅沢と思わずに理解してほしいと思う。	埼玉G
3358	映画を見て当時の思い	ボランティアの人は自分たちにできる部分だけを捉えていて、やはり当事者でなければわからない部分がたくさんあり、すれ違いもあった。	埼玉G
3360	避難について	避難時の道路が1本しかなくて、抜けるのに7時間もかかった。	埼玉G
3376	双葉町の良かった所	一時帰宅でびっくりしたが、もとは素晴らしいところだった。	つくばG
3380	避難先での仕事	土地勘がないので就職しにくい。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3386	今後の住まいの心配	借上げ住宅に使っているお金はいつまで出るか分からない。ここつくばだったらそんな心配ない。ただし、みなし仮設として住み続けられるかどうかの心配はある。	つくばG
3389	住宅に関する制約	国で経営している住宅に入っている人は公務員住宅に入れない（怒）そんな決まりなくしてほしい。	つくばG
3390	現在の生活について	避難生活をしていると税金が高く感じる。	つくばG
3391	現在の心境	50年前に戻れるなら戻りたい。	つくばG
3392	これからの生活について	老後が心配。	つくばG
3397	現在の生活での要望	つくばの上下水道を減免してほしい。	つくばG
3398	避難制度に対する要望	避難所から避難所に移れるようにすべき。	つくばG
3399	避難先への要望	茨城の津波、竜巻の被災者も受け入れては？	つくばG
3403	公務員宿舎の活用	公務員住宅にもっと受け入れるといい。	つくばG
3406	現在の生活での不安	いつまでつくばにいていいのか。	つくばG
3407	住宅供給について	公務員宿舎をリニューアルすればよくなる。十分に生活できる環境である。	つくばG
3408	現在の生活での不満	今の公務員宿舎は古いので、水道管がさびているのか、水道水から錆びがでてくることがある。	つくばG
3413	精神面について	（みんなでまとめた意見） 何度も転々とする不安な生活には耐えられない。肉体面はもとより精神面も辛いので負担を軽くして、安定した生活を送りたい。	つくばG
3427	つくばでの活動(住宅修繕)	つくばの公務員宿舎でも修繕することがあるが、自分が無報酬で暇つぶしのためにやっている。材料費くらい少しはもらうこともあるが、仕事とは言えない。 周辺の草刈りも、自分たちでやっている。健康のためにもやっている。	つくばG
3428	つくばへの定住を希望	帰る所がないので、つくばに居させてほしい。つくばに居られる確約がほしい。 確約があれば、より良い生活環境を考えたり、庭を作ったり色々なことをしようと思える。でも、その確約なしに、目の前の生活以上のことは考えられない。もし、出て行けと言われたら、私たちは出て行くしかない。	つくばG
3429	公務員宿舎の期限	つくばの公務員宿舎もみなし仮設として、法律上は3年と言われていることに変わりない。	つくばG
3435	現状の生活での不安	阪神淡路大震災の経験から、仮設は3年から5年に延長はできると考えられる。ただ、賠償は3年で止まるかもしれない。 そのとき、もし家賃を払うことになったら自分たちは生活ができない。	つくばG
3436	早急な定住確定を希望	つくば並木でも避難している人は若い人はほとんどいなくて、高齢者ばかりなのが現状。 今すぐ定住が決まればやる気にもなれるが、3～5年後になってしまえば、自分たちはもう動けないと思う。	つくばG
3439	役場機能移転について	役場がいわきに移転したら、職場と学校の事情によっては家族がばらばらになってしまうのではないだろうか。 小中学校は転校しやすいが、高校は受験しなければいけないから難しいだろう。同じ町民としてそういった役場職員のことも考えてあげるべき。	つくばG
3455	他地域の避難者への配慮	双葉町以外の避難者のことも考えるべきだと思う。 現状、双葉郡の町村の人達が混ざっているの、日常的に会話をすることもあるので、同じ思いを持つ人同士、コミュニティを作っていればよいのではないかなと思う。	つくばG
3464	帰町について	一時帰宅すると建物はどうも傷み、住める状態ではなくなってきている。5年待っても帰れないと思うが、帰れたとしても時間が経つほど住める状態ではなくなっていくと思う。	つくばG
3465	役場機能の移転について	庁舎がいわき市に移る計画は、役場職員の家族のことが何も考えられていない。 いわき市に住むところがないので、他の地域で家族ばらばらに住むしかない状況だと聞いている。 子供はせっかく学校に慣れた所なので、引越は考え難い。	つくばG
3474	つくばへの定住を希望	つくばに住み続けたい。さらに、もしそうなっても高速道路無料化はつづけてほしい。	つくばG
3477	自立した生活を目指す	仕事でも何でも、人として扱ってもらえない状況（避難者）のままでなく、自立して生活のサイクルを戻した上で、賠償なりを受けるべきだと思う。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3478	現在の生活での不安	双葉町に帰れないとすれば、いつまでここ（つくば）にいられるのかをはっきりさせたい。 これから、仕事もないまま家賃を払って住まなければいけなくなったら自分は生きていけない。	つくばG
3479	現在の生活での不安	初めて話合いに参加してみたので、これまでの話し合いの経緯はわからないけれど、つくばに住みたいと思っても、本当に自分たちが言って実現できるのか不安だし、そうなるとは思えない。	つくばG
3480	今後の生活への不安	子供夫婦と離れて住んでいるし、親の介護もある。 自分たちも先は長くないので、どうやって集まって住むか考えないといけない。	つくばG
3481	団地住まいは希望しない	高齢者が多いので、あまり長い期間は待ってられないのと、今まで双葉町で一戸建てに住んでいて、今も一戸建ての公務員住宅に住んでいる。団地住まいは望んでいない人が多い。	つくばG
3482	公務員宿舎に住み続けたい	今の住まいに継続して住み続けたいということが、第一の希望。 今の住まいをリノベーションして、ここでコミュニティをつくって暮らしたい。	つくばG
3483	公務員宿舎の改修を希望	復興財源を有効に使ってほしい。 ここは広くていいが、結露や断熱がよくないから、そこを改修するのに使ってほしい。	つくばG
3493	避難者の新規受入れ中止の撤回を要望	避難者の新規受け入れ中止について、もう一度、全体会議で受け入れ中止の撤回を叫ぶべき。福島なんてもう住めないと言いたい。	つくばG
3494	震災の精神的影響	震災後、浪江町はボケた人が増えている。	つくばG
3495	震災の精神的影響	孤独死も報道されないだけである。	つくばG
3496	避難者の新規受入れ中止の撤回を要望	福島県知事の避難者の新規受け入れ中止の要請を撤回してほしいと、明日、全体会議でも叫んでほしい。	つくばG
3497	他地域の避難者に対して	つくばには、他の地域の住民も、受け入れる余地があるのを宣伝してほしい。	つくばG
3498	つくば吾妻地域について	つくば地域の中でも吾妻はなぜバラバラなのか、まとめて住んでほしいのでは。	つくばG
3505	避難者の新規受入れ中止について	福島県知事は福島に住民を戻したいだけなのでは？	つくばG

## 【マイノートからの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
15	避難生活 日々の思い	前向きな考えをしたいと思うが、なかなか浮かんでこない。毎日毎日ただ何となく過ぎて行ってしまふ。94歳になった義父のため息にますます滅入ってしまう。我家へ帰りたいという気持ちがため息となってしまうらしい。	ノート
19	避難生活 日々の思い	埼玉に住んでもう1年9ヶ月たち、こちらに友人も出来ました。夏の猛烈な暑さには閉口しましたが、その分冬は暖かく、双葉の冬と同じだな一と思えます。双葉に比べて、いろんな不自由を感じるが、ま一仕方がない事かなと思う。	ノート
20	避難生活 日々の思い	もうすぐ今年も終わります。来年に希望を持ちたいが、どうなのかな？と思ってしまう。まっ、とにかく健康にだけは気を付けよう。家族も、自分も。	ノート
22	仮の町について	双葉町にはしばらくは帰れないと聞く。それなら、双葉にいた時と同じように1軒家に住みたい。仮の場所を早く決めて下さい。アパートはつらいです。	ノート
23	賠償について	東電の賠償が遅すぎる。どうなっているのか。住めなくしておいて安く支払いたいとはどういうことか。早く支払うようにさせて下さい。	ノート
24	仮の町について	仮の町を早く作って下さい。今のアパートは2階で階段の乗り降りが大変です。	ノート
29	仮設と借上げ	テレビでは仮設住宅の人達ばかりが催し物をやったり、支援物資を受けている状況を放映する。借上げ住宅の人や親類に身を寄せている人達には何の支援もない。不公平だと思う。	ノート
32	一時帰宅への支援	一時帰宅で荷物を運んだりするのに手伝いがほしい。年寄りばかりで持ってくる事ができない。車も運転手もない人はどうすればいいのか。何もまだ持って来れていない。	ノート
33	仮の町について	仮の町を作ることは無駄だと思う。仕事を持つ人は仮の町へ移れない。移れるのは高齢者、町の職員など限られた人だけ。現在のように住んでもいないのに仮設住宅を借りる人がでてくるだけだと思う。	ノート
34	賠償について	賠償についてよくわからない。紛争センターだとか、訴えたとか、新聞、テレビで聞くがその結果がその後どうなったか公開されていないように思う。もっと公にしてほしい。町はもっと町民のためを思って、機能してほしい。	ノート
36	現在開催している催し事について	双葉町の婦人学級、その他の催し事があっても、そこまで行く交通手段がない。残念に思う。現在住む町の催しには、参加しにくい。	ノート
40	一時帰宅への支援	一時帰宅の際、遠くて日帰りができないため、宿泊所があればいい。	ノート
44	双葉町の今の状況を知りたい	双葉町の今の状態を知りたい。行けない人のために写真・映像で定期的に知らせてほしい。一時帰宅した人達による情報も聞いてみたい。	ノート
46	避難生活 日々の思い	「今まで原発により益してきたのだろう、ひどい目にあって当然だ」「持っていた以上の賠償を貰ったのだろう」などの心ない中傷をされる。福島県全体に東電はいかにお金をおとしていたかを、中通り、会津地方の人にも知らしめてほしい。	ノート
56	避難生活 日々の思い	噂では支援物資がたくさんあるというが、ほとんど貰っていない。分配方法に問題があるのではないか。また、加須ではお風呂の掃除の人を雇っていると聞いた。使う人達が自分で掃除すればいいと思う。騎西高校に居る人達は色々優遇されている。	ノート
58	高速道路の無料化支援の継続	高速道の無料化がなくなると、負担が大きい。	ノート
59	給付金について	仕事をやめた人、失った人がいつまでも給付を受け続けるのはおかしい。二重、三重に貰い続けている人がいる。まじめに必死に仕事をし続けた人が馬鹿をみている。	ノート
62	考えつかない	私は、生活の基盤が確立していない現状ではとても先のことは考えられません。カテゴリーを見ても生活の基盤があつてこそその項目だと思えます。町民個々の生活基盤確立を最優先に考えて頂きたい。町政、町議会、町民、みんなバラバラの考えでは、この先の双葉町の存亡の方が心配です。みんな仲良くやって載きたい。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
63	考えつかない	私は、生活の基盤が確立していない現状ではとても先のことは考えられません。カテゴリーを見ても生活の基盤があってこそこの項目だと思います。 町民個々の生活基盤確立を最優先に考えて頂きたい。町政、町議会、町民、みんなバラバラの考えでは、この先の双葉町の存亡の方が心配です。 みんな仲良くやって戴きたい。 双葉町のOBの方々が今の双葉町を見てどう感じているのか。とにかく『みんな仲良くやっていただきたい』と言う気持ちに変わりはないと思う。	ノート
65	考えつかない	私は、生活の基盤が確立していない現状ではとても先のことは考えられません。カテゴリーを見ても生活の基盤があってこそこの項目だと思います。 町民個々の生活基盤確立を最優先に考えて頂きたい。町政、町議会、町民、みんなバラバラの考えでは、この先の双葉町の存亡の方が心配です。 みんな仲良くやっていただきたい。	ノート
66	賠償について	区域設定をして、他の町のように5年間帰れない宣言をして、早く賠償を進めて欲しい。双葉町の気候はとても住みやすかった。他の土地も良いところもあるが、やはり双葉がいちばん。	ノート
67	双葉町で生活可能な か明確にしてほしい	国（復興大臣等）と町（町長、町会議員）から、東京電力の福島第一原発の復旧作業状況及びインフラ復旧可能時期、雇用環境、教育環境等を判断（予想）され、きちんと何年後に戻って、双葉町で生活可能なのか発表して欲しい。 いいかげんに期待を持たせるような発表は止めて欲しい。5年後かな、いやもっとかなというのは、よくないと思う。もし帰宅不可というならはっきりと発表して欲しい。残念無念になるが、しかたがないと思う（住めないのだから）。一方、賠償については、移転地で十分生活出来る額を考慮して欲しい。	ノート
69	仮の町について	以上のことから、仮の町案もあるが、仮の町を作る予算措置が、はたして取れるのでしょうか。仮の町を作って、住めるようになるまでかなりの期間（何年？）と費用（〇〇〇億円？）がかかると思うので、仮の町構想は、好ましくない（難しい）と思います。それよりも、各町民毎の考えで、希望する市・町へ移転し、各々新生活をスタートして行くことが、現実的だと思います。そのために、その賠償をするべきです。	ノート
74	我が家	盆、暮れ、正月、冠婚葬祭には我が家に親戚一同集まり、寿司やオードブルで夜遅くまでたわいない話で盛り上がっていたのが懐かしい。家族も親戚も各地にバラバラになり、我が家で一同に会えなくなって悲しい。大切な我が家も今では、空き巣に入られ、動物に荒らされ、無惨な姿になってしまっているようだ…。震災以来一度も、一時帰宅できていないが、見たいような見たくないような複雑な心境だ。	ノート
75	双葉町民の証	避難時車を家に残したまま県外に避難し、避難先で車を購入しようとした際、住民票がここにないとダメだと言われ、車が必要だったので仕方なく住民票を移してしまっ。本籍地も双葉でも福島でもないの、双葉に住んでいたのが、“旧住所”でしかなくなってしまった…。双葉で生まれ育ったのに…。	ノート
76	子供達	子供達は3才と1才で避難したので、双葉での記憶は下の子は全くないし、上の子も薄れてきている。今では避難先の土地に馴染み、その土地の方言を話すようになった。順応が早く安心する面もあるが、双葉での記憶がなくなっていくのは切ない。	ノート
77	これからどうなるのか	震災になって1年すぎ、何をしてもわからなく過ぎ、ただただ思ってしまうのは自分の住み慣れた思い出だけが浮かびます。これから先どうなるのでしょうか？	ノート
78	避難生活について	賠償を早く支払ってほしい。復興住宅を早く決めてほしいです。町役場を早く福島に戻して欲しい。	ノート
81	財産	自宅には持って来たい財産がいっぱいあります。どんな小さな物でも持って来たいです。それが出来なく思い出される。	ノート
86	避難生活について	静かな双葉に比べ、今いる所は毎日夜中バイクの音や近くの公園で夜遅くまで騒ぐ若者達の声で熟睡出来ないのが辛いです。朝までぐっすり眠れる日が一日も早く来て欲しいです。	ノート
87	双葉町と避難先	今避難先で保育士をしています、双葉の子供達の素直さを改めて感じています。	ノート
91	損害賠償について	国策で行ってきた原子力行政であり、国、事業者は最後まで責任を果たすことが義務である。復興交付金のばらまきが問題となっていたが、帰還困難地域においては、除染についても再検討するなど、費用を無駄にしないためにも除染費用を賠償に充ててほしい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
94	何を書き綴るべきか	マイノートを配布されましたが何を書き綴るべきか。迷う事が多く書くことが出来ません。地区の集会でもひたすら安全を主張し、安全を信じておりました。結果的には騙されたとしか言いようがありません。自然災害と人的災害の二重災害を受けた心の傷は1年6ヶ月過ぎても納得出来る解決もなく日増しに憤りとなっております。以後は思うままに記述しますのでよろしくお願い致します。	ノート
95	一時帰宅について	帰る度に家が荒らされて悲しくなります。乱れて物色されている。一例として、佛前の金の鐘がない、当時103万で求めたもの。	ノート
96	一時帰宅について	6ヶ月帰宅出来なかったため着物が津波のため汚れがかびとなってクリーニングにかけても落ちず、着用不用となった。クリーニング代総支出40万円が無駄の支出となった。	ノート
97	一時帰宅について	帰宅には先祖代々の墓参りと思っております。背丈の雑草で出来ませんが、今回（11月6日）は雑草が処理されて墓参りすることができました。草刈していただいたことに感謝致します。	ノート
98	一時帰宅について	今後も2ヶ月に1回は帰宅することが出来れば整理ができるので、心の整理が出来ますので実現を望みます。	ノート
99	一時帰宅について	屋根の修理をお願いしましたが、そのままになっていて雨がもり、多くのものが使用不能になってしまいました。修理期日に制限されているとのこと聞きましたが、あまりにも無責任な行動に不満を持ちます。	ノート
100	一時帰宅について	道の駅ならばまたは第2原発所で検問に従事されている皆さん、丁寧に礼儀正しく接していただき、私は心からご苦労様と挨拶ができ、一日の疲れを忘れ前向きな気持ちになります。	ノート
102	中間施設について	がれき、汚染土の処理について一時帰宅の度に1年9ヶ月が過ぎても何一つとして処理されずに山となっている光景は3月11日そのままなのに悲惨を感じ、取り残された惨酷さを思わざるを得ません。他県にお願いしても住民の反対で成立出来ません。地元で処理して復興が遅れないように一歩でも前向きな環境となることを切にお願いしたい。	ノート
103	賠償について	現在3回目の避難で千葉〇〇市による民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅にお世話になり生活しております。中々環境になれずに胃の病気となりました。自然環境に恵まれた生活から「土」のないアスファルトの生活に耐えることの出来ない日々となっております。我が家は築120年で600坪の広々とした屋敷で日本庭園、入り母屋作りの平屋で12部屋あり、のんびりとした生活をしておりました。古い家ですから修理し、合理的な生活が出来るように手入れしておりました。修理費は新しい家が建つことが出来る費用となっております。甚大な災害にはあきらめざるを得ません、本当に残念無念を感じます。	ノート
104	賠償について	私は82歳を迎える身ですから存命で家に帰ることが出来ないと思っております。毎日不安な生活が続くことはストレスがたまり健康的でないことにけじめをつけることに決めました。娘や孫の住む近くに家を建設することが、残り少ない人生を自分なりに納得できる生活出来ることを心より望んでおります。故郷を離れても先祖代々のお墓は、代々守り続けて行くことを家族と話し合っている。	ノート
105	賠償について	帰還困難区域に対し東電は一括賠償し、生活再建を後押しすると新聞（読売新聞）にのりました。12月になっても具体的な手立てもなく、憤りを感じます。資金がなければ前に進むことが出来ません。1日も早く具現化して欲しいと願っております。以上、日頃考えていることを書きました。意を解していただければ幸いです。乱文乱筆をおゆるしく下さい。	ノート
110	暮らしについて	他の町での避難生活は、西も東もわからなく、大変苦勞しています。寿命が縮まるまいにちです。放射線のない所で（外部、内部被ばく）生活したい。	ノート
112	ひとりごと	原発事故から1年9ヶ月になるが事故は収束してなく、復興は進まず、国や国会議員は本気で私たちを考えているのかわからない。	ノート
115	原発	原発地の人間をどう考えているのか理解に苦しむ。全国会議員さん、苦しみ耐えている人間を人間扱いしているのか。国を良くしようなど誰も信じない。原発が収束するまで補償して頂けるのか心配だ。原発事故で部落の方、となりの友人の方々、バラバラになってしまい淋しい、くやしい。	ノート
116	一時帰宅	自宅に入るのにも草刈りが必要だけれどこわい家の中に入り部屋の中はガタガタで、何を持って来て良いのか判断に困ってしまう？また、時間の件、放射能がこわいので長くいられない。住む所でないと感じてしまう。5年も経てば間違いなく、家にある物がいたみましよう。くやしい。	ノート
118	土地勘	今住んでいる所は土地勘がなく、出歩くこともできなかった？今は農家の人と友になり、手伝いに行くようになり楽しい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
119	費用・証明	何をするにも、お金や証明が必要になってしまう。	ノート
120	借上げ住宅	仮設住宅は物資やらイベントがうらやましい。借上げ住宅は何もない。集会所へ顔を出すと変な目で見られます。どこのやつかと、〇〇の集会所の男性はおこっているのはいやになります。	ノート
121	避難	避難に埼玉県加須市まで、タクシー電車で行き、遠いので一日でした。今は郡山支所が出来たけれど、職員の方はきいても分からないので埼玉までTELしました？埼玉から鏡石まで届くのにかかる時間が長いです。	ノート
125	加須について	いつまで加須を残すのですか。各地の仮設住宅へ移動すべきと思う。光熱費、食費、生活全てを自分1人でやっている。加須の皆さんも自立すべきです。	ノート
129	避難生活 日々の思い	町復興の為に計画がなされ、個々にノートまで送付いただいた事はありがたい事ですが「言うが安し、行うは難し」の現実です。何よりも即実行を望む年令になり、先がありません。「ふたば」に見るいろいろなイベント、健康な人ばかりではない事、高齢者、弱者も多い事を考慮下さい。先人達が築いた古里の地に生きて帰る事が出来るのでしょうか。	ノート
130	避難生活 日々の思い	10月より週1度お世話になり始めた〇〇会。双葉町福祉のかつて母がお世話になっていた方の名を懐かしく書類にみる。どこに避難して居ても町と町民とのつながりのある事を感謝している。お世話する人も本当に大切であろう。皆、頑張らなくては！！ 木犀の香 芬々として 風に乗る	ノート
131	避難生活 日々の思い	毎日新聞によれば大熊町では全域が警戒地域に指定されている為、今後5年間は帰還しない見通し...との事。双葉町もその類いだらう。母逝くに 集う所なし 秋寒し	ノート
132	避難生活 日々の思い	町役場は弁護士 2人分をたのんでいる。昨年3月～今年2月迄の費用請求しているが、今だに一円も出ていない。いつになったら、ラチがあくのだろう。今後は個人で手続きする事にする。もう10月も終わるというのに。	ノート
133	避難生活 日々の思い	今朝の新聞にみる（毎日） 東電・福島に復興本社。来年1月にも設置する方針。復興業務に携わる人員を3500人を4000人。被災者への賠償支払い、除染も100人～300人。関連業務の権限を現地に移す。 良い情報が待たれます。	ノート
134	避難生活 日々の思い	ふたば お送り下さいまして有りがとうございました。新聞に見る各部落の皆さん、お元気そうで何よりです。知っている面々をさがしてなつかしんでおります。 1. 高速道路無料化の延長 ・H25.1.15迄 2. 医療保険 ・H25.2末まで	ノート
135	避難生活 日々の思い	道端にある他人の庭に石路の花が乱れている。我が家の石路はどうなっているか。 思いはいつも古里にある。町 復興には年齢的に大きくなりすぎた。母の喪中の葉書を住所のわかる範囲にかく。 寒菊の 色とりの上 白き蝶	ノート
136	避難生活 日々の思い	町からは日々情報誌が送られて来て、居ながらにして双葉町の現状がわかる事が幸せである。特に同封してある古里の新聞（民報、民友）はなつかしく、すみずみまで読んでいます。	ノート
138	避難生活 日々の思い	間もなく師走だというのに、H23.4～H24.2月の諸費用 町の弁護士に頼んだもののなしのつづてである。次回からは、1人月10万の方法でやる事にする。年金の引き出し生活にも限界をみる。	ノート
139	避難生活 日々の思い 町に対して	役場住民課にお悔やみを出す事に2件のご家族の住所を問い合わせても何の連絡もなし。やはり個人情報云々なのかな。返事ぐらいあってもいいのに。 返信封筒も同封したのに。	ノート
140	避難生活 日々の思い	県外JA通帳受付不可との事（JAバンク） 年金引き落とし生活は不自由なものです。年金は双葉の方に入ってますので。町の弁護士、一日も早くお金を出して下さい。	ノート
141	避難生活 日々の思い	町より双葉町弁護士との意見交換会（12/8）のチラシ入って来る。昨年3月～12月分、1日も早く解決していただくよう、加須に住む友人に依頼する（役場 原子力係の人）	ノート
142	7000人の復興会議に関する「見解」について	双葉町の復興に尽力されている皆様に感謝いたします。町から、意見を述べるようにと資料が送付されてきました。自分の「生活」を再建するのにいっぱいです。年もとってきました。残された人生を周りの事柄に影響されずに 生きたいと考えています。 以下に意見を述べますが、残念ながら「批判的な意見」になってしまったので、送り返すのをためらいました。それでも、何も語らないのは失礼と感じ送ります。 結論は、もう双葉町に帰還して生活する意思は持っていません。 参考にならないと称して、「破棄」されるもよし。「参考」にされるもよし。ご自由に「扱い」ください。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
153	双葉町での暮らし 現在の避難生活	私は厚生病院の近くで、海には徒歩2キロぐらいの近さで夏は涼しく、冬は暖かい所でした。現在は、私の妹が栃木県〇〇市に住んで居ますので、こちらに住む事になりました。（誰も知らない町にはなかなか住めない）双葉町は自分達の持ち家で、40坪の建屋でしたが、今はアパート暮らしで狭い部屋なので不便を感じています。また、引越をしなくてはならないので、なるべく家具や物をふやさないように暮らしています。	ノート
154	子供の教育（自分の）、学校のこと、新たに求める教育	やはり、子供・孫の事を考えます。これから日本全国不景気でたいへんな時代になっていきます。大手会社はつぎつぎと倒産していき、将来就職が大変になっていきます。殺人や自殺が増え明るい未来とはいえません。日本の政治家の議員達は常にまとまりがなく、総理は1～2年と変わり、日本の子供がかわいそうです。	ノート
164	賠償について	避難している多くの人は、職を失い、収入が大きく減少し、生活は容易ではないと思う。そろそろ生活再建についても考えねばならないが、その裏付けとなるのは東電からの賠償金であろう。避難区域指定とも大きく関連するが、そういう面からも新しい区域の指定を急いでほしい。慎重に進めることも必要だが、早くすることはもっと大事である。	ノート
169	早く足を地につけた生活がしたい	賠償説明会に出席し、これからの方向性が少し見えてきたと思っていたが、賠償金をあてにして前に進む準備をしようとしても、いつになるか、分からない状態で不安である。自立（各個人）が復興だと思うから、現状だと不可能な人が多いのではないだろうか。町独自で東電に訴えるのではなく、避難町が一つになり、早い賠償をしてもらうよう団結して請求してはいかがでしょうか。	ノート
174	つらいよー	つらいよー	ノート
177	双葉町での暮らし	飲んだり食ったりは、どこで生活しようがさほど変わらないが、生活は違うと思う。双葉の人とは誰にも会えない。話し相手もない。	ノート
178	病院、福祉施設のこと、健康のこと	先だって健康診断（市民病院）に行った際、内科の先生（年配の方）がいろいろと話を聞いてくれて胸のつかえが少し取れた気がする。（感謝）	ノート
179	避難生活について	現住所は、不動産屋の照会で「水洗」ということで契約したが、最初から風呂が臭くて困った。（大根おろしが古くなったような、茹で卵が硫黄みたいな臭い）臭いの原因は風呂場の排水溝から上がってきていた。（清掃業者の作業に立ち会って分かった）。簡易水洗の排水溝と風呂の排水溝、各家庭の排水溝がつながっている。自分のトイレが原因と思って清掃業者に依頼して、汲取してもらった。不動産屋に文句を言ったら、この地域はこれが水洗だと言われた。栃木県に家賃を援助してもらっているのに我慢している。	ノート
180	一時帰宅	第五次一時帰宅、玄関、庭が草ぼうぼうで草が木に成長して、小さな雑木林みたいで手に負えない。町で草刈りしてもらいたい。大変だったら燃やしてもらいたい。	ノート
184	避難生活 日々の思い	町民皆は独立して生活している（私は両手、両足が不自由）。生活していて不便がたくさんありますけど、出来る限りやるように努力しています。こういう人もいるのですから、1日でも早く埼玉・加須から撤退してもらいたい。いつまでもそのようなことをしていないで、いち早く退去し避難所を早急に出てもらいたい、双葉にいた時だってきちんと生活をしていたと思いますよ？	ノート
187	仮の町について	仮の町は全員が希望するだけの規模となれるのか。希望者は皆受け入れてもらえるのか。何年間そこに住まなければならないのか。その後は、どのようにするのか、年限をきちんと示してくれないと、生活の設計が立てられないので困る。未来が描けない、希望がもてない、前に進めないでいる。毎日このような生活をしていたら、体がどんどん弱って行き、ここを出られる様になった頃には、動けなくなってしまいます。	ノート
193	老夫婦二人での暮らし	今は老夫婦の二人で暮らしていますが、何かあったらと不安の中で生活しています（突然の病気とか地震等）ので、子供達が働いている所の近くで住みたいと思っています。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
196	東日本大震災 H23.3.11（金曜日） 晴、忘れられないあの 日あの時	<p>丁度次男の誕生日勤務の都合で家に下宿していた金曜日なのでその日は車で7:30分に家を出てその日は家に行く日だった。私とジーさんはまだ春も浅いので多分ぶらかな午後の地震の時はジーさんは書寝の時間だった。1回目の揺れは午後の14時45分頃と、その時ジーさんは眼をさまして落ちてきた品物を夜寝る所がないと片付けする。</p> <p>2回目の揺れは一度目にまして15時半頃かしら、すごい揺れで窓も戸もみんな壊れ電気は止まりどうする事も出来なくなり隣の庭の様子を見て逃げたいけど、日は沈みだんだん暗くなるので避難の連絡があったけど、車は車検が近いので修理屋さんに行ったので隣の〇〇ちゃんにお願いして小学校に逃げる。その時ジーさんは冷蔵庫のバナナ、牛乳、パンを私はベッドの上かけとうすい毛布を持って着の身着のままという言葉通りで食べ物は分け合って、小学校へ泊まる。それからずーと現在に至る。</p> <p>文字も忘れ、字も汚く、御免なさい。</p>	ノート
197	3月12日（晴）	<p>多分この日も晴れていたと思う。朝7時頃家へ帰れるかと思ったけど、それは駄目とのことなぜかは知らなかった。8時、9時と時間がたつにつれて東京電力で爆発とか騒ぎ、多分10時近くに道が壊れて思うように通れないとのことで、でも3台のバスが来てくれて北小に避難した人達が乗って、浪江の苅野幼稚園に行く。そこで炊き出しのおにぎりを始めてごちそうになる。おいしかったです。ごちそう様。</p> <p>でも14時すぎ、やっぱり危険とのことでまたバス3台に乗り込み、今度は川俣の方へ行ったけど途中の道はものすごい車の混雑で予約の小学校は満杯でそれから交渉しての小学校はずっと町はずれの電気もない水道もない福田小学でした。それで自家発電というか2箇所炊いて下さって薄暗いけど皆んな集まって寝ることは出来なかったけど休んだ。余り遅かったので私達は夕食もなかった。私達には何の事も知らない1日だったような気がしました。本当に疲れた感じがしました。</p>	ノート
198	3日目	<p>朝が来て何も無い、買い物に行くにもどうする事も出来ないで周りの仲間の人々が1人買い物に行くので私のほしいもの買って下さいとのことで、ちょっとしたものを買ってもらい食べ物も隣の人に頂いて食べた気がします。その頃よりジーさんはストレスか食欲もなくなり、吐気をもよおし救急車で病院に行ったけどから戻りで手当もしてもらえなかった。でも午後15時頃息子二人が探しに来てくれて長男のいわきに来て、病院その他いろいろつくしてもらい現在に至ってます。</p>	ノート
199	4日目	<p>本当にあの時を思う時、いわきに来て水道はなく、水は浄水場まで若夫婦がもらいに行き、食べ物はスーパーも店も閉じていて衣類は東京の孫達に送ってもらい、食品は親戚より少しゆずってもらい店の開くまでのぎました。あの頃助けて下さった皆さん、家族有難う。</p>	ノート
200	ショックとストレス	<p>いわきに連れてこられてからも、ジーさんはショックとストレスで耳鳴り、目まいと医者通いどうなるかと思う程だったけど、暫く現在は落ち着いて週2回のデイサービスへ通ってます。</p>	ノート
201	現在の思い	<p>私のあの時の逃げた思い出をある一言に書いてみました、広い家から6畳1間の部屋を開けてもらい、テレビ寝室として生活食事は皆と一緒にですけど、不自由、不便は数々、でも行く所もなし人生の終わりはここで決めて世話になってます。</p>	ノート
202	ところでみんなでまち作り...	<p>私はこれから5年後それとも10年後、私には老齢で何にも考えられません。まして役場そのものが埼玉にあり、来年植田あたりに来るとかいわき市から遠すぎて私達には何にも望みもありません。やる事が遅すぎて、いわきに住んでいる私達のような者には何の支援もなく自分のことではいっばいっばいです。双葉町を作るなんて土地もない、これから一箇所に作るなんて出来ないと思う。郡山、福島、いわきに何ヶ所かになていうことは双葉町はなくなります。遅くなれば待ちきれない人は自分で土地を求め家を作ります。</p>	ノート
203	双葉町へ入る道	<p>町長さん県内の人でも埼玉の人と同じく考えて早く戻って来て、外の町村と話し合って良い方法を取って下さい。私の願いは鉄道もない道路もないのでせめて双葉に入るのに自由に6号線を通れるようにしてほしい。原町の方面に行くのに福島経由なんて遠すぎます。なんとかしてほしいです。お願いします。</p>	ノート
209	不安	<p>先祖代々の土地で培われてきた生活を分断され、知らない土地で知らない人々と生活する生活も一年以上となり、一日も早く双葉町に帰りたいという思いは全員が持っていると思う。復興に向かって行く速度が遅く、行政の考えが見えないことに対する不安ももっている。このような生活の先に何も無いのではないのか。自分の家庭は自分達でやらなければならないのか。それにしても何もかも失ってしまったのに！</p>	ノート
210	一時帰宅について	<p>必要に応じて一時立ち入れを自由にしたいと思うが、よい方法はないのか。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
216	これからの生活	私は、H23. 3. 15以降、神奈川〇〇市を経て、同4月より埼玉県〇〇市の県営住宅に御世話になり避難生活を続けております。避難生活は不便な点もありますが、双葉町の自宅で生活が出来ないさみしさ等以外は家族も大きな問題もなく過ごしております。 震災以降家の状況（三度の一時帰宅）及び発電所の状況、国及び東京電力の対応等いろいろ考えますと福島県双葉郡の未来の展望について、とても希望のもてる状況ではないように思えます。結論から申しますと、我々家族は双葉郡が原子力発電所の事故以前の状態に戻らない限り、自宅に帰る事をあきらめております。 今回復興会議により、町民の意見提案の募集という事ですが、町民それぞれ事情、意見があり、統一する事は非常に難しい事と思われます。もとの生活に戻れるならば、それにこした事はありませんが、その為には長い時間と大きな問題を解決していかなければなりません。私もH25. 3月には60才となります。新しい人生をスタートしなければならぬと思っています。	ノート
221	加須へ行って	内部被ばくの検査に3時間半位かけて行く。加須まで遠かった。学校に居る知人数人と顔を合わせてなつかしく話をしてきた。しかし、弁当がなくなり、少しでもお金を使わないようにと、栄養の面で心配です。自分で早く自炊をして、自立して頂きたいと思ってきました。皆さんお身体に注意して下さい。	ノート
222	双葉での暮らしを思い浮かべて	孫が熱を出し、共稼ぎの二人は休めない為、朝5時起きして母の食事を用意をして（夕方まで）大変です。双葉におれば、5分位で行く事が出来たのに！早くそんな日が来る日を思い浮かべています。	ノート
226	騎西高校に避難している方々	読売新聞に騎西高校に避難している人達が「自分達を捨てるのか」と言っているとの事です。ちょっと考えさせられました。1日も早く自立して頂きたい。電気料、ガス代、水道代を払い、家族に美味しい料理を作ってやって下さい。身体を作って下さい。人間は健康でなければなりません。1日も早い決断を...人のためでなく、自分の為、家族の為に、勇気を出して下さい。	ノート
227	一時帰宅について	一時帰宅で家に入ります。この家には住めないと思った。これからの事を考えると頭が痛くなる。こんなはずでは無かったはずだと...早く安心して住める、枕を高くして眠れる日はいつか？何もわかりません。早く先が見える様お願い致します。	ノート
230	避難生活 日々の思い	今日から〇〇から〇〇の仮設に移る為、すこしずつ荷物を運ぼうと朝1度行って来たが、体が調子悪かったので今日やめにした。引越なんて今まで1度もなかったのにととても悔しいです。早くこんな生活からぬけて双葉に帰りたい。	ノート
233	仮設住宅への移動	現在の所から移動します。階段がつかず足を傷めて仮設に移ります。残り何年世話になるのか、これからすごく不安でなりません。早くふるさとに帰りたい...	ノート
239	3/11から1年9ヶ月	3月11日からもう1年9ヶ月、まだ何も見えていない様な気がします。これからの町づくりといってもどうなのでしょう。（双葉町の町長、何してるんだって声が大きいですよ）各市町村から、外されたりしないんでしょうか？自分は山田〇〇、強いですよ放射能。帰れないでしょう。自分はもう開き直りあきらめています。仮の町づくりの考えがあるのであれば、町をハッキリさせて、いわきにある国有地でも何でも早くしないと、いま仮設にいる人達が可哀相な気がします。あと何年、今の生活していけばいいんでしょうか？	ノート
241	マイノートについて	H24. 9. 30（日）町づくりマイノートが届きました。年寄でホームページも携帯も分かりませんが早く町が元通りになって双葉町に帰りたいです。それには余りにも年をとって過ぎて、これからどんな生活になるのだろうと不安です。でも若い人と今まで同居してましたから、若い家族ががんばってくれと良いと考えています。	ノート
242	生活支援の方と話して	9月中旬に、双葉町の生活支援の方が来て下さった時はとても町に戻った様な気持ちになって、お話できました。町の人皆戻りたい気持ちは一緒だと思いました。	ノート
245	請求書の件	東電の請求書の件ですが、たとえば通院証明書を取れば領収書がないとだめになるし、確認だけでも請求できるようになるといいですね。東電の方に相談して頂いて、ありがたいです。もっと精神的ダメージがあるので、賠償してほしいと思っています。	ノート
247	一番の救い	悪い事ばかりがあるわけでもない。遠くて娘の顔も見られない土地に嫁いだのに、震災のためにそばで毎日娘の顔見える場所に避難して来ましたから...それが一番の救いです。	ノート
248	今の生活を必死に生きる	今まで何十年も一緒にいた家族住まいが恋しくなってきました。元に戻るのか心配です。元気を出して家族に心配かけないように今の生活を必死に生きてます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
249	自分の健康	自分の健康には特に気をつけて、周りの人に心配かけないようにしています。足が悪くてどこにも出る事が出来ないけれど、編み物をしたり、自主トレーニングをしたり、娘に洗濯物を全部たのむんじゃなく、パンツくつ下位は自分で洗ったり、自分が出来る事は何でもやる事。年よりも自立が肝心です。	ノート
250	年寄りの自立	年寄りの自立といえば、やっぱり金銭問題出て来ます。何でも若い人におまかせすると、ボケてしまうので、しっかりするように自分で管理したいと思っています。	ノート
251	事故から今の避難生活での思い	H23.3.12(原町石神中学校体育館) 原発の事故から双葉郡から避難して早2回目夏も終になろうとしています。第1回目避難生活、地獄の生活でした。たった3日間でしたけど。暖房は初日だけで2日から灯油なくなり、車で第1回目避難移動を予定してたが、ガソリンがなくなりどこのスタンドも開いていませんでした。食べ物も残り少なくなり、原発事故の様子情報まったく入ってこないなか、3日目に入り避難所担当が全員避難命令が出たので避難するのにも、車に油が福島まで行くの精一杯でした。私も最後の頼みの綱があったので、連絡を取り柏崎からガソリンを確保してもらい、福島のおづま総合体育で合流してなんとか柏崎の避難所に入れたので安心しました。避難所生活を送り始めてから天国な生活が朝昼晩と1日3回弁当が出るし、風呂は毎日入れたので最高です。それから何日かたってから、柏崎市の配慮で〇〇団地が30棟余りを提供で、抽選で当り家族4日団地生活が避難の第一歩、これから大変でした。家電製品ない日常に必要な物をそろえるのに手持ち金でなんとか整えました。でも私達4階だったので苦労しました。私の長男家族も、姑や祖母なども違う棟で生活が始まりました。去年6月～8月ころから借上げ住宅が始まり、なかなか私達に合った物件が無くあきらめて居た所、一軒家の物件が出て来たのですぐ不動産に申込みました。今はその家に住んでいます。今年の1月～3月までは大雪で雪かきにおわれて大変でした。もう雪はいらない。早く福島に帰りたい。なんとかしろ政治家！！	ノート
252	避難生活 日々の思い ～入院	東電事故が原因でストレスが溜まり去年の11月末体調が悪いから、柏崎の大きな病院を紹介されて、血液検査の結果、一生付き合っていくかなければならない病気にかかっていました。その病名は糖尿病と診断され、涙がなぜか自然と流れて止まりませんでした。今年の12月末まで食事療法と薬で何とか糖の方は落ち着いて、12末に退院許可だったので、退院したのだけど退院する前に循環器の先生にH24.2月の頭にカテーテルの診察しますからと言われ、私、不安のまま退院して、24.2.1に入院検査の為3日入院し調べた結果、大変な結果でした。まず第一の病名は、足の動脈硬化と狭心症の病気でした。循環器の先生、今すぐに手術しないと駄目と言われ、長岡市の〇〇病院の心臓外科の〇〇先生を紹介され、〇〇先生に成功率を聞き99%は安心して下さいと言われて、私なりに一安心をだいてH24.3.1に手術を行った結果、私、麻酔から覚めたら正直生きていたのだと我にもどり、涙が出るくらい嬉しくてたまりませんでした。人生生きているってこんなにすばらしいことだと、つくづく感じました。手術してから約二週間位入院して退院出来ました。今は術後の違和感はあるけど（まだ半年だもんネ）日一日々元気に生活を送っています。けど避難生活はいやだ、東電・国は私達の毎日どんな苦労して生きているか、分からないと思います。出来るならば、交代して私達の生活をあじわってくれ！！	ノート
256	私の一人言	早く孫達と原発が無く、放射能も無い場所で暮らせる日が私が生きてる間に夢が叶う事がいつ来るか分かりません。私自身ではむりかな...と思っています。毎日、今の住んでいる所は、どんよりとした天気で雨や風、雪で来年3月頃まで太陽は出ません。もうこんな生活はいやです。早く孫達と暮らしたいです。国と東電が一番憎いです。	ノート
261	避難生活 日々の思い	自宅（借上げアパート）にて このノートが環境省の思慮深い方々の目に止まる様、祈っている。 ・双葉町は町長不信任案が議会全員の可決により採択。町長判断により、議会解散が決まった。2012年12月25日。 ・自民党が2012年12月16日、与党復帰をはたした。 このノートの提出が遅れたことをおわび致します。	ノート
277	このイッピン	元気が一番 生きることは食べることだと思います。埼玉に来て、1年8ヶ月その間、〇〇様〇〇様の炊き出しが、心あたたかく、食事をいただき、作っている。みな様方も一生懸命あせをかきながら、作っているのを見ていると、なみだが出て来ます。どうもごちそうさまでした。ありがとうございます。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
278	双葉町での暮らし	私は〇〇才。昭和〇〇年の〇月に小学校に入学、昭和20年8月15日終戦、その頃は物がなかった時代でした。でも自然の物がありました。山にはクリ、フキ、キノコ、ワラビ等など畑には季節の野菜が有り、田んぼには米など、家もありました。平成23年3月11日以降上記のすべてがだめになり、ふるさとを思い出します。今のくらしは、旧騎西高校にて一日一日を過ごしています。自立したい気持ちがありますが、なにぶん福祉の皆様にお世話になっている身、これからのくらしを思うと気持ちが重くなります。でもご安心下さいませ。それは笑うことです。最後に双葉町がひとつになることを希望いたします。	ノート
279	現在の状況 双葉町・人口	・県内約3600人、県外約3300人 ・役場（埼玉県加須市）仮役場県内郡山、つくば ・県内での仮設住宅は中通りが一番多く、つづいて浜通り、会津は5戸 ・原発事故による中間貯蔵施設の問題 ・賠償についての矛盾 ・8町村への取組 一何が進んできたのか？ 一何を望むのか？ 一存続させる意味 一メリット、デメリット 国・県・自治体←（すべて関係が悪い）双葉町	ノート
289	無念の一言	無念の一言につきます。 原発事故がにくい！！ あわれだ！！	ノート
290	出口が見えない人生	姉を頼り船橋市に来て早や1年と8ヶ月が過ぎようとしております。今だ暗いトンネルから出口が見えない人生！！	ノート
293	マイノートについて町に対して	町民の意見を聞く事は大切だと思うが、この「マイノート」は、お金をかけすぎの様な気がする。各家庭一冊ずつでも充分であると思うが。今だに避難所を設置している町長の心境が理解できない。同じ町民間の摩擦を大きくしている責任は町長にあると感じている。 食事についても、支援物資についても、あまりにも不平等だと思う。（避難所生活の人は、あたり前だと思っているようにしかみえない）自立して生活している人が、食事も無償で、できている人より賠償金が少なく支給されている事に憤りを感じている。避難場所に居る人達の自立をますます喪失させると思う。（仮設が空いているのだから）そこに移った方が良い。他町村の人に、はずかしささえ感じていて、自分が双葉町民だと言うことさえ、ためらってしまう。 他町村に比べ全てが、双葉町は遅れていて希望すらもてない。まとまりもないと感じ、双葉町に帰ってもう一度良い町にしたいという気持ちもなくなった。	ノート
294	借上げ住宅に住む、老人のひとり言を書きました。	借上げ住宅に住む、老人のひとり言を書きました。お笑読下さい。 双葉町へは元気な身体で戻りたい気持ちですが、気持ちと身体は同心ではありません。頑張れるだけ頑張らうと思います。日々の生活の中での病みを読んで下さい。 七六才	ノート
295	一日も早く双葉町へ戻りたい	双葉町へ戻った夢をみる！ 原発災害で避難する前 双葉町に住んで居る時、我が人生も75才これまで病気ひとつせず、働く事、動く事が人生の一番の楽しみで頑張ってきました。我が家の近くに山田～郡山線の立派な道路が出来ました。避難道路としてつくったが、本当に使う事があるのか…そんな考えで見ましたが、この度の原発災害避難の中で細谷地区の人達がこの道路を通過して、山田多目的集会所に3月11の夜泊まった事を知りました。	ノート
296	私の夢だった	この山田～郡山線に花を植えて花見山とはゆかなくても、つつじ、水仙、アジサイ、桜、アヤメ等を植えて、毎日散歩する人達が心なごむ道にしたい。そんな気持ちで平成11年の災害前、少し植えました。 75才後は老後の夢を持ちましょうと考えていました。今こうして避難の中それが出来ない事がくやしい。 5年の計画で、この災害がなかったら今頃きれいな花が咲いていただろう。 花木の植栽は終わっていただろうに。	ノート
298	歳十年の欲	今年75歳 それにこれから5年後双葉町へもどるとしたら 76+5=81歳 「われ故郷に生きて帰るぞ」 毎朝5時30分に起床 約2k～3km歩く。目標あれば足どり軽い	ノート
308	仮設 借上げの3年後	避難して3年後 仮設借上げに住んで居る人達、その後の住宅の問題。この住宅仮設借上げは1つには2年 延長1年の3年と国の決まりがあるそうですが、双葉、大熊、富岡、浪江が3年後の住まいの問題が生じると思う。	ノート

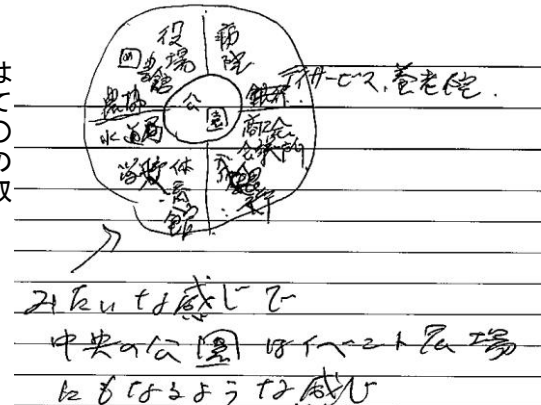
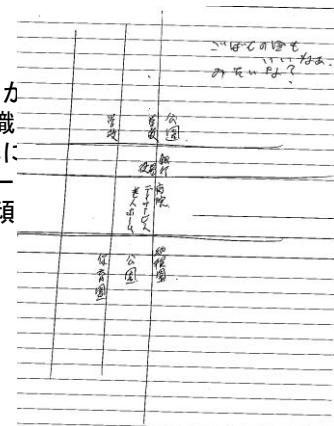


no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
315	避難して3年後借上げ住宅は	<p>避難して3年後。仮設住宅、借上げ住宅は3年まで。今後5年間戻らずの話 を聞く。この3年以後の住宅の問題、これからも延長して住めるのか。 双葉町がいわき市に役場移転。町民はいわき市へ移動。「仮の町」町民 の住まい。 我が家には戻れず家族はバラバラ。 借上げ住宅や仮設に住めなくなった。 避難先で自分の家を持つようになったら、双葉町民も戻る人は少なく なってくる。3年後も借上げ延長をしてほしい。 一日も早く除染を、除染をしてもダメなら戻る事もあきらめる。 今の子供達が県外で学校を卒業し県外に就職すれば、若い人達は戻らな い。全損賠償になれば土地や農地を見捨てて住まいを郡外、県外に移住 する様になる。双葉町も草木の生え茂ったその中に住む事は出来ない。 戻らない人の屋敷、田畑は草ぼうぼうで、誰も他人のものの草を刈る人 はいない。それがこわい。20戸の部落が5戸、7戸と移住すればその部落 は自然に廃家が増えて住む人が居なくなるのでは… 今は戻りたい、帰りたいとの気持ちは5年も避難していれば薄らいでく る。私はそれがこわい。 安心して住めなければ必ずこうなる。1戸2戸頑張っても自分の財産の田 畑だけでいっぱいいっぱいなのに他人の住んでいない人達の財産までは 手が廻らない。水路の草刈り、堀上げなどやれないと思う。地主不在が こわい。</p>	ノート
318	10.7 民報 「仮の町」にも法の壁	<p>避難者受入れに対し土地や行政サービスの問題 集中型の「仮の町」を作るには土地の問題が生じるという。 我々避難者は何処へ行けばいいのかわからない。やはり「仮の町」はム リか。仮設・借上げ住宅3年間といて、今だに何も進まない。 6年避難していたらどうなる。 帰る人も少なく、国も除染して早く。 一年でも、早く戻す事も考える。 全損賠償というけれど、国や東電は全損補償するお金があるのか。 やはり一に除染二に除染で事を進めなければ、ダメだと思ふ。 60% 80%の賠償でやむをえない。期間が早ければ戻る人が多いと考える。 東京電力も賠償よりも廃炉が大変だ</p>	ノート
322	避難して1年半	<p>これから5年も避難生活を続けられて行けるのか！ 毎朝起きてすぐ、朝の散歩をする。約2km歩く。 目的があって働いている時は楽しみもあり疲れもさほど感じなかった。 働きの中にも夢もあった。 健康維持のために歩く一歩二歩と、いつになっても避難民だと思っている。 やはり双葉に戻って伸び伸びと生活をしたい。人間対人間はどこでも同 じかも知れないが、誰にも気を遣う事なく生活できる所がある。 ああ、帰りたい、戻りたい、我が故郷に</p>	ノート
324	最近、原発災害も何か 「対岸の火事」そんな 感じがする	<p>除染も進まず先々が見えない。 一年前は”絆だ 結びだ 頑張ろう”とか言われましたが何か薄らいだ 感じ。 我々避難民の事が忘れられてきた。 中間貯蔵置場も従えば その近くに住む事も出来ないだろう。その施設 ができれば、それから離れなくてはならない距離 道路、交通、施設が 出来る地域に住んでいた人達のこれからの住まい 立入り禁止……。 施設のできる地域の人達の賠償問題 以前までその地域に住んでいた人達の生活保証と、考えればきりがな い。 強制立ち退きになると思う。 30年も処理にかかれば、誰もが反対は本心だ。 地域同志の隣人愛でお互いささえられて生きてきた事を思い出す。</p>	ノート
325	一歩も進まない除染	<p>技術的にも少ない除染の方法 明日の見えない 日々の生活</p>	ノート
326	福島原発は全て廃炉 に！	<p>この避難生活いつまで続く 家の住家も6人が離ればなれ、何が「絆だ」と言いたい。 こんな事は二度と起こすな原発があればいつか、また必ず起きることを 忘れてはならない。原発災害は後をひく。二度あれば人間は馬鹿だ。 平和な人間生活を望むならば原発はいらない。われわれ双葉住民の避難 生活は避難民しかかわるまい。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
330	不安	<p>1. 双葉町が戻れような環境になるのか  2. 今は避難しているが、今後、仮設・借上げ住宅が3年後どうなるのか  3. 自分で土地を探し住宅を確保しなければならないのか  4. 今後、仮の町を作って避難している人全てが入居できるのか  5. 学校（小学校、中学校、高校）などの子供達が入学できるか  6. 子供達が学校の為に、家族バラバラになって避難先に入学や就職すれば、双葉町への帰還は減る一方、町の人口低下となる。  ●3.11新潟県へ避難した、孫と嫁の3人  中学校高校に進学。それぞれ学校を終えるまで、頑張っしてほしい。</p>	ノート
331	われ双葉町に戻れるのか	<p>避難して二度目の冬を迎える。  明日の见えない日々、1日1日過ぎ行くのは速い。  我、いつの日双葉へ戻れるのか、夢も希望もない毎日  戻れないのなら、双葉町を離れて、どこかに住む事も考えなくては  孫達の人生もあり故郷のない人生、そんな事はさせたくない。  どこへ住んだら良いか、いろいろ悩む。戻れるのか 戻れないのか  戻っても生活できるのか  中間貯蔵施設が出来て住む事が出来ないのか  やはり一度除染してみなくては。そんな事を考える。双葉へ戻れるなら  生きて戻りたい。</p>	ノート
332	檜葉町繁岡の同級生と 会う	<p>久しぶりに会う。同級生の葬式 福島にて  友人も先日檜葉町へ行って来たという。朝行って夕方帰って来たとい  う。来年は帰れるような話。うらやましい。建物（住宅）の痛みは少ない  との事。水さえあれば住めると言う。  避難して同級生3人亡くなる。さびしい…。  全損賠償の話もあるが1年でも早く戻れば、それだけ早く建物の修復が  出来る。20%減る考えもあるが1年早ければ建物の痛みも少なくなるの  で、戻る人も多いと思う。</p>	ノート
333	6巡りの帰宅	<p>あの荒れ果てた家屋敷、田畑の姿。本当に元の姿に戻せるのか。  近頃そんな事を考える。  あのセイタカアワダチ草、2m近く延びている。あの繁茂ぶり、これから2  年、3年、4年が過ぎたならどうなる。双葉の地へ戻ろうと思う考えも変  わってくると思う。  双葉の地へ戻る人もこれから1年で1割減、2年で2割減、4年過ぎれば4割  減、6年過ぎれば6割以上が戻らないだろう。7,000の人口の「双葉町」も  6年後戻る人も3,000人弱では、「双葉村」になってしまう。  いかに一年でも早く戻れる様にしなくては、と考える。除染を急がなくて  はならない。早くやらないと戻る人が居なくなる。</p>	ノート
338	精神的賠償をカット 怒る	<p>上記の賠償をカットされた。  警戒地域（大熊町）  平成24年2月〇日、福島病院で死亡した〇〇の精神的賠償の賠償（1ヶ  月10万）12月、1月、2月の3ヶ月分30万をカットされた。  あと10日延命あれば満3ヶ月0Kだったのに。東電は、どうのこうの云って  30万を切り捨てた。  俺は怒る  避難民を「ばか」にしている  賠償金どうのこうのでなく「公平」「平等」の意味からもきちんと補償  してほしい。</p>	ノート
339	一時帰宅	<p>帰るたび（一時帰宅で）傷み行く住居や宅地、そして、田畑。  11月17日、双葉町へ帰る。戻れるのかわからない我家の家の内と外。少  しでも元の姿と思って片付ける。夢も希望もない避難生活だけど、家に  いるという気持ちだけでホッとす。家族や隣人、元に戻ってくれるの  か。また、戻って住めるのか。いろいろ考える。原発が出来て生活も良  くなつたが、地域の住民、今度は原発に殺された。そんな気がする。  荒れ果てた我家に「また来る」と心の中で言いながら！  「庭木、敷地内は放された牛に押倒され、庭には牛の糞があっちこち  にある。  味噌桶や漬物桶は中味は牛が食べたのかこわされて散らかっていた。」</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
340	きれいに刈り払った水田を見る 小高区神山地区	父の命日（11月〇日）に墓参 白河市～福島～南相馬市、小高区を通って墓参。その中小高区の神山の地区がきれいに水田の刈払いをしており、あのアメリカセイタカ草は刈られていた。 部落民が出演しトラクターにつけた刈払い機で刈ったという。水田の入口や畦畔草刈機で刈り、水田の平らな部分はトラクターで刈る。 来年度、米を作れる訳ではないが、刈払う事で大きな草にならないという。 この刈払い作業をすることで線量の低下も進むような感じがする。 やはり、双葉も一日も早く除染して、住むまでは出来なくても小高地区のように、朝入って夕方は出る。そのような姿になるように。やはり除染を早めなければならない。 除染して出入口が見えても、戻って住むまでは2年以上かかると思う。	ノート
344	同級会にて	先日檜葉町〇〇の同級生に逢う。今、檜葉町は除染をやっていると言う。 川内村の同級生にも逢う。川内村も除染をやっていると言う。 わが双葉町はどうなる。いつ頃戻れる様になるのか先が見えない。 荒れ果てたあの農地、5年6年後は山となるだろう。そうなったら誰も帰らない。米も野菜も作れない農地。 年寄りも死亡、子供達は戻らない。先々に町はなくなる。 今の子供達も県外や県内の他町に就職して戻らないだろう。 早く帰れる、戻れる希望をもたなくては。	ノート
346	元の地元に戻って住むことが出来るのか	警戒区域が数年後（6年）放射線量が低下して、人が戻って住めるのか新聞、TVなどでは今後5年間は戻らない……との記事。ニュースなどで聞きますが、7年後には避難前の状態にもどせるのか。 人の住まない土地には鳥も住まないし、昨年7月一回目の帰宅の時新しい燕の巣を見ました。しかし、巣の中には卵のふ化した姿は見えなかった。1羽の燕の姿を見る事はなかった。合わせてスズメもいなかった。さびしい事だと思う。	ノート
348	浪江町も線引き（区画再編）案	隣町の浪江町も線引きと言う。常磐線より東方、南より高瀬、権現堂、西台、幾世橋、棚塩、請戸、中浜…は解除される様な話が耳にする。すぐとは行かなくても、何かうれしい。前向きの話、常磐線より西側は居住制限区域と帰還困難区域とする案。低線量の地域は戻れるものは戻れ。自分の故郷は「ホット」する。 川内村も村長が大分戻ったと聞く。先々の事を考えるといつまでも避難生活をしておられない。川内村の毛戸地区の線量の高い地域の人には川内村の仮設住宅に入っていると言う。 川内村は偉い 村長も戻れるものから戻れと言う。 いつかは双葉町もと思う。 先の見えない生活はつらい。	ノート
349	夢 双葉町へ戻った空	避難生活を終えて双葉町へ戻った夢を見る 家屋敷周辺は草を刈ってきれいになっていた。 家の中を片付け家のこわれた処を修理し、電気もつかう。水もある。 やれやれと思って畑の草を刈り取り野菜畑を耕し、野菜を作っていたら放射能が高くて作った野菜みんな食べられないと言う。 家へ戻っても米も野菜、味噌、醤油もなくては生きて行けない。 何か戻っても家にあるものは全てダメ。食べるものもなければ生きて行けない。 また、避難所へ戻る夢を見る。	ノート
352	仮の町と子供達（学童を含む）	これから先の問題だけれども、これからの町の構想の中でもし仮の町が出来た場合、現在全国に避難している子供達が、仮の町が出来てその仮の町に双葉町民がより集まった場合、仮の町に幼稚園、小学校、中学校、高等学校とその学校校舎まで建てられて運用されるのか。仮の町を作るといっても、そのような問題が生じると思います。現在の様に家族バラバラの生活はもう沢山です。家族の気持ちまでバラバラです。高校生を持つ親は子の学校の関係で仮の町にも寄れないと思います。	ノート
353	二度とこの家に住むことはないんだ	悪夢のような出来事から二度目の冬を迎えました。 先日一時帰宅しましたが、ボツンと家が淋しそうに立っていました。 誰も住まなくなった、住めなくなった家、もう二度とこの家に住むことはないんだとしみじみ思いました。 双葉に帰りたい！	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
359	一時帰宅するたびに	一時帰宅するたびに、荒れ果てて行く町の姿を見るとせつなくなり ます。ゴーストタウン化した町の中は荒れ放題。田畑と畦道まで雑草が生 い茂り、地震でこわれた建物はあのまま…。あの町の姿をみたらもう… 半分あきらめの気持ちが。 あの状態で何年か先には、本当に帰ることが出来るのでしょうか…。 “帰れない”のであればハッキリ“帰れません！”と言ってもらった方 が、その方が先を見ることが出来ます…。	ノート
360	暮らし	今も親せきの家にお世話になっている。私としては住まいに関してす ごく不安があります。借上げ住宅にも入れず、期限切れになってし まった…という不安から夜もねむれないことが多く…。 帰ることが出来るまでの住まいの安心の保障がほしい！ 借上げは、帰れるまで続けてほしい！と思います。 住まいの決まらない生活から少しでも“不安”をとりのぞいてほしい！	ノート
366	暮らし	これから先何年帰れないのか不安。仮の町はどこに出来るのか不安。 行政、国が土地を解するのか。用地地域の改正をすることが大切ではな いのか。 今後、双葉町の進む道。何年までに町に帰ることが出来るのか。財物の 補償・賠償が真に遅い。その他多種有り。以上。	ノート
381	帰りたい	私は腰が悪いので天気の良い日は朝9時頃から押し車で散歩しています。 若い人たちは勤めているので、自分でできることはボケ防止にもなるの で頑張っています。早く双葉町に帰りたいと毎日思っています。	ノート
382	避難状況	昨年3月11日地震津波にあい、浪江町やすらぎ荘、川俣高校の体育館、○ ○の親戚の家、新潟に2ヶ月、郡山市に20日、そして今住んでいる○○に 昨年の7月に引っ越してきました。3月11日地震の日、フタバヘルスケア に泊まり、7ヶ所引っ越しました。今はなんとか生活しております。でも 双葉には帰れないのです。	ノート
383	初めての一時帰宅	この四倉に住んで1年3ヵ月になります。9月2日に初めて一時帰宅しまし た。初めて我が家を見て草は伸び放題、人間の住むような場所ではな かった。自分の部屋に入って片付けをしようと約5時間は居たのですが、 ほんの一部しか片付けられませんでした。	ノート
384	90才のおばあさん	散歩の帰り90才になれるおばあさんが、おりまして、私の姿を見ると まわって行けと。独り暮らしなのでお話に花がさいたように楽しい一時 を過ごします。早く双葉に帰れるように体に気を付けて頑張っていま す。	ノート
385	迷惑かけたくない	今日は歩きたくないと思う時もあります。でも気持ちを入れ替えて頑 張って歩いています。歩けなくなって若い人たちに迷惑かけたくない。 出来るだけ自分でできることはしています。	ノート
386	胃潰瘍	胃カメラの結果、胃に潰瘍が出来ていたようで薬で治すように薬もらっ て帰ってきました。早く治して体を大切に早く双葉に帰りたいで す。	ノート
387	双葉に帰りたい	今日は主人の兄の戦死した命日です。双葉から位牌と亡くなった人の写 真を持ってきたので床の間に飾ってあります。手を合わせて拝みまし た。今日散歩しないかなと思う時あります。でも年を取ると足から弱 くなるので頑張って歩いています。早く双葉に帰りたいです。	ノート
388	双葉に帰りたい	散歩に出かける。途中、何度も逢ってるおばあさん2人といろいろお話 して楽しい一時を過ごしました。足腰を丈夫にして双葉に帰りたいです。	ノート
389	双葉に帰りたい	午後はキーボードなどを弾いて頭の体操です。30分位ナツメロなど弾い て楽しみました。家族で双葉の家の歌など出るとあーあ早く帰りたいな ど、行ったらあそここうして草とってとか話はつきません。	ノート
390	ボケ防止	私は日記書くのはその日々ただぐうたらに暮らしたくないので今日1日 のことを書くことによって去年の今日は何してたかな。震災にあって あの時どうだったかな。振り返るのにはボケ防止になります。	ノート
391	泥棒	この前の9月2日の一時帰宅。座敷の出窓のサッシが鍵のところ壊されて 泥棒に入られたのです。何がなくなったかはわかりません。大体品物を 整頓しておいたので、わかりませんでした。	ノート
392	双葉町に帰りたい	今度一時帰宅あって家に行ってみたら、どんな風かなと。屋敷廻りは草 が伸び放題。元通りの家にしたいが、なかなか思い通りになりません。 早く双葉町に帰りたいです。	ノート
393	双葉に帰りたい	東京に避難している同じ行政区の方が東京巣鴨に行ったのでおみやげに 赤いショーツ2枚、下着、スポン下など体に良いものを送っていただきま した。体を丈夫にして早く双葉に戻りたいです。	ノート
394	あの日	去年の津波地震の日3月11日は私の誕生日でした。その日は私の誕生日 で、お母さんはお寿司かケーキかな、なんて浮ついた気持ちでいまし た。そしてあの地震津波でした。ケーキのことなんかどこかに行って しまいまして、あの騒ぎでした。夜、寝る前に必ず手を合わせて何事も ないよう祈りしています。	ノート
395	双葉に帰りたい	キーボードなどを弾いてボケ防止予防にと頑張っています。早く双葉に 帰りたいと心から離れません。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート	
396	元の生活に戻りたい	今朝も風が強かったが何とか散歩してきました。途中畑の手入れをしていた方に逢って、お話ししたり、草むしりを手伝ったりして楽しい一時を過ごしてきました。午後風が強いたので家の中で雑仕事をしていました。早く元の生活に戻りたいと心に言い聞かせ、頑張っています。	ノート	
397	繋がり	散歩していると色々な人に逢えて楽しいです。そして双葉のお話になると早く帰りたいなとお話します。その方は四倉でなかよく、お話の上手な方。本当に楽しかったです。	ノート	
398	繋がり	郡山に居る友達Telあり。早く双葉に帰って元の生活に戻りたいといっていました。	ノート	
399	役場アンケート調査	早く双葉に帰りたいなと思います。双葉役場アンケート調査票がきたので記入したりしました。	ノート	
400	帰りたい	郡山に避難している友達がTelをくれて色々とお話をする。早く双葉に帰りたい。でも友達の家は津波で流されて家がないので、どうお話したらよいかわからなくて困りました。	ノート	
401	避難生活	午後は隣に行きヨーグルトを取りに行く。毎週木曜日に配達されるので、毎日1ヶずつ食べています。1ヶ分で1日の鉄分が入っているそうです。体をしっかりさせて早く双葉に帰りたいです。	ノート	
402	若い人たち	息子夫婦は間後に来てお友達〇〇た。高齢のちは早く双		ノート
403	戻りたい	昨日、南台に期日前投票をしてきてお友達の家へ寄ってきたら、今日Telがありうれしくなつかしいと言ひ、喜ばれました。そして体に気を付けて早く双葉に帰って、元の生活に戻りたいなとお話しました。大正琴の仲間の方です。	ノート	
404	復興	<p>昨夜のNHKのテレビで我か長さんが井戸川町長辞職した。そしたら2月に復興にも欠席。外の町村は一す。早く復興に向けて頑</p> 	ノート	
405	避難生活	1日も早く復興できるよう、みなさんは首を長くして待っています。	ノート	

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
406	選挙	今朝は昨日選挙の結果、どこのテレビ局も発表でした。元議員など落選した事など。新人議員など。自民党など公明党と連携して2/3以上になるなど。新しい人選で1日でも早く復興していただきたいです。	ノート
407	町づくりを願う	町長さん、役場の皆様、お疲れ様です。早いものでこちらへ移ってから1年9ヶ月過ぎました。隣近所の目もあるので、出かけるのにも気を使って生活しています。福山市には子供達が住んでいるので時々孫達に会って元気を貰っています。私達夫婦は幸せです。テレビで福島県原発のニュースが写ると胸が痛みます。6月に一時帰宅し周りの様子、家の中の様子を見て涙が出ました。私達は遠くから双葉町の一日も早く町づくりが出来ることを願っています。	ノート
408	前向き	町長を始めとして双葉町役場の皆様、ご苦労様です。双葉町の皆様、前を向いて居ますか。私も妻と二人、ここ広島に来て毎日を前向きに過ごしております。	ノート
409	避難生活__〇〇市にて仕事を探す	震災後、一時川俣町に避難。その後、家族4人、娘の嫁ぎ先である神戸にやって来ました。息子家族はその後、本家と南相馬市に分散して移動、現在に至っています。私自身は調理師の免許がありましたので、〇〇市に留まり、仕事を探すことにしました。	ノート
410	避難生活__〇〇市にて	昨年の5月より資格をいかした仕事に就くことができ、現在に至っています。仕事を続けるため、勤務時間の関係もあり、娘夫婦の所に身を寄せていましたが近くのアパートに移り、1人で生活しています。	ノート
411	避難生活__神戸でのサポート	神戸での生活は便利で若い人にとっては快適なのかもしれませんが、年を重ねると生活様式も違うし、言葉の習慣も多少のズレがあってストレスもたまります。かと言って東電の賠償にだけ頼っていることにも違和感があります。神戸は震災を受けた事もあって多様なことで援助をいただいております。支援団体の誘いで様々な集会にも出席させていただきましたし、定期的に開かれるサポートに心から癒されました。生活に少しずつ慣れていくことによって京都、大阪など開かれる集会にも参加したりしてふるさとの情報を少しでも得ようと出かけていきました。思わぬ場所で知った人の情報やうわさ、近況など見聞きすることによって少しでも気をまぎらわしています。	ノート
412	なによりの癒し__京都でのふるさとの人の集まり	京都の町屋を借りての福島県浜通りの人達の集まりがありました。京都のボランティア団体が企画してくれた会合でしたが、大熊町や浪江町から避難している人達と一緒に、ふるさとの話、食べ物、毎日の生活のことなど、ふるさとの言葉で話し合えたことはなにより、いやしになりました。	ノート
415	慣れたくない	便利な生活に慣れて行く自分が嫌で、ふるさとに帰ることを考えている。	ノート
417	怖い	生活に慣れずに外に出ることがこわい。	ノート
422	生活に精一杯	日数がたつにつれて人々の気持ちも現在おかれている生活に慣れてくことで一杯で先の見通しのつかない事を待っている程、余裕はない。	ノート
426	不幸__生活の基盤が定まらないこと	自分の生まれた故郷がなくなってしまうという事はこの上もなく辛く悲しいけども、あれから2年も経とうとしているのにまったく先が見えず、生活の基盤が定まらず、右往左往している事の方が不幸であると思います。	ノート
428	現実的に	やがて過去の歴史として振り返った時に人々は何を思うのか、それぞれです。現実的に考えた時、立ち止まっても先は見えてこないし、いつまでも立ち往生してはいられないのです。	ノート
429	追われる日々	町民のみなさんはどんな考えをお持ちなのでしょう。突然奪われた平和な生活に思いを寄せながらも毎日の生活に追われています。季節が巡って来ると、ふるさとの風景が浮かび涙が流れます。原点に戻りたい思いは誰でも同じです。	ノート
439	区域見直しと賠償	区域見直しと賠償について。平成24年12月16日現在、双葉町を除く双葉郡主の区域見直しが公表されています。大熊町や浪江町は、区域見直しをされても、全町で6年は帰らないと宣言しています。これによって、区域見直しされても、全町一律賠償を実現できるからです。私は、早く双葉町もこれに同調した方が良く考えます。理由は、国との交渉は、大きな集団でやった方が有利だと思うからです。「区域見直し」と「全町一律賠償」は別のはなしだと国に約束をとりつけることです。実際、大熊町は、もうその約束を大体取り付けています(12月7日、大熊HP町長メッセージ)。双葉町だけ別方式は、負けた時のリスクが高すぎです。町長、執行部の皆さんお願いします。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
441	補償してほしい	H24年12月9日に一時帰宅で双葉に入りました。植木は伸び放だい、草は伸び放だい、庭は、牛のフンがいっぱい落ちていました。島根県〇〇市に避難しましたので片道で1300キロの往路の車運転は大変でした。私は、身体障害者で一級の認定を受けております。大変な運転でした。双葉町を見たら帰る希望が無くなりました。近くの山から放射とんで来て除染しても、してもきりが無く、何十年もたっても住む所無くなりました。71才になって、知らない場所一生暮らして行くのはつらい!! 土地を買って、家を建築して、入れない住宅のローンを払って行かなければなりません。とつてもつらい事です。国と、東京電力で早く補償してもらいたい。	ノート
442	くやしい	一時帰宅いつも楽しみにまっていたのに！今回夫の入院で申込みがおくれたら、いっぱい無理！年に1度か2度帰ってみたい気持ちをおさえきれず福島まで遊びに出かけた。家があるのに帰れない。心 ムナシイ クヤシイ。あまり遠くににげて来た自分達のせいかも知れないが出来るだけ遠くへと言われたからそうしたのだが…。ボタン1つでスーっと生まれ郷里に行けたらなあー。遠くでいいようなない気分!! おきざりにされた様でさみしかったよー!!	ノート
443	避難生活	避難時に申し込むことが遅れる二つ目がみなさんが赤十字から受けることが出来たそうですが、私達夫婦だけは何も頂けなかった。むなしさは、電気製品等の贈り物も届かない！ マスコミ等では、皆さん力を合わせて楽しくがんばろうとしている様子見ましたが はげましはないので、自分達だけのりきらなければならない。人様の気持ち届いた人と何事もなかった人 これも運命なのでしょう。それとつてもさみしい。若い人達はどうかして生きのびようと、声かけても少ない人数で。あきらめの心境、病気になるような気持ちを打ち打つ。他人に会いたくない。	ノート
444	繋がる楽しみ	近く係わりのある人々に進められてじっとしていても心が落ち着けないので学校へ。スポーツを見て楽しみましょうと毎週土日出かけた。年若い人達にちょうど良いこと。子供達の運動の時間を自由に見たり、応援させてもらったりが出来たら良いね！ 教育の中に入れてほしい事だ。運動会だけではなく、町全体で部活などを応援できると若がえれるなあー！	ノート
445	スポーツ	スポーツを楽しむ事のすばらしさは考えた。身体にも良い。心にも良い。未来の子達を楽しみながら応援できる。円形のセンタードームの様な建物が良い。町中が集まって身体を動かしながら。それも自由に定めるのではなく、ドームの囲いには商店が縁日のように出店である風景がとつても心に良い気分をかえられる魅力がある。	ノート
448	先の事_県外への避難者	県外に避難してる者は未来はどうするか？今お世話頂いている県より手紙がありました。これから先の事を早くはっきりしないと予定を組むことが出来かねます、と来ました。あと一年はこのまま住めるかと安心してた所へ手紙出したので、気がもめて、どうしたら良いかわからない。町が答えが出なければ自分達もそのままです。一年二年と長びきますと自分達の身のおきどころがなくなり、生きてるのも苦しくなり、人に世話をかけるなど、子達におしえて生きてきて、自分達はこんな風にめいわくおかけしていると苦しさに、はずかしさも出て来まして心のおきどころは見当たりません。自由には動けないし、なんとかしてー!!このままで住めるのか、またかえなきやならないのでしょうか。まずお金から先でするので、こまっています!!	ノート
449	家庭問題	〇〇が震災以来パチンコ夢中になり、家庭がこわれそうで孫がかわいそう。思ったように生きられない事は大人がいちばん知ったのに。家庭がうまくいかないのは難多く、人をうらめない。親であるジジババが心いたため生きて行くしかない。スパイクが欲しいと、まごは小さい声でつぶやく。可愛想と思って買ってやれば、パパママは嬉しくなそう。また、けんかの種がふえたといわんばかり。こまった。わが家を出されどこへ行こうか、途方に暮れる。もう!!	ノート
450	前をむいて	命なんかいらない！と思ったりする。囲りを見ては、なみだだ。思っっては、なみだ!!私どもの人生は未来はないのでしょうか。どうにかせねばならない。ぐちらず、なげかず、前をむいて生きよう。夕日がとても赤い!!青空が目にしみる。秋の一日。これが見られる丘のあの町。夢のよう。できたら海も見える所の丘。	ノート
451	どうしたらいいか	県外に生きてる私達は、どうするのか。これからこの県に暮らしてゆくのかとせかされて、これまた、まよいの毎日です。1年9ヶ月何もきまらない。食べ物口には、のどを通らない。病気はしたくない。人のあらしは聞きたくない!! 福島がこいしい!! 町の役に立つことなど出来る人間ではないので何をしたら良いのかわからない。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
454	知らない人ばかり	一時帰宅をできなくなってしまうのか。遠い所より自家用で双葉へ帰ると1回で10万円になる。それが25万となったら休まず、泊まらず、行帰りで我が家にも帰れなくなる。県内に住む人達もどこに住んでもさみしさは同じだあー！と言う。となりが住みなれた人々なら話はずむ。知らない人ばかりで顔を見る事もないし、会うのがこわい。わが家に帰りたい!! 東電は福島県に移動するそうだ。	ノート
455	避難生活	今日も福島の人達元気よく目覚めたか!! 私達も元気だあー!! でも何も変わらない!	ノート
456	だれでも住める町	先祖様の墓が気になる。県や医院からの書類が年老いて、重なった。年取った者たちにはめんどくさい。わからない。気がもめる。手の届く事など何もない。出来ない。話し合いも書類等ももっともっと分かるように書いてほしいし、なるべく簡単に行える様に、作ってほしい。助けて頂けるなら手をさしのべてほしい。甘えが胸いっぱい。足が前進しない。良い町はどうしてこう頭に浮かばない。でも難しくではなく、だれでも住める町にしてほしい。	ノート
459	自分の未来	思い切って自分なりの未来!! しかどこへ住む。何をやる。仕事ない!! 部屋代、家賃、いつ出なきゃならないかと落ち着かない。ゆっくり住める、生活が出来る家がほしい。どこへ作るのか。先が全然見えない。	ノート
462	悩み	一時帰宅で帰ったらネズミが住みついて大きな顔して暮らしていました。人間はどうする!! どうすればいいか? 住めない!とわかったら時が速く進んでほしいと祈り、まだどこに生きようか悩んでいます。	ノート
463	避難生活	年老いてしまってからどのようにするか? 色々考えた。ところで役にはたてない。すなおに考えて生きてみようかとこの頃思ったりする。20-21世紀、なにやら苦しみしかない日々です。一日も早く楽しい日をむかえたい!	ノート
466	強く前に進む	色々考えること言いたいことはいっぱいありますが先を見て現実的に考えて、前に進むしかないと考えます。町長、議員は進む方向を束ねて示してやって欲しい。賠償優先して自活の道を支持して欲しい。自分は生まれ育った場所は愛着もあり振り向き考える自分もいます。でも人を頼り何かばかりあてにしては前に進みません。先祖には申し訳なく思いますが、結果を踏まえて力強く前に進むしかないと判断して前に進みたいと思います。	ノート
467	皆が忘れないうちに	何でも頼りたい、相談したいことはいっぱいありますが、自分でやることは自分自身で考えて前に進みたいと思います。これからの若い者の為にも早く一日も早く目標を見つけられるように方向と賠償を進めていただきたい。1日1日が過ぎていくことが一番心配です。皆が忘れないうちに。夫婦2人で何かを頑張っていきます。	ノート
468	避難生活	家族一緒に暮らしたい。友人達に会いたい。孫の顔が見たい。眠れない。体の調子が悪い。仕事なくなる。	ノート
470	安全な場所に暮らしたい	いまの双葉町は放射線の影響があり生活の場ではない。これから先が不安です。よその安全な場所に行き暮らしたい。	ノート
475	前にすすまない、決められない	自立したいけど賠償が長引き前に進めない。決められない。何年先になるかわからないけどもう帰れないのでは?	ノート
478	情報を明確に流してほしい	仮の町を作ると言っているが、いつ頃、どこに、どのような町を作るのか、はっきりとせず、子供がいる私にとって今後の生活に支障が出てくるのではないかと、とても不安であり、心配です。子供の成長は早いので、生活の基盤を早く作りたい。	ノート
480	避難先での疎外感に悩んでいます。	今、お世話になっている本宮市には様々なイベントや私のような妊婦や小さな子供の育児をしているママさん達のコミュニティーが、たくさんあり、とても興味があるのですが、参加する勇気がなく、どうしても一歩踏み出せません。とても優しく接してくれる方々ばかりで、保健士さんにも何度か誘って頂いてますが、その度に疎外感を感じそうで、毎回断ってしまい、心苦しく思います。	ノート
481	避難者に対しての規則 就労していないと保育所に預けられない	私には、来年2才になる息子が2人と、来年産まれてくる子の3人の子供がいます。今、住んでい〇〇市の保育所に預けようと〇〇市役所に申請書を取りに行った際、避難者でも規則は規則! 就労証明書が提出できない場合は入所できて3ヶ月で退所してもらいます、と言われ、去年の震災と原発事故が原因で職を失った私達夫婦にとっては、とても悲しい気持ちになりました。就職先を探すにも、生活構築ができない今、とても厳しい状況です。このような避難者に対して、新たなルールを作る事は、やはりむずかしい事なのでしょうか? それとも、各個人で対応するしか方法はないのでしょうか?	ノート
482	郡山市所はなくなってしまおうのか?	双葉町役所が移転すると聞きましたが、今、郡山にある支所はどうなるのか気になります。郡山から役所がなくなってしまうと、用事がある度に、いわき市へ行くことになるので、とても大変です。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
487	夢と希望	双葉町民に夢と希望、そして明日に生きる力を与えてください。おねがいします。（安倍首相）。東京電力には早く賠償をしてほしい。対応がおそい。	ノート
494	生活しにくい	今住んでいる所は暑い。冬は雪が多くて寒い。生活していくにはとても大変です。（冬は雪かきが大変です）。子供は双葉町はとても生活しやすいといっています。子供の健康な食べ物、安心して生活できる場所で暮らしたい。戻りたい。	ノート
495	自給自足	避難生活をしていると双葉町で（米、野菜）を作っていた。すべてお金を出して買って生活することはとても大変な生活だと思います。別なところに生活しても（野菜と米）だけでも作って食べれると少しは安定した生活ができるのではないのでしょうか。	ノート
500	避難時の対応	3月12日原発事故による避難のためのバスは、国から双葉町に何台用意されたのか？ 大熊町は、観光バス50台と言う（NHK番組で報道）、双葉町民は、自家用車での避難が主だったと思う。双葉町内の特老やデイサービスは、施設用の送迎車で原発爆発後避難した。車内には、食料や布団、毛布、オムツなどできるだけ、詰め込み、利用者が家族の元に戻るまで、最前を尽くした。日頃の上司の指導とスタッフのチームワークで、全員無事に家族の元へ帰ることができた。私は7日間同行し、スタッフの方々と利用者がいとおしく思った。（こんなステキな人達が身近な双葉町内にいたなんて!!）	ノート
503	加須市旧騎西高校避難所について	私は義父が川俣町の病院に入院したため、埼玉まではついていかなかった。3月〇日に義父が亡くなって、アパートから猪苗代町のホテルリステルに移った。現在は、〇〇市のアパートに住んでいる。加須の避難所には、天皇陛下や芸能人、スポーツ選手など沢山の方が訪れ、支援を受けた。県内に避難の方は、ほとんどないに等しい。電気代、水道代、ガス代、食事代もかからない加須市の避難所、同じ町民なのに、どうしてこんなに差があるのか。私は、川俣町、猪苗代町、〇〇市にはお世話になった。加須にいる方は、埼玉県に長い間お世話になった事、絶対忘れないでほしい。そしていつか恩返ししてほしい。いつ逆の立場になるかわからないのだから。そんなことを肝に命じて過ごしてほしい。	ノート
505	不動産の賠償と中間貯蔵施設	国と東電が示した、不動産の賠償基準は、とても納得できるようなものではない。枝野経済産業大臣は最低基準だからと言ったが、東電はこの最低の賠償で済まそうとしている。私の自宅は築29年経過しているもので、1,100万円ぐらいになると思うが、この金額では、新たに家を建てることなどできない。土地も求めないといけないからだ。もし今のアパートに20年住んだとしたら、アパート代は1,759万円かかる計算になる。しかし大熊町や富岡町は、この基準で承諾したようだ。5年間は、町に戻らないことで、町民同じく5年分まとめて、賠償されるようになった。これは国や東電の思うつぼにはまってしまったと思う。本当は中間貯蔵施設の設置と賠償問題は、切り離せないものだ。町民にとって一番重要なことだ。ばかをみるようなことは、絶対にしないような合意をしてほしい。	ノート
510	コミュニケーション	震災の前の年に、隣組の組長として地域活動に参画させていただきました。せっかく部落にとけ込んだ所でしたが、今住んでいるアパートでは全くつき合えないばかりか、あいさつも返してくれない人もいて、つまらない！	ノート
512	補償	原発災害前の暮らしに戻れる様、東電・国にはもっと被災者の立場に立った補償・復興計画/対応をしてほしい。	ノート
517	情報の共有（借上げにも）	他県で借上げアパート住まいをしている関係で、福島/双葉町の復興情報等が、県内や埼玉（加須市）の仮設にお住まいの方に比べると少ないようでは…。と不安に思う。是非、町民平等な対応をお願いしたいと思います。	ノート
518	どこに住むか	双葉町には帰れないと思っています。どこに住むか早く決めて落ち着いて暮らしたい。そのためには、財物の補償が必要です。他の町村と話し合いし、足並み揃えて進んでほしいです。	ノート
523	双葉	役場の本来が、福島県に移動する事に対して、善し悪しは別にして、他の8ヶ町村と協力しながら一日も早い復興をお願いしたいと思うが、一時立入の度に感じるのはいもう、双葉町に住む事が出来ないのか、そんな気持ちが強くなりすぎてしまう。	ノート
527	賠償	私は双葉町でお願いしている弁護士さんをお願いし、東京電力に損害賠償の請求をしております。2月に請求した分がやっと11月下旬に賠償金を受け取ることが出来ました。もっと短期間で清算してほしい。また、財物建物等も早く賠償してほしい。でないと自分が進む道を決める事が出来ない。	ノート
535	政府、東電の打ち切り補償期間の考えについて	今後損害賠償の中で精神的損害はいつまでももらえるのか、政府東電は5年で打ち切りを考えているのではないか。そのような事になったら我々の生活はどうなるのか。町の行政の方向性を出来るだけ早く示してほしい。最近は何のために生きて居るのか、考えるときがある。夢も希望もなくなってしまふ。なんとかしよう。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
554	不安のない町	双葉町では特に不安なこともなく老後に向けて考えること位で毎日仕事を終えて自宅に帰ってくるのが楽しみな町でした。現在は同じ県内とは言え、環境のまったく違った町での生活はストレスがたまる一方です。仮の町ができたとしても今は住むかどうか考えられません！	ノート
555	働きたい	以前は看護師をしてました。30年以上してきた仕事がプツリなくなり、気が変になりそうでした。同じ場所で働きたいと思うが現状を考えると無理でしょう。	ノート
557	いつまでこの暮らしが続くのか	このような生活がこの先どの位続くのか、年のいった親のことと思うとかなしくなります。早く親子一緒に暮らさせてあげたい。	ノート
559	福島県内の子供たち	埼玉に避難してから1年7ヶ月になり、だいぶこちらでの生活にも慣れてきました。何も持たずに避難してきたのに、今は支援物資をいただいたり、自分で必要な物を購入する事もでき、一応普通の生活を送る事ができるようになりました。また、家族と一緒に暮らす事もでき、友達数人とも会う事ができる事が精神的にも大いに助かりました。ただ、埼玉で小さな子が元気に遊んでいる姿を見ると福島県内で、外での遊びを制限されている子供たちが、かわいそうでなりません。	ノート
564	移動	福島に月何回も行ったり来たり大変のようです。	ノート
567	知らない土地での限界	早く何とかして、もらいたい。知らない土地もう、いや。地名言われてもわからない。	ノート
568	病院探し	今住んでいる所はクリニックが多く、総合病院が近くにない上、土地カンも無く、探すのが大変だった。病院によって専門分野(この病気ならこの病院が…)もあると思うが、分からないし…。	ノート
571	県外での不便_医療面	健診の案内は来るが、選択肢が少ない。近くの病院はあるが受診したい項目がない。(例えば子宮ガンはやってるが、乳ガンはやってない等)一つの病院でしか受けられない…となると遠い場所しか無いという現状です。(地理も分からないし)。	ノート
572	住民票に替わるもの	早く住民票に替わる証明書を作成してほしい。何かと不便。県外に居ると何かと気を遣って生活している。住まわせてもらっているというひけめがある。疲れる！	ノート
587	知らない土地	知らない土地で生活する不安、むなしさ。	ノート
589	家族	家族がバラバラになって生活はさみしい。	ノート
593	電気料金	避難しているのに東電に電気料金を払うのはおかしい。	ノート
595	話せる場	損害賠償についても自由に話せる場がほしい。	ノート
603	元の生活に戻れるまで住宅費は無料としてほしい	元の生活にもどれるまで住宅費は無料としてほしいものです。	ノート
604	賠償問題で個人差はなく	賠償問題で個人に差がないようにしてほしい。	ノート
609	荒れ放題	荒れ放題の田畑を見るのは本当になんか怖いものだ。それに加え、セイタカアワダチソウの繁殖力には驚かされる。	ノート
611	高齢者には自己責任で立ち入り許可を。	一律に対応は無駄を生じているのでは。若者と高齢者で違いがあっても当然と思う。70~80台の老人は今の放射線による影響を考える事自体、笑止千万と思う。まして低レベル放射能の影響は何の結論も出ていない状態で、1月広報誌の検査など無用だ。ただデータ取り、住民をモルモット扱いにしているように思う。高齢者(60台以上)が警戒区域内に立ち入る自由を認めて貰いたい。やる事が一杯あるのだ。寿命には限りがあるのだ。自己責任で立ち入ることを認めるべき。	ノート
616	一時帰宅の時気付いたこと	庭の木が伸びて電線に届こうとしていた。木を切ることも考えたが放射線量が気になってそのままにして戻った。そのうち電線が木で切られてしまうのではないかと心配だ。	ノート
617	一時帰宅の時気付いたこと	道路両側の草がわがもの顔で繁っている。この草をせめて道路添いだけでも刈り取れば線量の低下に寄与するのではないかと思う。	ノート
627	私と妻の意見	私の妻〇〇は3.11からの長期に亘る避難生活で角膜損傷になり眼科医で治療を続けておりますがそのためマイノートに記入が出来ず私と二人の意見として提出させて頂きます。	ノート
633	愛犬〇〇の餓死	3.11の大震災による原発の放射能漏れにより双葉町民は町の災害放送避難勧告で3月12日朝7:40前後40km位離れている川俣町の小学校に逃げた。すぐ帰られると思っていた。血統書付のダルメシアン愛犬〇〇は自宅の犬小屋(約1坪位ある二重サッシ付の本格的な建物)に入れて来た。しかし、その後4ヶ月近く戻れなかった。安否を気づかい、NPO法人に3月の末やっと探し当て救出を要請したが彼等が行った時には既に死んでいたとのこと・・・家族同様に可愛がっていた愛犬〇〇、餓死していたのだ。本当に申しわけなかった。くやしい！！今でも毎日想わない日はない。7日一時帰宅で帰った時、手厚く葬むり焼香した。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
634	3.11以後私達の経路	<p>3.11・大震災の日 私は本社、本店で商売をしていた。大地震で道路に出た。ものすごい揺れ、長時間！！眼前の隣りの建物とその隣の病院の建物が音を立てて崩れてきた。本当に生きた心地がしなかった。私は各店を見廻り自宅に帰った。自宅も破壊は激しい。しばらくしてから辺りの方々が津波が来ているとの情報。私達は隣りの3階建ての病院へ逃げた。しかし、自宅の東方1km位のところで津波は止まった。</p> <p>3.12・朝7:00頃町の災害広報で福島第一原発の破壊により放射能漏れが生じている。町民はすぐ川俣町の小学校に避難して下さいと言う勧告で7:40頃着のみ着のまま逃げた。隣りのおばあちゃんも一緒。夜は体育館で過した。昼食は食べず夜食と朝食はパン1ヶ。お茶1本。ものすごく寒く寝れなかった。毛布も何もない。ストーブも小さいのが2ヶだけ。あの広い体育館に。空腹が激しく、妻〇〇持病のゼンソクになり一晩咳で眠れなかった。大分苦しんだようだ。</p> <p>3.12 正午～3.14 体力のない妻は相馬の実家に行き隣りのおばあちゃんと私達三人で3日お世話になった。（自家用車で行動）</p> <p>3.14～3.16 郡山市の私の弟の家に3日3晩お世話になった。（自家用車）隣りのおばあちゃんも一緒。行く時途中、飯館村を通ったが大雪で山道なので大変苦労した。3日過ぎてから弟の家族も郡山市は放射能で危険なので会津、喜多方市に避難すると言うことで、私達は神奈川県〇〇市</p> <p>3.17～7月末迄の長男の家に世話になることになり郡山市から那須塩原駅迄4号国道を南下、そこから新幹線で東京駅迄行き〇〇市に辿り着いた。おばあちゃんは東京駅で別れた。それから4ヶ月、長男夫婦は温かく私達を迎え入れ無事、平穩に過ごした。しかし親子でも気使いは多い。</p> <p>7月末～平成24年3月末迄 相馬市の支店に私も時々〇〇市から来ていたが遠方であり、特に福島駅⇄相馬間は40km位の山道を往復送迎を受けた不便さもあり、仙台の借家に引越しをした。そして8ヶ月、仙台市の北部の泉区で生活をした。慣れない地域で悩みそしてやはり相馬市のお店に時々自家用車で往復した。私も高齢で自動車運転はだんだん厳しくなってきた。それで相馬市に引越しを考える。</p> <p>7月末～現在に至る。仙台市から、相馬市のお店に比較的近い、買物に便利な病院に近い所をやっと見つけ引越して来た。そしてこの地に住んでから、4ヶ月半、望郷の念にかられながら毎日を過してきている。</p>	ノート
635	最後に相双地域のために強く要望すること！！	<p>福島県は浜通り、中通り、会津の三つに分かれている。その浜通りが3.11の大震災、大津波、原発の重大事故により完全に分断された。大動脈の6号国道。JR常磐線は不通・・・南相馬市、相馬市からいわき市方面に行くには一旦、阿武隈山脈を横断し福島市、郡山市方面に出てから、ぐるーっと遠回りして行かなければならない。本当に不便であり距離、時間のロス、経済的なロスは計り知れない。そして間もなく開通予定の常磐道相馬までの延伸も止まったままだ。原発で余儀なく避難している10万人の双葉郡民をはじめ一部南相馬市民は大震災、津波、原発による放射能、産業、経済、風評被害等々5重苦、6重苦に悩まされている。最近、双葉町もようやく仮役場をいわき市内に内定したとのこと。双葉町民はそれにより、地域性、温暖な地ということもあり少しずつ移動が始まっている。他の郡内の複数の町もいわき市に仮の町の構想がある。それにつけても最も苦労を重ねている10万人の地域住民のためにも相双地方の復興、再生は国でも最優先の課題だと思う。その中で最も大事な大動脈の国道6号線、JR常磐線の早期復興、常磐高速道の仙台までの延伸は必須な条件である。国は世界中の国々が注目している相双地方の復興、再建を威信にかけても早急を実現して貰いたい！！以上、強く強く要望します。</p>	ノート
641	気疲れ	<p>大きな地震がありました。何年か後、帰ったとしても、廃炉になってなければ恐ろしくて住むことなど出来ません。いつまでもこの町に居候するのは気がひける区費は払っています。雪がふった時など、ご近所の方達と道路を雪かきするなど気を遣っています。</p>	ノート
646	埼玉にいる人へ役場機能ある事について	<p>ともかく不便です。利用したくても、南相馬からは行けない。</p>	ノート
651	東電財物弁償	<p>区域割りを早急に進めてもらい、家の弁償を求めたい。お金が入らなければ、新たな住宅確保もままならない。</p>	ノート
653	県内に残された町民の気持ちについて	<p>埼玉に行った人は良いでしょうが（いつまでも食事つき）、残された町民もいます。見すてられた気持ち。南相馬市は会議すら開かれず一時帰宅にしても、広野町経由とかとても遠まわりで大変だった。</p>	ノート
657	双葉町の今後について一言	<p>私達からすれば自分の生活が大切です。たまたま震災前に同じ地域（双葉町）にいたというだけです。自分が生活出来る地域共同体は、今後戻れるかどうかかわからない双葉町でなくても良いと思う。（わざわざ危険な双葉でなくても）</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
668	要望	東京電力福島第一原発事故から一年半を過ぎようとしております。避難の生活は本当に毎日がストレスで体がくたくたになっております。双葉町は警戒区域で戻ることの出来ない状態。田んぼや畑などは、手のほどこしようもないのです。それに双葉町は除染をしておるのでしょうか？私はしてられません。早く仮置場を早く決めて頂きたいと思っております。早く賠償を出してもらわなくては右にも左にも動くことが出来ません。今までの生活に戻りたいです。	ノート
669	地震発生からの12日間の生活	平成23年3月23日遡って書きます。私は地震におびえ放射能も、出たこともわからず電話、電気、水道もない所に12日間いたわけは、息子が平出張で、居なかったので一人でしたのです。外に出てみたところ、隣近所の人達は、だれもいないのに気付く、なにがおきたのかわからずいたのです。でも隣の〇〇さんがいたので二人で水をくんでもらい日々を過ごしておりました。14日の日は床がもちあがるぐらいの音でこれでだめかと思った。雪は黄色の雪で、いままでに見たことのない黄色な雪でしたのでびっくりし家の中でガラスごして見ていたわけです。携帯ラジオを、あったのを思い出して放射能が出たことが、わかったのです。ヘリーがなんで飛んでいるんだろう、自動車は一台も走っていないだろうと思いつつ、だれもいない夜の暗い所でウーロン茶でご飯をたいて過しておりました。その思いはだれにもわからないと思います。13日目で自衛隊に助けを頂き川俣に行き二泊して、息子が向かいに来てくれたので福島駅からバスで塩原駅から塩原新幹線に乗り、また普通列車でアリーナまで双葉町の人達のいる所につき、二階に双葉役場の人がいました。そこに町長さんが首を出し、私にむかって、なんだ来たのか、この頑固者と言われ、私はすきで家にいたのではありません。それなのに頑固者とは町長の言葉とは思いません。私は言われたことは一生忘れることは出来ません。友達くるたび話します。泣きながら。	ノート
670	ストレス	毎日の避難生活のストレスで医者に通うのが多くなって来た。今日は、歯医者にて整形外科に行って来た。家にいた時は畑仕事やふれあい直売や夢工房など色々体おしまず動いていたのにこんな体になり、本当に残念でなりません。早く双葉町に戻って今までの生活がしたいと思っても警戒区域で戻れないのでこの生活がいつまで続くのか、何年で戻れるのかもわからずの生活をしているのです。	ノート
671	皆にあいたいけど・・・	昨日双葉広報が来たので老人会旅行の写真を見ました。みんな楽しくおどりをしている所を見て本当に嬉しそうです。私は、集まる所は遠いし仲々行ける事が出来ず残念です。今度〇〇地区で集まることがあり〇〇さんが、伺いに来てくれるとのこと。息子も仕事の都合で休みがとれず迷惑かけるので、参加出来ないのが、ほとんどです。今は足が痛く本当にこまっております。避難生活長びくにつれ筋肉がおち一日々が体がだめになるようです。頑張っております。	ノート
672	マイノートについて	マイノート頂きましたが心より喜べない。一軒に一冊でも良いと思うのですが、お金を使って、むいみだと私も友達も感じる事は同じだと思うようです。毎日の避難生活で、余儀なくしており頭が今までとちがい思い出すことの出来ない、こと多々あり字も書くことがなかなかむづかしくなり本当にこまっております。この生活がいつまでつづくやら。	ノート
673	ストレス	毎日の避難生活は同じで買物に行くにも、やっとなです。浪江の人達も家には戻れず、私の家に遊びに来ては、戻れない話と、賠償のことです。私達年寄りにとっては、いつ戻って生活出来るのか、心配が先に立ち、毎日のストレスで体も良くなることより悪くなるほうが多くなっています。	ノート
674	再会	今日は東京の人達が一時帰宅の帰りに、私の家に、会いに来てくれました。一年6ヶ月ぶり本当に嬉しく、涙をしながら、避難した時のこと、いろいろ話しながら5時間も長く話していました。またくるねと言ったことが、遠い道のり、また山道を回ってくるのでなかなか出ることが出来ないと思う。早く6号線が通ることが出来るよう願っている。	ノート
675	医者通い	避難してからは、医者に行く事が多くなり、今日は股関節が2ヶ月前から痛く注射に行って来た。歩くこともなかなか出来ず、本当に、こまっている。	ノート
676	毎日の生活	毎日おなじ生活のこと、避難のこと戸惑いながらすごしております。友達の電話を楽しみにしております。隣のアパートには浪江の人達がいるので時々遊びに来てくれます。	ノート
677	毎日の生活	今日もなにもすることがなく自分の体の痛い所ばかり感じている日々です。友達が遊びに来て2時間ぐらいで帰って行く。浪江の人なので家には戻れないので、いつ戻れるのかのお話ばかりです。	ノート
678	今日の日	避難していると、体のことばかり。畑仕事も出来ず毎日のストレスがたまるとばかりです。前夜友達と一緒に仕事をやる夢ばかり見ます。いつ一緒に出来るかな。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
679	一時帰宅して	羽鳥の人達が一時帰宅に行って来て電話をかけてくれた。あの草が2メートルも、伸び本当におどろいて来たそうだ。家の中はネコや、ネズミの（ふん）だらけ庭には（うし）の（ふん）で自動車も、とおることが出来ず隣の家の庭に、とめて来たそうだ。そんな状態を東電の方に見て頂きたいと私は思っている。私も一時帰宅で行って来ましたが本当に除染などは、むいみだと思う。除染をした所ばかり見ないでやらない所も見て、ほしいです。	ノート
680	毎日の生活	毎日、同じ生活で電話でしか話が出来ない状態なので本当に残念でなりません。友達もどこにいるかもわからず5~6人の電話だけなのでみんなと一緒にするのはいつのことやら。	ノート
681	要望	今日は南相馬ふれあいセンターにて筋トレと輪投げなどをして楽しんで来ました。それも月に2回ぐらいなので、行くには、車がないので行けず残念なんです。双葉町でも南相馬に車をむけて頂くよう話しをしていただければさいわいと思います。	ノート
682	議員懇談会	今日午後2時から双葉町議員さんとの懇談会があり私も参加させて頂き話し合いをして来ましたが賠償のお話や、家に戻られるか戻れないのか、除染のお話など色々と、質問がありました。賠償については、なかなか決まっておらず、議員さん達はこんどみんなの意見を聞きながら早く賠償を出してもらおうとお話を進めて行くと言うお話して終わりました。私達は一日も早く賠償を出して頂きたいと言うことだけです。	ノート
683	毎日の生活	私も避難してからは、体の調子は毎日のように晴々とはしない毎日です。今日は友達遊びに来たが、みんなストレスで医者にかかっているとのことでした。	ノート
684	毎日の生活	今日は歯医者、医者に行くにも、タクシーで行かなければ、歩くことが出来ず避難してからこういう体になった。東電がにくいです。今までの生活は、いつ戻れるか何年かかるのか先が見えません。	ノート
685	毎日の生活	毎日の生活には、足が痛く、なにも出来ず本当に困っている。これもみな原発事故による、ストレスからだと思います。今までは家で農業の仕事をしていたのに、なにもしることの出来ない状態なので、本当に体にいきようしています。	ノート
686	毎日の生活	今日は、隣の人につれられ足をひきずりながら、杖をついて買物に行って来ました。買物に来ている人は避難している人達が多く友達に会い、色々戻れないお話をすると、話がとまらずです。	ノート
687	毎日の生活	今日も医者に行って来た。避難してからと言うものは、体の調子が悪くなる事が多くなり本当に困っている。今日は、タクシーで行って来た。タクシーは2000円もかかり1ヶ月かかると、だいたい10,000円かかる。今までは色々働いていたのに、今回はお金のかかることばかりです。本当にこまっている。	ノート
688	毎日の生活	避難生活も長びく中、一時帰宅で、見たかぎりでは、あの原野では家に戻れるのは20~30年かかると思います。それに町では、戻る時は一緒に戻ること考えているようですが、双葉町の人達は、みんな、はなればなれになっているのに、どのように一緒になれるのでしょうか。それぞれ、土地を買って家を建てている人達もいると、聞いております。早く町の方でも賠償を、早くして頂かないと右にも左にも、動くことが出来ずこまっているのでよろしくお願いします。	ノート
689	毎日の生活	今日も天気は良いが、気持ちはストレスで毎日あの原野を思ってどうするのかとか、戻れるのか本当に考えるばかりです。足も痛くこまっております。なにも出来ない毎日なので体が弱るばかりです。	ノート
690	現実	これから寒くなる中、仮設住宅に入っている人達は寒さしのぎにはたいへんだと思います。早く避難している人達が安定した住宅を建て頂きたいと思っています。今日の新聞では、戻れることは10~20年と書いてあり本当に残念です。	ノート
691	一時帰宅して	友達から電話を頂き、一時帰宅に行った時は、家のまわりは2メートル以上の草でおおわれ草刈りをしながら家に入るありさまで。私の家もおなじです。牛のふんやらねこのふんで歩いていると、のぼるくらいです。東電や県の方から、依頼してもらい草など刈って頂きたいです。	ノート
692	不平等	JRアパートに住んでいる人には赤十字からはなにも頂けず自分で買っています。なんでJRアパートには赤十字ではくれないのでしょうか。仮設住宅には色々電化製品を頂いているのに私達はレンジやポット色々買っております。	ノート
693	毎日の生活	一日々寒くなって来る今日このころです。私達アパートは、鉄筋で出来ているのでお湯をわかすと水滴がたまり、こまっています。双葉にいる時はこんなことなく色々気をつかうことばかり本当にこまります。早く元の生活に戻りたいです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
694	毎日の生活	避難してからは、なにひとつ良いことはない。足腰が悪くなり本当にこまっている。家にいた時は、畑など一人で仕事をしていたのに、こんな体になるなんて夢にも思っていなかった。医者にかかることも、多くなりました。福祉の方たちが来たことがあります、みんなで集まって話すことは出来ません。迎いに来て頂かないと行くことが出来ません。	ノート
695	毎日の生活	毎日足が痛くなおらず本当にこまっている。避難していると、なにも仕事もなく体の痛いことばかり考えるのが精一杯です。	ノート
696	毎日の生活	避難していると毎日の生活は、くりかえしの毎日で書くことも、あまりなく。それでも隣に住んでいる人が遊びに、くる、くらいです。私は足が悪いので階段がのぼれず、行くことが出来ないで遊びに来てくれます。夕方は少し散歩に行ってみましたがやっとなのである	ノート
697	毎日の生活	今日は病院に行ってきた。足腰はなかなかおらず今日はマッサージをして来た。避難生活してからは、晴れ晴れした日は一回もない。体が横にも出来ずこまっているじょうたいです。	ノート
698	毎日の生活	一日一日肌寒くなりました。今日は、今までになく寒く感じた一日でした。私も足が痛いのが寒さを感じ、一日痛かった。避難してから病気がかりで姉がいるのでなんとか心強いです。	ノート
699	双葉町倍賞の遅れ	今日の新聞では、双葉町は一番、賠償や雇用促進住宅も遅れていると書いてあり、双葉町の人達も気をもんでいると思う。早くして頂きたいものです。	ノート
700	一時帰宅して	避難してから、毎日のように、それぞれお友達が電話をよこしてくれる。でも、家に戻ることは考えても一時帰宅で見たかぎりでは双葉町の人達は一緒になることは、出来ないと思うと話す。私もそう思います。道路の草で田、畑はほとんど見えず、津波で、たまった水も流れずいたそうです。	ノート
701	浪江役場の方の助け	今日は埼玉加須役場の福祉から浪江役場、福祉に連絡があり、私の家に来てくれました。本当にありがとうございました。私も足腰が悪く台所に立つのが、やっとなので少しでも早く良くなろうと、毎日風呂に入っています。	ノート
702	食べ物について	南相馬はだいたい避難から戻って生活しているようです。毎日の食べ物を注意しながら生活しております。でも私達の年齢になると考えずに食べることもあります。子供達は、注意をして食べたほうが良いと思う。	ノート
703	毎日の生活	今日も医者に行ってきた。でも私よりまだまだひどい人達がいると思いい、頑張っています。太陽に向かって、生きる避難民。	ノート
704	悔しい思い	病院に行くと、みんな避難している人ばかり、足腰肩の痛い人達です。なんでこんなに病気になるのかストレスか。なにも仕事が出来なくて病気になるのか、私には思いのままならず本当に残念でなりません。東電事故さえなければこんなことは、なかったのではないのでしょうか。	ノート
705	毎日の生活で感じるこ と	テレビを見ていると、避難している人達も、色々と、事業を始め、頑張っているようにみえます。こんな避難生活でも、働かずには食べて行けないからだと思います。早く戻れることを願っています。（戻れないなら、戻れないと、戻れるなら戻れるとはっきりしてほしい）	ノート
706	命日	今日は主人の命日。家のお墓にも行けないので、避難先でおはぎを作って上げるありさまである。でも、お参り出来る人出来ない人色々というので、それもしかたがないと思う、が残念でなりません。	ノート
707	毎日の生活	友達が家に来てお茶を飲み色々とお話をし、笑いがありストレス解消になったようだ。	ノート
708	毎日の生活	今日も医者。腰や足が悪いので、タクシーで行ってきた。タクシーのお金は1260円かかる。足が悪いのでタクシーでしか行けずこまっている。毎日の日記には避難していると書くことはなにもなく、自分の体のことばかりである。	ノート
709	毎日の生活	一日一日寒さが厳しくなっており、私達の年齢では日々の生活にはたいへんです。早く賠償を決めて頂き、安定した生活をしたいと思っています。	ノート
710	毎日の生活で感じるこ と	今日も医者に行き、注射とマッサージをして来た。私も双葉町の人達と一緒にいるまでは元気でいなくてとは頑張っていようと思っています。	ノート
711	一時帰宅して	今日は第6回目の一時帰宅に行ってきたが、道路は草でかぶさり、車が触れながら走るありさまで。草を刈りながら帰宅するようです。家の中は虫だらけ、ネズミは大きく本当に自分の家のようにないようです。本当に残念でなりません。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
712	双葉町長について	私達は2日目に川俣の人達と仲間になり、双葉町の人達が川俣に避難して来た時は、炊き出しを地区の人達が出し、たいへんだったことを聞きました。一生懸命に、むすび一こづつでも出したのに、双葉の町長は礼のひとつも言わず行ってしまったと、〇〇の会長さんが話していました。残念です。双葉町の人間として礼のひとつも言うことの出来ないなげなさを、本当に顔むけがたちませんでした。会長さんは双葉の町長は、バカ町長だといわれ、私達あやまって来ました。	ノート
713	磐梯横向温泉（帰宅後）	家に来たたとたん、なんとなく避難しているふんいきで体の方は本当ではなくなるようです。でも心で頑張ろうと思いつつどこまで頑張れるかと思うとストレスがたまってくるのです。	ノート
714	生活物資	双葉町は、埼玉にあるので私達は物資もあまりもらえず、毎日の生活には本当にお金がかかります。それでも少しでも節約し生活しています。仮設に入っている人達は色々と頂く物もあるという、電話での話です。	ノート
715	毎日の生活	一日一日寒くなる今日この頃です。私も足腰が悪く、寒くなると心配になる。なにもしないでいるということは本当に体に悪いです。でも避難しては、なにも出来ず本当にこまっている。	ノート
716	物資について	友達から電話があり、色々とお話ししたなかで埼玉加須市に双葉町の人達が避難している所に、双葉町の人達が物資をもらいに行ったら、加須市から離れている人はだめだと言われたとか。私としてはなんでそんなこと言うのか残念でなりません。いかにも、よく来たなー、とか言ってもらいたいですネ。双葉の人達もそんな差別をするようになったのかと、本当になさげなくなります。	ノート
717	毎日の生活で思うこと	双葉の人達もそれぞれ離れていても、元気で頑張っていることを聞き、一年8ヶ月にもなる避難生活でたいへんなのにごくろうしていると思います。みんな一緒になれることを願っています。何十年かかるかわかりませんが。	ノート
718	毎日の生活	避難してからは、夜はねむれないほうが多くなり、薬にたよるほうが多くなりました。でも自分では少しでも飲まずにしています。今日も足が痛く医者に行って来た。マツサージから色々良いと思うものは家でもおきゅうをやいたりしています。頑張ります。	ノート
719	賠償について	いつになったら賠償が決まるのか。それは、みんな考えることは同じである。早く交渉してもらいたい。	ノート
720	放射能影響	テレビでは、放射能の影響で昆虫の奇形が多くみられるとか鳥なども少なくなっていると言う。これから子供などに影響がなければよいが	ノート
721	要望	今日は、初雪が降って来た。避難してから2回目の冬、私達老人ははやく安定して生活したい。	ノート
722	絆	テレビでは震災復興のためのイルミネーションが飾られ、本当に頭のさがる思いです。これが復興の絆ですネ。私は、足腰が痛く見に行くことが出来ずテレビで見ている。	ノート
723	毎日の生活で思うこと	今日は、私医者に行って来た。医者にも避難の復興の応援のメッセージを書いてあります。私も頑張ることを思い毎日の生活を過しております。	ノート
724	毎日の生活で思うこと	今日は目医者に、タクシーで行って来た。医者に来ている人達は、避難している人達が多い小高、浪江、大熊などもいつ戻れるのかの話ばかり本当に残念だと話す。	ノート
725	毎日の生活で思うこと	今日は一日寒く隣の友達も遊びに来てくれたのでコタツで家に戻れるのはいつかなど集まるとその話しです。高齢者なので私達生きているうちに戻りたいと話す。	ノート
726	毎日の生活で思うこと	毎日の生活がいつもおなじでなにも体の動かすことは、毎日きまっています。家にいる時はなにかと畑仕事や、色々仕事があったのに、なにもやることはないしアパートにはなにもなく仮設に入っている人達は色々集まる機会の楽しみがあるそうで本当にいいですね。私達は、なにもないですよ。でも頑張っています。	ノート
727	地区の再会	今日は、一年九ヶ月ぶりで〇〇の集まりで〇〇ホテルにて集まりました。本当に一緒の地区でも、今回の東京電力福島第一原発事故による被害により、家族共々離れ離れになりましたが、地区の人達がほとんど集まり、色々顔と顔を合せながら、一年九ヶ月ぶりのお話で積もることばかりで時間が過ぎることなく、話し合ってきました。地区での記念写真を取って来ました。本当にうれしかったです。	ノート
728	毎日の生活で思うこと	避難してからは何もすることなく、アパートはなにも出来ず体が悪くなるばかりです。家にいればこんなことにはならないと思います。	ノート
729	町長の辞任について	友達が電話をよこしてくれ双葉町長辞任の話をしたが今町長の辞任の話より、議員の皆様と一緒に仲よく今後、双葉の廃棄物や中間貯蔵の件を早くきめて、賠償を早めてくれるよう私達は願っております。	ノート
730	不在投票	今日は不在投票をして来た。足が痛いのでやっとなって来た。色々な党があり、どの党が国民の為に、良くなるのか本当はわからず頭がなやまします。この避難民を考えてくれる人がいるのでしょうか。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
731	毎日の生活	今日も家でゴタツで過ごす。足が痛いので立って歩くのにもやっとなのです。避難していると隣近所の人もこないの毎日一人の方が多い。	ノート
732	毎日の生活	ストレスで色々体の調子が悪く、今日は腹が痛く一日寝ていた。こんな生活いつまで続くのかわからず本当に困っています。	ノート
735	家族	・仕事の関係上、主人とは離れて生活しているので今は週末しか会えない。 ・家族との会話の時間がとても減った。その分電話料金が増えた。 ・今は、別の町で暮らしていた父親と同居しているが、長い間別々に生活して来た事もあり、仲良く生活するのが難しい。かなりのストレスを感じる。	ノート
736	問題点	・避難生活を始めてから、戸籍上の住所と現住所が違うため、手続き上面倒な時がある。（病院、家電製品購入手続き等、新しい通帳作成）	ノート
738	不満	・高速道路無料化廃止についてだが、現在主人はいわきから群馬へ帰って来るため、無料化を続行してほしいと思う。会社からの交通費は、月3回のみしか支払われないので、今後無料化廃止となると自己負担金額が増える事となり、家計に響く事となる。	ノート
739	旅行	・長い休みになると東北地方へ旅行に出かけていたが、今は東北方面が遠く感じられる。数年後、岩手や宮城の海側の土地へまた旅行へ行きたいと思う。	ノート
740	要望	・避難先での生活は大変な事、嫌な事も多いとは思いますが、逆に良かったと思える事もあると思う。そう言う前向きな事柄も公表して、各家庭が新しい土地で頑張っている姿もはげみになるようにプラス面も出してほしいと思う。	ノート
741	体調	・双葉にいた時も春先は花粉症に悩まされたが避難先へ移ってからは秋も花粉症にかかってしまい、辛い日が続くようになった。 ・去年の3月以降、視力がだいぶ悪くなった。 ・体質が変わったせいなのか敏感肌になった。 ・白髪が増えた。	ノート
742	東電の賠償金	・こちらから認めてもらいたい項目を提出しても、東電側の返答は「精神的損害に含まれる」として却下する事が多い。 ・避難所での生活で購入した物に対しては全て却下された。何の為の避難生活なのか東電側は全く理解しているとは思えない対応だった。	ノート
749	賠償について	いまは一日も早く財物の賠償を願っている。友人からの便りによると、新しい生活を始めている方も多いたか？・・・	ノート
750	考えつかない	私は、生活の基盤が確立していない現状ではとても先のことは考えられません。カテゴリーを見ても生活の基盤があつてこそその項目だと思えます。町民個々の生活基盤確立を最優先に考えて頂きたい。町政、町議会、町民、みんなバラバラの考えでは、この先の双葉町の存亡の方が心配です。みんな仲良くやって頂きたい。	ノート
751	避難生活における支援 —一時帰宅等	東日本大震災及び原発事故から1年9ヶ月経ちました。私ども双葉町民の一員として都内のアパートに避難居住しております。避難時母を含み3人で暮しておりましたが、住みなれた故郷を離れ、慣れない都会での生活の中、日増しに体が弱り、H24年7月に母が他界し葬儀等も済ませ、早150日程経ちました。狭い部屋に母の遺骨が納骨もままならず手元に置いてあります。私としては先に亡くなった父、母にとっては夫の遺骨は〇〇の墓に納骨されております。今回母の遺骨も父の墓と一緒に納骨してやりたいと思っております。（このように思っている方達も多数いると思えます） 双葉町長への要望／今仮双葉町内に中間処理施設が出来て運用したとしても、墓所地への墓参（春彼岸、お盆、釈彼岸）等の町民全員への自由立入許可証等の交付またはタクシー等での乗り入れ時の許可等も（車輛持ち出し無くの人への）車輛許可を併せてお願いします。	ノート
754	要望	老人2人（1人は避難中骨折して歩行困難）障害者の私、非常に家探しが困難。介護施設には入りたくないというし。早くなんとかしてほしい。90才を過ぎて終の住処が避難所ではあんまりだ。お金はなんとかできるので探してくれるだけでもいい。いつまで人様の世話になっているのだ、と親戚に責められるのも辛い。	ノート
756	生活の不便	双葉にいたときは障害者の私でも、運転できる田舎道、広い駐車場のスーパー、宅配が利用できて便利だった。旅行に行くときも駅の前に車を止めて、乗りかえもせずに東京に来れた。今はせまい道路で、車も使えず、不便。タクシーでも、何回も荷物を運ぶのは大変（片手しか使えないので）	ノート
757	意見	いわき市長が私たちのことを税金も払わず、賠償金をもらってサービスを受けていると言ったとか。他にも差別を受けている話を聞く。それなら、賠償金をたくさんもらって町は解散したらどうか。どうせ帰れないのだし、子供たちだって、今住んでいるところがふるさとになるのではないか？	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
760	12/23号 サンデー毎日より	4号機の設計に携わり、国会の事故調査委を務めた科学ジャーナリスト、田中三彦氏は「怖いのは4号機です」と指摘して、こう解説する「4号機の冷却用プールには、今も1331体の使用済み核燃料と新燃料203体が入ったままです。東電は来年11月から巨大クレーンを使い、すべての燃料を取り出す方針ですが、1年ほど毎日のようにクレーンがフル稼働するので、吊り上げている最中に大地震に見舞われる可能性は小さくない。燃料を落としてしまったらどうするのか。東電にそのことを聞くとそういうことも考慮しているというが、本当に大丈夫なのか」プールは建屋内の3～5階部分にあり、建屋が爆発した際に影響を受けたため、耐震補強を施された後も余震による倒壊を懸念する声がある。しかも使用済み燃料棒は致死レベルの強烈な放射線を発し、水中で冷やしながら保管する必要がある。水が不足すると高温になって発火し、消す手立てもないため大量の放射性物質が飛散する恐れがあるとの指摘もある。賠償がぜんぜん進まない。弁護士も何も言っていない。同じサンデー毎日で町長が「いのちの党」の賛同者だと知った。うまく利用して現状を訴えてほしい。	ノート
764	暮らしについて	子供達が手を離れたら、のんびり農業をやって暮らしたいと思っていたがまさかの避難生活でこれから先が不安の毎日だ。現在の避難生活はただ生活しているだけの毎日で生きがいが無い。仮の町も他の町行政にくらべて遅れているしできるだけ役場の近くに町がまとまっておられるのがいちばん良いが離れていては今までと変わらない。	ノート
770	借上げ住宅避難者への支援	仮設や加須、その近辺には支援物資は届いているようだが、借上げ住宅に入っている人達には届いている物が何があったらどうかと考える程少ない。行政は町民一人一人を大事にしてほしいです。町が進展しないと双葉町をすてる人達が出てくるだろう。そうなるとやがて戻れる時がきた時に双葉町は無くなってしまわないか？	ノート
772	はじめに	みんなのまちづくりマイノートの形式にとらわれず、自由に私の意見を述べさせていただきます。（歩行困難なため、会議には出席しておりません。）復興町づくり完成には、幾多の条件が必要であると思います。例えば、国（政府）、県当局、郡内の市町村会、との連携が必要と思います。方針説明会、協議会、陳情、その他。また、役場内での職員への復興方針の共通理解の徹底、町民への復興方針周知徹底と協力体制の確立。予算の必要性から国・県から支援を受けるための必要書類の作成、複数の陳情の機会も大切だと思います。その上町民の個々人の生活安定満足度、精神の自覚が増せば、町づくり復興は一気に高まると信じています。避難者の大部分の方は、緊急放送で何も持たず、命だけの逃避で避難所へかけこんだので無からの出発だと思います。この関係から賠償問題を取り上げて見たいと思います。（現在の情報の入手は、テレビ、新聞、役場から通知だけで細かいことは入りません）	ノート
773	1. 精神的損害	東京電力は原発事故で町民全体を避難せざるを得ない境地に追いやりました。避難生活は、各自個人宅生活と比較してみると、不自由さと苦勞の積み重ねばかりでした。生活権の侵害も甚だしく精神的苦痛、肉体は限度外でした。東電は精神的損害賠償金として、1月10万円（1回目1人50万円（4月～8月分が？）2回目1人30万円（9月～11月分が？）東京電力から受け取った賠償金は私の場合2人で1年9ヶ月経過して2人で160万円です。私達の避難生活は続いています、精神的賠償金は止まっています。昨日（H. 24. 12. 10）のテレビで大熊町の警戒区域で帰還困難区域と住宅制限区域4%決定の光景を見ました。住宅制限区域に指定された男性は家の中で、家具のちらばった物、こわれた器具を眼の前にして、「家には何時帰れるのだろうか？この家に住めるのだろうか」と、一人ごとを言っているシーンを見ました。私は区域の再編成がきまればいいのにと感じていましたが、決定しない場合の苦惱、決定してからの苦勞がわかりました。両者はとも精神的苦痛になると思います。双葉町では井戸川町長が国に町全地域の帰還困難区域の請願を出しましたが、決定しません。精神的損害は続くものと思います。賠償金の止まっている理由を聞きたいものです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
774	2. 賠償問題、私の体験したことから	賠償とは、加害者（東京電力）が起こした損害（放射能汚染などによる被害）。すなわち、避難に要する費用の、移動費用、生活用品、衣服類、不動産の家屋、宅地、田畑、山林庭、家財道具などの相当額を被害者（町民）に保証することであると考えている。東京電力から賠償金の申請書が送付されたのは平成23年4月でした。当時連絡網は進んでおらず情報の入手はテレビと新聞だけでした。自宅から双葉中学校教室へ避難。翌朝、緊急避難放送で、川俣町立飯坂小学校体育館に移動、毛布一枚の生活で3泊。腰痛もちの私は苦痛にたえられず、娘の誘いで〇〇市在住の孫宅に避難。孫の勤務先変更で転任5泊で移動、〇〇市在住の三男宅に丸1年世話になって、今年の3月借上げ住宅へ避難。前置きが長くなりましたが、移動が多く、証明するもの領収書などがどの荷物の中にはいったか？困惑しながら日数を費やすばかりでした。9月初旬頃、2回目の賠償申請書用紙の配布があることを知り、東京電力賠償相談室へ電話をかけ、1回目は、なるべく9月末までに提出して欲しいとのことを知りました。手許に証明できる書類、領収書があるものだけの申請書を作成して提出しました。平成23年11月、東京電力賠償担当職員〇〇さん（女性）から「東京電力備えつけの診断書を用いて、医者から証明をもらって再提出してほしい。東京電力備えつけの用紙は、すぐ送ります」との電話でした。私は仕事でしたので、簡単に引き受けてしまいました。しかし、当時、双葉町の井戸川町長は「東京電力は、損害賠償を自己ペースで進めようとしている。賠償本来は被害者のペースで進行し、加害者（東京電力）は被害者（住民）に、相当額の賠償金を支払うのが当然の姿」と話している。そして1千万円の予算で弁護士会の協力を得て、各個人が納得がいく賠償が成立するよう配慮しているとの記事を読みました。後日、この件について考えてみました。町医者の診断書は、絶対的な権威が世間一般に通用するものと考え、別紙診断の要求は初めて、社用診断書が必要なら、何故他の書類と一緒に配布しなかったのか。1回目に書類を提出した多くの人が、書類不備で返されたとの噂が流れました。社用診断の入れ方を忘れたものなのか？でも、多くの協同作業、誰か気がつくはず。それとも、意図的に、不可解な気持ちになりました。11月〇日、東京電力賠償相談室へ、町医者の診断書で何故いけないのか？その理由を聞くために電話をかけました。私の担当の〇〇さんは席をはずしているため変わって男性の職員が来ました。名前を名りましたが、始め普通よりやや低い声終わりは聞きとれない小さな声。色々理由を聞きましたが「会社で用意した診断書を使用してください」の一点ばかり。仕方なく井戸川町長の談話とirikumiを話す返答に困り、無断で電話で切ってしまいました。なんと、礼儀知らず、誠実性欠如の人物と直感しました。年齢は相当の年齢に感じました。今までの出来事で皆さん、どう考えますか。賠償は順調にいくと幸いです。後日、社用診断書用紙に医者記入してもらい、仕方なく上（左横）の数字をどのように読みとれば良いのでしょうか。週日の新聞記事の中で、東京電力の放射能汚染から1年6か月経過したが賠償問題は遅々として進んでいない指摘があり噂になった。東京電力では、このことを払拭するため、来年3月までに職員を4000人に増加し体制作りで賠償問題を促進したいとしている。1年6か月経過した現在、このようなことよく言えると思います。被害者の私たちでも平等の生存権・生活権は持っているはず。現在は、その点制約されているのが実状です。例えば、日常生活で他人に損害を与えた場合、加害者は、あらゆる都合をつけて、損害に相当する賠償額を即時支払うのが常道、人間としての常識と思いますが、東京電力はこの点、どのように考えているのか？放射能に汚染された財産（家屋、宅地、家具類、田畑、山林等）の対価と使用出来ない期間をどのように考えているのか？いずれにせよ過少評価はお断りです。そのためにはマイペースで賠償交渉に限りませぬ。納得いくまで努力を重ねましょう。賠償成立4割の方は別にして、未解決の6割について考えてみましょう。①賠償申請書類を提出しましたが東京電力の賠償に当たる職員が少ない。順番待ちをしている人②書類不備で返却され、そのままになっている人。③東京電力が提示した賠償金と自分で考えていた賠償金に差が納得いかない人。大別すると3つになりますが事情により他数になると思います。お困りの場合は双葉町に関係ある弁護士に相談することをお勧めします。納得いく賠償金を得て、安心した気持ちで、町の復興事業に協力しましょう。よいアイデアを考えて。	ノート
775	3. 賠償成立4割、未解決6割	・双葉町内及び周囲町村の詳細な汚染状況を調べる。 ・上羽鳥公民館前にあるモニタリングポストの線量を公開する。何か秘密にする必要があるのか？ ・汚染の高い所を除染する。可能か？山、田、畑、つり、河川敷、家、庭・汚染水は、線量が高い山から川へ流れ込む。除染は可能か？ ・山から流れた水は田畑に入る。そこで作った米、野菜は食べられないと思うが。 ・山には、キノコ、山菜等がある。食べる事が可能か。また食べられるまで除染をするのは可能か。 ・ライフラインの復旧はいつまで完成するのか？ ・家に帰れる時期は何年先になるのか？ ・水道水は本当に「のめる」のか？ ・家、土地の補償を完全に実施する ☆未登記の家は補償できないのか？ ☆庭木等の補償は？ ☆田、畑の収穫の補償は？ ☆お墓の補償は？ ・町の復興には、病院、お店等の生活にかかせないものがある。旧双葉町には可能か？ ・子供達が生活できるのか？学校等。 ・双葉町から避難している人達への国、東電からの補償が少ないのでは？補償金・期間 ・避難者の自由をうばったのでは？	ノート
777	要望・質問 現状の放射線量、放射能影響、補償等	・双葉町内及び周囲町村の詳細な汚染状況を調べる。 ・上羽鳥公民館前にあるモニタリングポストの線量を公開する。何か秘密にする必要があるのか？ ・汚染の高い所を除染する。可能か？山、田、畑、つり、河川敷、家、庭・汚染水は、線量が高い山から川へ流れ込む。除染は可能か？ ・山から流れた水は田畑に入る。そこで作った米、野菜は食べられないと思うが。 ・山には、キノコ、山菜等がある。食べる事が可能か。また食べられるまで除染をするのは可能か。 ・ライフラインの復旧はいつまで完成するのか？ ・家に帰れる時期は何年先になるのか？ ・水道水は本当に「のめる」のか？ ・家、土地の補償を完全に実施する ☆未登記の家は補償できないのか？ ☆庭木等の補償は？ ☆田、畑の収穫の補償は？ ☆お墓の補償は？ ・町の復興には、病院、お店等の生活にかかせないものがある。旧双葉町には可能か？ ・子供達が生活できるのか？学校等。 ・双葉町から避難している人達への国、東電からの補償が少ないのでは？補償金・期間 ・避難者の自由をうばったのでは？	ノート
781	要望	・高速道路の無料化の延長 ・健康保険の無料化の延長 ・早く双葉に帰りたいです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
783	復興会議に参加して	今日は東京秋葉原UDX4階で双葉町町民参加の7000人の復興会議の全体会議が13:00から開かれた。参加者は全部30人くらいだった。私は予定より早く秋葉原駅に着いたのですが場所がわからなくて係員に電話をしてようやく会場についた。井戸川町長も参加しての4時間。参加者の意見を聞くと双葉町にはもどりたいけどもどれないのでさまざまな意見がでた。役場が来年3月にはいわき市に移転する予定。そのあとは少しずつ町民が移るので私もいわき市に移ると思っている。いわき市に移れば会社が双葉郡〇〇で再開して仕事をしているので会社に復帰できるのでできればいわき市に希望して早く町民が安心して住めるようにしてほしいです。私は今の県営団地はあと1年10ヶ月その間に町民が住めるようにしてほしいです。	ノート
788	選挙について	避難地では投票所が遠くて年寄には無理です。1人ではいけません	ノート
792	今の生活について	双葉に居る時は多趣味だったが、今では無趣味になった。庭で洗車をする事が出来なくなった。家族、親戚、友達と離ればなれになった。	ノート
793	残念に思う事	双葉で生まれ育ったのに、もう住む事が出来なくなり悲しい。	ノート
794	今思う事	自宅の線量は低く住む事が出来そうだが、もう双葉に戻るという気持ちが薄らいできた。	ノート
795	一時帰宅して	一時帰宅した時、町や家を見て悲しくなる。	ノート
796	一時帰宅して	双葉町は3.11のままだ	ノート
802	不安に思う事	原発事故が起るとは思いもしないで、南相馬から引越しをして、今は住む家がないと同じです。避難先での生活は何か毎日不安です。	ノート
803	不満	・復興会議へも遠くて出席できない。 ・健康診断の病院も遠いやら、わからないで行く事ができない	ノート
804	差別	9月下旬福島市へ犬に会いに行きました。帰りに梨畑で梨をもいでいる60才代の夫婦がいたので、梨を売ってくれますかと聞くと車のナンバーをみていわきかどこから来たんだというので双葉町ですという。「何だ放射能持ってこんでねえどお」と福島県民から言われ大ショックを受けました。「んだけど、オラほうの梨は大丈夫だからな」と自分の梨だけはアピールして、結局渡された梨は規格外のキズ有とか変形しているものを渡され、二重のショックを受けて帰って来ました。	ノート
811	要望（賠償）	町民の中には、家屋、土地を長期間放置しているため、放射性物質と風雨、地震等により損傷が進み、将来家に戻れない人もいます。東電の提示する賠償金では新たに家屋、土地を購入するには、余りにも少ないため、新たな家屋、土地を弁済してほしい。	ノート
812	要望（支援金）	被災者の方で、津波で家屋が全壊した方には、国から支援金（見舞金）が出ている。地震による家屋の全壊、半壊等の方にも支援金を支給していただきたい。	ノート
821	今までの生活	12月頃は、イカ人参をいっぱい作る。納豆もちといっしょに食べる。大好きです。柚の砂糖づけを食べたい。戻った時に柚の木に柚がタワフに実ってました。残念です。一時立入で家に戻った時に帰って来たくなくなります。家をはなれる時なみだが出ます。	ノート
824	双葉町に戻れるのか	双葉町に戻れるのか戻れないのかどうなるのか、残念です。	ノート
826	祈念	年中、毎日々不安ばかり 町の再復興祈念するばかり	ノート
827	健康不安	3.11後3週間自宅生活で健康の不安ばかり	ノート
830	東京でのグチ	先日、不動産屋から電話があつて、駐車場代を払うように言われました。双葉にいた頃は、自由に自宅の庭に停めていたのに・・・それも最初の頃は不動産屋の方から「どうぞ駐車場使ってください。」って言うていたのに・・・。何ヶ月も無料にしてくれていたのに、これなら最初から支払うように言うてくれればよかったのに、と思います。私達が補償金をもらっているからと、態度が変わったのかもしれませんが。同じアパートの人にも補償のことを言われ、何でこんな肩身の狭い思いをしなければならぬでしょう。	ノート
832	一時帰宅について	秋の一時帰宅の書類が届きました。弟がお墓まいりをしたいと言うので、スケジュールをお互いに調整して、12月の予備日に予約しようとコールセンターに電話したら予備日の予定は今のところないと言われました。台風等の不測の事態のため中止になった時の予備日だから、とのこと。あまり早い時期に仕事の休みを決められない人もいますので、予備日も実施できるようにして欲しいと思いました。人手も経費もかかるのでしようが・・・	ノート
839	要望	私の祖母は、よく「賠償もらうまでは死ねねえ・・・」と話します。しかし、避難生活の中で物忘れは増え足腰も弱ってきています。祖母のような方が沢山いると思います。待たなすです。区域再編を急いで欲しいです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
841	困っていること	ガンで子宮頸ガンと直腸ガンの手術を去年の12月にしました。もう一年になりました。婦人科の方は共立病院に月一回診察に行ってます。外科の方は半年に一回CTをとっています。12月で一年なのでまたCTをとる予定です。今体の事で困ったことがあります。それは後遺症で右の足が全体にはれてみんなの集まる所に行きたくないです。前はみんなと出かけるのが楽しみでしたが今は、あまり人と会うことがいやになりました。	ノート
842	おばあちゃんについて	私がこんな体になったのでおばあちゃんを見ることができなくなり今は病院に入院しているところです。おばあちゃんを見にたまに病院に行くのですが認知症で耳は聞こえない。私を見てもだれだかわからない状態です。	ノート
843	双葉の人達	今は中浜の人達がいわきの方に来ているので、三軒の人たちと付き合いをしています。双葉の人たちがいっぱいいわきの方に来ているのですがなかなか会う機会がありません。双葉の仮設住宅がいわきにあるのですがなかなか用事がないから行く機会もありません。今回は選挙があるから仮設住宅に行きます。双葉の人達に会ってきたいと思います。	ノート
844	家族	今は家族がバラバラになっています。夜になると一人なので一番さびしい時間になります。家の方は購入しました。たまたまどなりが私の妹でした。私はめんどろ見ってもらっています。その点はとても心強いです。いつになったら家族みんなでくらせるのかそれがわからないからこまった状態で生きています。はやくもとの状態で生活がしたいです。	ノート
846	集まりに行って	小名浜リスポ？双葉町大熊町の集まりに出席して見た。町から〇〇君達も来て近所だった色々皆さんと話して楽しかったが片道30分なのでやっぱつかれたね。色々町の話もして1人住んでるんで知ってる人に会って話ができて双葉にいた時思い出したよ。	ノート
847	集まりに行って	赤十字が県内の双葉町民招待してくれて猪苗代リステル日帰りコース会津の方や福島白河などから集まり部落だった目迫の〇〇さんのお母さんに会ったり、シルバーで働いてた〇〇さんにも会え今の放射線では帰れないねと話した。	ノート
848	一時帰宅して	一時帰宅。息子連れて行ってくれたのだが猫24才歯がないの、帰るたび13才以上の餌と水と買って行ってたが、今日はどの部屋探してもおらず餌はネズミかもって息子フンがあるよって。また底にNPOかな犬の餌あり牛のフンもあった1時間探してたのに線量は(2)で住む事は出来ないと思う。	ノート
849	気持ち変化	小名浜でまた、双葉町・大熊町の集まりあったので天気良かったので30分かかけ出かけ、体のためになる話、特に高血圧の注意など聞き、帰りも30分以上かけ帰って来た。他の町村では警戒区域も決まって来てるに、双葉町はぜんぜん進まず情けないですね。帰るとび悪くなって来て住めないだろうとあきらめにも変わりつつあります。	ノート
853	住まい	埼玉に住んで2年これからどうする？これから・・・また住む所をさがすのがたいへん。自分達で探すのはおかしい。福島には家があるのに。	ノート
857	自由に出入りできるようにしてほしい	私は今埼玉にいますのでこれからも町民にIDカードを作り、自由に町に出入りできるようにしてほしい。	ノート
859	お墓参りがしたい	お墓参りをしたい。	ノート
860	補償期間について	東電の補償は、5年分ではなく福島に戻るまで期間分にしてほしい。	ノート
861	高速道路無料化続けてほしい	高速道路の無料化を続けてほしい。	ノート
862	補償を早く	家、土地補償を早く行う。	ノート
868	気候	日本で一番暑い所に来てしまった。	ノート
873	最後に一言	最後に神奈川や埼玉の親戚の人達には感謝してます。去年の事を思うといろいろ思いだし悲しくなります。ただ、なにごともなく今も家族と一緒に暮している事に感謝しながらこれからこちらで生活したいと思っています。	ノート
877	賠償を早く	双葉町自体 早めに弁護団を作り、ADRに申立てているものの、県によっては解決までにまだまだ時間がかかりそう。早く解決できるよう動いてほしい。	ノート
880	今の状況	今は広野町の高野病院に入院しています。だれが行ってもわからない状態です。	ノート
882	意見	双葉町単体での再建は無理ではないか？双葉郡で足並みを揃えた方が前に進めそうな気がする。コミュニティーも双葉町だけではないし、親類縁者は他町村にも多数いる。双葉に戻るといより、自分の家に戻りたい。賠償が進まないと、新しい生活も考えられない。	ノート
885	マイノートについて	まず一つ、こんなノートを作る金もったいなく思う。全員の望みをかなえる事など出来ようもなし。しかしながら、作ってしまったものは使わないのはもったいない。よって、日ごろのグチを書き記すことにする。特にこれという事もなく過ぎていくが、体調がとても悪い。鼻水は出るし熱は出るし体は痛しい。台風が近づいているせいか、本気で体調が悪い。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
886	精神的不安	精神的に不安定になりがちで、薬がこの間から増えた。そのせいだろうか。生理がこない。生理が～って言うとき私くらいの年頃になると、妊娠をまず疑われるのだけど、外出も人に会うのも嫌な私にとって、無縁な単語なのだ。もし妊娠していたら、大天使ガブリエルが告知に来ることになるだろう。第2の聖母だね。そしたら宗教創らないと。お金もうかるし。新しくたてたばかりだった家のローンとか、これから住むことになる家を買ったりとか、金が必要だけど、私にはアルバイトすら今できないからなあ。	ノート
887	環境の変化	アルバイト。そう、地震だの原発だのがなかったら今ごろ、私もアルバイトなりしているはずだったのに。車の免許もとって、地道に社会復帰への道を進んでいたのに、急な環境変化によるストレスとかで今まで積みあげてきたものが半分くらいやりなおして感じ。自分がイヤだ。それ以上に、政治家とか権力者のやることに吐き気がする。サル山のボス争いもいがかげんにしてほしい。どいつが上でも大して変わんないよ。どいつもこいつも、ただ自分達が一番になりたいだけなんだし、あいつらにとっての国民ってのは都民だけだし。地方の人間なんてどうでもいいんだ。原発からの書類とか、またムダに面倒なものになってしまったし。そろそろ金払いたくなくなってきたんだろう。人類全て死ねばいいんだ。そしたら時間をかけて地球は元の姿に戻るし、生きるものは生きるし、死ぬものは死ぬ自然な姿をとりもどす。人間がいるから悪いんだよ。全部人間がいるせいでおかしくなるんだよ。死にたえなくてはいけないのは人間なのに、なんでまだ生きてるのかなあ。神様がいるなら、真っ先に人間は消されるはずだろ。もう疲れた。なんもかんも疲れた。でも、私の分の金払わなくて良くなったと喜ぶ人間がいるかと思うと死んでも死にきれない。誰か、人類だけが感染するウィルスとか作ってくれよ。新しい町とか、他の町や市から場所もらって作るより、みんな、それこそ世界中の人間まとめて死ぬほうがいいなあ。元の場所には戻れないんだし。どうせ最終処分場とか作られんだろ、双葉町のあった場所とかに。反対したって作られるんだ。もう汚染されてるんだからとかいう理由でさ。地方のNOなんて聞く気ないんだし。そんなもんだよ。	ノート
888	心の叫び	県民健康管理ファイルとやらが届いた。こんなの作る金があるならくばれよ。国会はメチャクチャだし。うすっぺらい言葉ならべてサル共がボスの座ねらってゴチャゴチャと。毎日うるさいんだよ。通院の記録だ？週2で通ってんの何回分だよこれ。ふざけんな。ああうざい。何もかも気持ち悪い。吐き気がする。頭も痛い。何が国民のためだ。自分のためにしか動きゃしないくせに。	ノート
889	心の叫び	なにこのノートのムカつくんだよ集めたところで読みゃしないくせに。町長はやることもやらないで何してんのかわかんないし。いつまでもイヤイヤいつたところどこか変わるのか。話し合いにも参加しないで何ができるってんだよ全部に腹が立つ。なんで生きてんの私。生き残って何しろってこの。私みたいな役立たず生きてたって仕方ないってこの。でも、そしたら払う金がへったと喜ばれるだけだと思えばそれもムカつく。でも疲れた。もう疲れた。	ノート
890	仮設住宅に居て思う事	どうしてこんなに事が先に進まないのだろう。どうせ元の家には帰れないのだから、新しく家を手に入れられるように金がほしいのだが。仮設では荷物置ききれないから、持ってこれないものだったたくさんある。仮設だから、いつまでもいれるかもハッキリしてないし。バイトとかするにも不便だ。もう疲れた。頭痛い。吐き気もする。	ノート
910	賠償について	・東電へ賠償促進を進めて欲しい。現在の避難生活で精一杯である。	ノート
911	今の気持ち	・病中なので家族の面会も遠のえた。さびしい。	ノート
919	近隣の関係	避難して感じたことは人間関係、昨年は絆で、人と人のかかわり、助け合いで、きずな、仮設に2ヶ月生活させて戴いた時は楽しかったが、ここ成川は、東京並み、隣の人は何する人ぞ、これには私もうんざりしました。いったいキズナ、って何だろうと考えさせられました。	ノート
929	これからの人生	これから先、のことが見えぬ百歳まで生をいただいたとしても、後と30年もない人生です。その30年も元気で過ごせれば幸いです。が・・・？これからどうして行くということを一応計画を立てていただければと、じれったい思いで毎日を過しています。	ノート
962	避難生活で感じる事	避難生活の中で感じていることを書かせて頂きます。	ノート
963	避難生活で感じる事 (食品)	まず困っていること。双葉にいて生活していた時より場所が悪く、生活するための足がないのと、食品の店が7だけで、物が不足していた時不便を感じ、coopを利用させていただいています。その代わりに、車屋さんなどは売るほどあります。	ノート
964	避難生活で感じる事 (医療)	主人を看護して一人なので、自分が歯医者さんに行きたくても、なかなか、行けないで困っています。何につけ、家から出ることが出来ないのが悩みの種です。看護も疲れしました。しかし家族なので主人なのでガンバレルのことも知れません。介護も5となると大変です。一日一日元氣になっていきます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
965	避難生活で思うこと	とにかく早く双葉の家に帰って手足を延ばし何も考えずに、大地を耕やしせいせいといい空気をすって昔のように暮したい。幼子のように、無性に家に帰りたくて、涙がこぼれてくる日も時々です。ねたきりの主人を見ると尚のこと、切ない思いがこみあげてきます。〇〇は女が頑張らないとならないのかななんて思ます。やっぱりねていても、目は黒くていてほしいとつくづくおもいます。	ノート
967	避難生活	今まで避難生活もした事ない、知らない土地での生活、また隣の近所もしらない、ほんとうに双葉町に行た時は、隣近所仲良く畑に行っても、田んぼに行っても声かけ合って、毎日が楽しかったです。避難生活になってからはそれがなくなった。寂しいです。	ノート
968	避難生活	毎日の生活で孫と離れての生活、暑い日は外に出て散歩しようかなと思えば車が多く、ほんとうに双葉町に行た所とはぜんぜん違う 早く前の生活みたいな所に、一步でも近くなればいいなと思います。	ノート
969	要望	今まで農家やっていたので野菜買って食べる時が、なんでこんな目に合わなければならぬのかなと一瞬考える時があります。体が動いていた時は、いっぱい野菜を作り、友達に持って行ったりして、自分の住みなれた所はいいです。もう、帰れないともなれば早くの町を作ってもらいたいです。	ノート
971	物資について	3. 11から1年9カ月、こんなに長くなるとは思ってもいなかったです。体だけで逃げて来て、何にもなく、町から最初のうちはあったけど、今は、仮設でないと何にも、もらえないのですか。さびしいです。早く双葉町の人達と過ごしたいです。	ノート
972	笑顔になりたい	今日も買い物に行つたけれど、誰一人あいさつする人もなく、高齢者にとっては寂しいものです。後何ヶ月・いや何年、いるのか早く知りたいです。一日も早く笑顔でいられるように。	ノート
973	皆と過ごしたい	ほんとうに我が故郷は何にもないけど車も少なく、空気もすっきりしていて、環境もいいし、ゆっくりと過ごすはずだったのですが、原発事故のため生活が変わって毎日が嫌な気持ちでいます。何回も言っているように双葉町として皆と過ごしたいです。	ノート
974	我が故郷	今日も朝 目が覚めると故郷の事思い出しまだまだ駄目ですね。人生半分以上過ごした所、でも前向きに考えないと自分の体が弱っていくし、早く双葉町として過ごしたいです。我が故郷の人は気持ちがいいです。	ノート
975	避難生活で	うっかり双葉町とは言えないです。変な顔されますので、避難してるといっています。皆さんそうだと思います。	ノート
977	水が合わない	今まで水なんか気にしなかったのが今度は、体に合わないため買って飲んでみます。	ノート
981	要望	今、生活して行く中で、まったく先の事がぜんぜん見えない、具体的な情報が知りたいです。	ノート
982	現在困っていること	現在私は息子と2人暮らしで買い物に足がなくて困っている次第です。タクシー代もなかなか原発でも思うように出してくれないので困っております。今後の生活復興のためにまちづくりのため町民の声として処理していただきたいです。	ノート
984	この先_災害復興住宅が整備されるのか、町としての独自の仮の町を待つのか	現在、借上げ住宅制度を利用できていますが、この制度がいつまで続くのか明確な情報がない事で不安を感じます。避難先の地域において、災害復興住宅が整備され次第、そちらに入居できるようになるのでしょうか。それとも、町として独自に仮の町が整備されるようになる時まで待つことになるのでしょうか？おおよその方向性を、なるべく早く示して頂けると、このような不安によるストレスも軽減されるのではないかと感じます。	ノート
987	今の生活について	様々な嫌がらせ、近所の人が、賠償金をあてにして金を借りに来る。こんな生活はいやだ。双葉に帰ることだけを生きる支えにしてきたのにこのあいだ、まだ新築の匂いのする我が家がネズミのフンだらけになっていた。壁は壁紙をくいあらされ、いったい何百匹いたんだ！！というくらいフン もうあの家には帰れない。それでも信用して、「この人がいるから大丈夫！」と思っていた町長が不信任を出されてしまった。もし町長までもいなくなってしまうたら、本当に目の前が真暗だ。町長さん、私達の為に頑張ったのに、何でこんな目にあっているのかな？かなしな。頑張ってもむくわれない。	ノート
995	私の心情	上記のように恵まれた土地でおおらかに先祖代々暮してきたのと思うと天災人災の畏さ怖しさに愕然とし口惜しい、悲しいの毎日である。	ノート
1026	モデルケース	町民としては全国的にみても70%は良い環境と自負している。モデルケースといってもよい位だ。小さな町で町民ひとりひとりが満足して暮している、支え合って住んでいる。	ノート
1027	打破したい	このようなすばらしい小さな町が虫けらのように壊滅的になり、故郷を追われ避難民から難民となり愚痴っぽくなり無気力になり余りにも情ない現状を打破したい。	ノート
1039	町民のつぶやき_県外避難者の思い	県外者は常にお世話になっているという控えめな生活態度である。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1040	町民のつづやき_避難生活の疎外感	疎外感をなくすような配慮がほしい	ノート
1046	新しい町づくりへ期待、戻れないから	荒廃した家の周辺、建物庭木など無人化そのものなので雑草と野性化した家畜、動物が入っているのどうしたものか愕然としている。やはり新しい町づくりに期待している。	ノート
1047	離散	3.11より離散した家族親せきのしょう息もわからなくなり遠隔地は疎遠になっている。	ノート
1048	離散	私の場合は県外であり夫は（介護）施設に入所中、公務員宿舎の单身寮のくらし町民との交流は余りない。	ノート
1049	ひとり暮らし_支援	いずれにしても寂しい独り暮らしであるが、幸い知り合った方からは暖かなサポートを受けているので感謝しているが。	ノート
1050	ひとり暮らし_不安	高齢でもあるので異変が起きたらと頭を横切ることが多い。早く、一応安定した生活がほしいと願っている。	ノート
1051	困っていること1	人恋しさが募る	ノート
1052	困っていること2	喋り場が近くにない ほしい。	ノート
1053	困っていること3	生活が不規則である。	ノート
1054	困っていること4	無気力である。	ノート
1055	困っていること5	ストレスがたまり易い	ノート
1056	困っていること6	東電、国の補償を速くしてほしい。	ノート
1057	困っていること7	身の整理をしたい	ノート
1060	町づくりでは_補償について	補償を応分に早くしてもらおうよう促してほしい（折衝）	ノート
1062	町づくりでは_借上げ住宅の期限について	借上げ住宅の期限の見直しは。	ノート
1065	中間貯蔵施設の設置	双葉で作るしかないように思う。国内で放射能汚染が高い地域であれば仕方がないと思う。そのためには高く買い上げてもらって早く落ちついた生活を望みます。基本は賠償などをもとに、それぞれが自活する事。賠償で自分の身のふり方を考えてもらう。早くしてもらわないと何時までも前に進まない。	ノート
1073	仮設住宅	隣の足音が気になる。夜、遅い時間におフロに入れたい。きゆうくつな生活。猫も自由に走れずかわいそう。	ノート
1076	病院	慣れない土地で、どこの病院に行けばいいのかわからない。いい病院を探すのが大変	ノート
1082	賠償	避難生活における精神的ストレスはお金をもらってどうにかなるものではない。東電に請求する事自体ものすごいストレスになる。	ノート
1083	ふるさととは？と聞かれたら何て答えればいいのか	今の子供達 あなたのふるさととは？と聞かれたら何て答えればいいのか	ノート
1085	避難生活のストレス	現在埼玉県借上住宅に住んでいるが近所には知っている人もなく会話は家族だけでストレスがたまる。早く仮の町の場所を決めて復興公営住宅を作してほしい。	ノート
1093	復興についての思い	どの位今の生活が続くのか 本気になって住み良い家をつくったのにその家には住めないなんて本当に困ったものだ あまり考えすぎると悪いので考えすぎないように	ノート
1098	避難生活について_食材を買う生活	米も食べ物も一切買わなければならない生活が本当に大変です。畑が欲しい。老人会でのいろいろな行事がなつかしい。賠償を早く進めてほしい。お正月を前にして米、その他の食べ物等送って下さってありがとうございました。	ノート
1110	仮の家建築に伴う不動産価格	仮設住宅や、借上げ住宅に住んでる人達が家を建てる場合の不動産（土地）、業者により値上がり傾向がある。震災避難民が家、土地を求めると、適正価格で（土地評価基準に合わせて）売買する法整備ができないか。べらぼうな価格を言われたということをよく聞く。（坪7000の土地が70,000に・・・）	ノート
1113	住まいについて	持ち家（土地）だった人にはそれなりの家と土地を提供してほしい。なぜ東電のためにアパート暮らしにならなければならないのか？今住んでいるアパートを探した時、不動産屋に、もっとボロな所に住んでいる人だっているんだから贅沢を言うなど言われた。贅沢したい訳ではなく、前と同じレベルの生活に少しでも近づければ良いと思っただけなのに。結局、今も耐震許可も無い、換気扇も無い、カビだらけの古いアパートに住んでいる。（両親が病院に近くないと困る為、移動も出来ない）今までまじめにこつこつ働いて土地や家を持った人はバカをみてしまう。	ノート
1114	土地の返還	双葉では畑を作り自給自足（野菜）していた。健康にも良かったし、楽しみがあった。全てを奪われ、身体はボロボロ、精神的にも立ち上がれない。失った土地の広さの土地を返してほしい。人それぞれ働いて何にお金をつかうかは自由で、土地や家につぎこんだ人は損をしてしまう。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1115	仕事について	仕事を辞めた人、辞めざるを得なかった人に、前の給料を与え続けるのはおかしい。知人でちょうど3月で定年だった人はラッキーだったと笑っていた。だからいつまでも仕事を探さないのでは？新しい土地で新しい仕事を始めた人にも前の給料をプラスして払うのもおかしい、二重取りではないか？働く意欲を失うと言っていたが、おかしい。私は転勤という形で移動になったが、今でも助勤という形で差別を受けている。前の職場とは全く仕事内容も違うし、夢も希望も失ってしまった。仕事はバカみたいな事ばかりなのに忙しくて東電の賠償を書くひまもなくてまだ出していない。	ノート
1116	要望	精神的に参ってしまい、体調を崩し、手術をしたりして、一時帰宅も1度しかしていない。帰っても家の中はひっくり返っていて探せない年寄りや女だけではひっくり返ったたんずを動かす事も出来ない。誰か手伝ってくれる人がいると助かる。東電でも遊んでいないで（賠償の相談コーナーなどひまで新聞読んだりしている）手助けしてほしい。双葉町の中でも放射能高い所で家を開けっ放しで逃げたので持って来る事もこわい。きちんと値を測定して持ち出すようにしてほしい。測定器の貸し出し等をしてほしい。またトラック（少し大きめの車）を町で貸し出す事は出来ないか？車を持っていない人はバスのみで荷物を持ち出せない。	ノート
1117	要望	震災後の6月に一時帰宅をしただけ（バス）で何も持って来ていないし、その後どうなっているのか？家が立っているのかもわからない。町の状況を写真や動画で見ることが出来れば、年老いた親達が帰れなくても見せる事が出来るのでは？	ノート
1119	孤立	アパートに入ると仮設の人の方がうらやましく感じる。皆とのつながりが全くない。だからといって、避難先の町でもつながりは全く無い。本当に孤立してしまった。	ノート
1120	孤立	今は会津に住んでいるが、会津に双葉の人がいるのかもわからないし、他の所のように集まりを持てると良い。仮設の人達は声をかけあっている様だが、アパートの人達はまったくわからない。	ノート
1132	避難生活について	震災後、2～3ヶ月は自分でも信じられないくらいマイナス思考になり何もかもがいやになっていました。そんな自分が嫌で何かをしなくっちゃと焦っていました。その頃、被災者を対象としたパソコン教室があり受講するようになり、だんだん自分を取り戻すようになりました。やはり人間は自分が変わらないと周りも変わらないんだなあと思うようになりました。それからはパートですが仕事にも就くようになり借上げ住宅ですが震災前の生活に近づけようと頑張っています。自立とか復興とかは国、県、町に頼ってばかりでなく個人、個人が考えを変えていかないと駄目だと思います。「不満ばかり言っていないで」	ノート
1136	感謝	十分考える余地もなく、住居を探し求めました。何もなくて知らない土地へ・・・とても不安でした。友人、知人に助けられ、茶わん、ナベ、炊飯器、布団と生活用品を車一杯に届けてもらいました。不動産の方にもレンジ、洗たく機、冷蔵庫などを貸してもらい助けてくれた全ての人に“感謝”の思いでいっぱいです。本当に嬉しかったです。心から“ありがとう”の涙ばかりでした。でも・・・“根無し草”の様で落ち着かないどうすればいいのかわからない決められない自分がある・・・	ノート
1137	孫の事	町内に住んでいた娘家族、いずれは同居し一緒に生活するはずでした。2人の孫も保育園に通っており、時々は送り迎えもしていました。今、知らない土地で、保育園に通っていますが、住居が離れているので時々しか会えません。孫たちの今後がとても心配です。落ち着いた生活環境で落ち着いた教育を受けられるように・・・そう強く願っています。	ノート
1138	医療について	双葉町でのかかりつけ医もいて、病院も近く安心感もありました。今は、新しい病院で新しい先生の診察を受けています。病院までは車で10分位かかります。受診はタクシーを使うしかありません。主人は車で40分以上かかる矢吹町のデイサービスに週1回の割合で私の送迎で通っています。義母も高齢であり知人もなくひきこもり気味です。今後については、不安ばかりです。自分も年をとっていくばかりなので・・・	ノート
1139	文化について	考えられない	ノート
1140	娯楽について	あの頃は、趣味を楽しむ余裕もありましたが、今はとてもその気になれません。	ノート
1141	環境について	冬はやはり雪も降るし寒いし、通勤に不安もあります・・・浜通りに行きたい・・・と思う気持ちはありますが決められずにいます。	ノート
1143	自立支援を	加須の避難所はもう閉じてもいいのではないのでしょうか。自立できるような援助も必要だと感じます。支援を受けることが当たり前になってしまっているのは・・・いかがなものなのでしょうか。支援といえば・・・仮設とそうでない人への支援にあまりにも差がないのでしょうか・・・いろいろ話を聞くと避難所にいる人たち、仮設にいる人たちの言動に悲しみさえ覚えます。双葉町の住民として恥ずかしくないよう行動してほしいと思うのは私だけでしょうか・・・	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1150	今の地域について	新潟はお米が美味しい。	ノート
1161	今の状態	頭がパニックになる	ノート
1162	今の状態	家族はバラバラだ	ノート
1163	法律	町民の命は法律の下では平等だ	ノート
1164	法律	生命と財産を守ってくれ	ノート
1166	一時帰宅について	来年の夏は一時帰宅は無理	ノート
1169	住まいについて	時間を見つけては、土地・家を探し歩いてますがなかなか価格と土地の広さと気に入る所は見つかりません。土地の価格は上がるばかりです。このままでは土地を購入すると、家は建ちません。双葉の土地は300坪ありましたが、せめて1/3のでもと思ってますが今の東京電力の賠償額では無理です。国が県、もしくは東京電力の持っている土地を提供してもらって安い価格で売却して頂きたいと思います。	ノート
1170	残りの人生	国民年金だけの収入で残りの人生を生きていく事はむずかしいです。自営業だった私達には仕事生きがいでしたが、今は夢も希望もなく、このまま根なし草のように、生きていくのでしょうか？	ノート
1171	一時帰宅して	一時帰宅する度に家の中は変り果てて行く。11月16日に最後に帰宅した時はネズミの住み家と変し、もう住める状態にあらず・・5年もしたら・・考えるだけでめまいがします。何も悪い事もせず、正直に生きてきたのにどうして・・国はテレビを見ても、もう忘れてしまったかのようです。どこに住むかはその人のいろんな理由で違うと思いますがどこに住んでも、双葉町の住民であったという証は残して頂きたいと思います。	ノート
1172	賠償期限について	まだ一回目の賠償もないのに1年9ヶ月も経ってしまいました。3年したらもう終わりですなんてないようにきちんと文章にて期限がない事を知らせて頂きたいと思います。	ノート
1173	集団生活について	仮設に入居して1年8ヶ月経ちますが、集団で生活する事の大変さを楽しみ感じています。国や県などで集合住宅などいろいろ考えているようですが、大変だと思えますよ。高齢になれば今まで我慢できた事も体力的にも、精神的にもつらくなります。やはり一番はプライバシーが守られるような住居でなければいけないと思います。	ノート
1185	意見	原子力行政に頼らない、自然エネルギー。仮の町より実際に戻れる戻れないのが先にはっきりすべき。全て失った、まずは賠償を。住民票を移してその場所に住む。元の双葉町なら帰りたいが仮の町なら帰らないよ。	ノート
1190	意見	自宅にはお金にかえられないものがいっぱいある。	ノート
1206	現在の避難生活	今は、慣れない生活が少しストレスに感じる。外をみると見慣れた風景になってきてても、やっぱり落ち着かない感じがする。特に高齢者は慣れない土地で毎日大変そうである。近所の仲の良い友達や知り合いもいなくなってしまうとストレスだと思う。前の家とは違ってせまい間取りなので物を置く場所があまりないのでおちつかない。	ノート
1207	避難生活 避難生活の中で感じていること。	家がせまく、荷物を置く場所がない。必要な物を買いたくても、大きい物など置けないので買えなかったり、また、引っ越ししないといけなと思うのでおちついた生活が出来ない。やっと慣れてきたと思ったら、借りている家が売りに出されてしまい、次の家をさがしているが全然みつからなくて困っている。何でこんな思いをしないといけなにかと思う。	ノート
1213	健康について。	自分では、健康だと思っても、つかれやすくなったりと、これから、大丈夫かと最近考えてしまう。今までは病院が近くにあって良かった。今は、病院はあってもどこが良いのか分からないので困ることがある。	ノート
1216	賠償のこと	賠償については、不満がある。必要で買った物なのに認められなかったり、家に置いてきた物で同じ物を持ってこれなかったので買おうとしても認められるか分からないから迷ってしまう。線量が高い地域なのであまり持ってこれなかったりで困る。また、担当した人によって認められたり認められなかったりするもので、それはおかしいと思う。本当に何も持たないでそのまますぐに避難したのできちんと考えてほしい。一時立入も線量が高いからあまり行けないのできちんと賠償してほしいと思う。	ノート
1223	避難生活のこと。	避難生活をしていると精神的につかれる。次の引っ越し先をみつけないはならないのでおちつかない。早くゆっくり安心してくらしたいと思う。	ノート
1230	犬、ペットとの暮らし。	双葉町に住んでいる時は、ペットを飼っていてもあまり気にはならなかった。今は、近所が住宅地みたいに密集していて近いので泣き声など気にしてしまう。庭などせまいので犬も前のように自由にできない部分もあると思う。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1232	これからの生活	これからの生活が安心してすごせるように賠償をきちんとしてほしい。いつまでと決めずにこれからずっと戻れるまで、元の生活に戻るまでのことを考えて保証してほしいと思う。避難の精神的苦痛は大きくなってきたと思う。だんだん考えなくてはならないことなど出てきてとてもゆっくりできない。	ノート
1243	双葉町の家	双葉町の家は、建てて何年もたっていない。とても悲しいし。つらい。やっとおちついてみんな一緒に広い所で暮せると思っていたのにとてもくやしい思いだ。	ノート
1244	賠償のこと	エアコンや暖房やテレビなど一回、一台くらいしか賠償されないのがおかしい。エアコンは前までは部屋ごとついていたし。テレビも一台ではなかった。買った分だけは、きちんと賠償してほしい。必要で買った物などは認めてほしいと思う。	ノート
1249	連絡先が分からない。	隣や近所などの連絡先が分からない。どこに避難しているのかも分からない人もいる。また、友達ともあまり会えなくなった。さびしい感じがする。	ノート
1253	笑顔でいつか帰りたい。	笑顔で早く双葉町の家に戻りたいと思うが、簡単には帰れないと思う。それが悲しい。少しでも自由に一時立入りができたら、少しは気分的に違うと思う。自分の家がそこにあると思うだけで気持ちが違ってくる。自由に行けるように早くしてほしい。防護服やマスクをつけなくても帰れるようにしてほしいと思う。	ノート
1254	ペットのこと。	ペットに関してもきちんと賠償してほしいと思う。飼っているペットも、保護されてみつけた。とても、やせていたし、おちつかない様子だった。前よりも、おちつかない様子の時があるし、ごはんをあまり食べなかったり、鳴くようになったり、ペットも精神的に悲しい思いをしてきたと感じるので、きちんと考えてほしいと思う。	ノート
1267	家の庭に植えた記念の木。	家の庭に植えておいた、記念の木や花をなんとかしてほしい。持ってきたけど持ってこれない。入学記念や卒業記念に植えた木なので残しておきたい。今すぐではなくても、他に持っていったりすることはできるのか知りたい。	ノート
1268	高齢者の心のケア	高齢者の心のケアをしてほしい。何十年も住んでいて、住みなれた土地、家に帰れないのは精神的に大変だと思う。	ノート
1269	避難者として	避難していて、今は同じ福島県に住んでいても、前からその土地に住んでいる人たちと、原子力の影響で避難している人たちとは少し考え方や気持ちが違うことが分かったので少し気になる。賠償をもらっていると。たくさん賠償してもらっているように思われたりすることもあるので困る。本当の精神的な部分などは、家に帰りたくても帰れない人たちとは全然違うと感じることがある。原発での避難している人たちが遊んでいると思わないでほしい。大変さを分かっていると思う。	ノート
1277	復興住宅の件	現状ではどっちつかずの状態が滅入り、生きる気力が無くなりそう。1日も早く決断して下さい。	ノート
1279	東京電力(株)の賠償の件	東電の賠償の最初仮払いをしてくれたが、賠償額より天引きとの事、半取り「マイナス」の人がいるとの事。生活苦の人がいるとの事。国、町等は見舞金を出しているが、事故の責任のある当事会社は仮払い分はきっちり取り立てるが、見舞金の一銭も出していない。ゆるせない！	ノート
1285	要望	仮設住宅にはいろいろ便宜をはかってくださるようですが借上げ住宅の人達には何もありません。陸の孤島です。仮設に入らないのは貴方の勝手と言われればそれまでだが事情があって入れない場合もあるのではないのかと思います。とにかくきめの細かい政治をして下さい。	ノート
1288	希望薄し	日々つらい生活です。身の方も病院に行くたびに薬の数が増えてきます。いつになったらさっぱりとした気持ちになれるのか。希望薄しの次第です。	ノート
1294	補償	政府、東電へ 双葉町に住めないのなら全額補償してほしい。	ノート
1300	要望	双葉町の電話帳をつくってほしい。子供達が、双葉町を忘れないようにしてほしい。高速代は無料を続けてほしい。	ノート
1303	暮らしについて	双葉の自宅はもう住める状態ではない。庭は雑草、木の枝など伸び放題である。	ノート
1311	友人について	友達と会って話すことも今では簡単ではない。近くに住んでいない。	ノート
1314	避難生活で思うこと	避難生活をしてから知人や友達が亡くなっている。皆、ストレスを抱えて生活している。原発事故が無ければまだ長生きできていたことと思います。残念でなりません。今一番大切なのは元気で健康体であることだと思います。	ノート
1317	双葉町復興会議③	①震災でアパート住まいになってから夜も眠れない。 ②一時帰宅時から家がカビ臭くマスクしていても吸ってしまいノドが苦しくなった。 ③夜中周りがうるさい。	ノート
1319	要望	早く美しい家に住みたいと思う。つくばにいて良かったと思う建物になってほしい。皆で協力しあえる場所になりたい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1322	先行の不安	公務員住宅 4700戸→3000戸 750空室 通達12月18日以降→受け入れしないように いばらき300人 200人→つくば	ノート
1323	考え	被災者がいっぱいつくば市にできればいいと思う。衣、食、住すべての条件が整っている。住→むかしの条件（戦後）と今の条件はちがっている。国はどこまで理解しているのだろうか？	ノート
1324	考え	借上げ住宅に入っている人は常にいつ打ち切られるのか不安でいる。安心できるつくばにできれば良いのと思う。	ノート
1330	帰還困難区域か	6年帰らない、戻らない話し。そんな話を聞く度に頭の中がまっくら暗くなる。6人家族、バラバラになりいつになったら家族が一つ屋根に住めるのか 思い出し考える度に悲しくなる。早や避難して一年半も過ぎ帰るあてもない日々、私は原子力がにくい、安全安心はうそだったのか、親として孫達に申し訳ない。	ノート
1331	夜眠れない	人間、毎日適度に働き働く事で夜ぐっすり寝れる。避難前は家で畑や田の仕事をやってきた。畑に作った野菜の収穫時には喜びもあり働く事が楽しかった。隣人が集まって穫った野菜を分け合ってお互いに喜びがあった。避難の中では何も無い。明日の見えない日々、何の喜びもない避難生活は自分の人生は何と言うのか。頭の中がからになる。	ノート
1332	考え	今の自分の避難の生活は私達だけで沢山だ。こんな生活は双葉の人達で終わりたい。老後を楽しむために若い時には農業をやりながら会社勤めもした。「人生楽あれば苦あり」そんな言葉を胸に秘め頑張った。しかし原発災害の避難の中で「楽」の達成はムリと考える今は5年後生きて戻れるのかそれだけを考える。	ノート
1333	双葉の家	あの2m以上伸び育ったアメリカアワダチソウ荒れ果てた家屋敷、田、畑…あれを誰が片付けてくれるのか。戻れと言われても何か戻る気がしない。一旦あのアワダチソウ大型トラック一台もありそうだ。これから5年過ぎたらもっとひどくなると思う。双葉町へ戻っても作った野菜が線量が高く食べられない。そうだったら戻らない。休耕田と同じように柳の木生えるだろう。ああ悲しい。	ノート
1334	進まぬ除染	除染の方法、技術、どうしたら戻れる、住める、帰れる、国会の衆議院が解散。こんな大事な時に解散するとは私達の事は忘れたのか、「対岸の火事」なのか。除染除染と言っているながら一つも進まない。やるだけやってみよ。国会議員は給与取りなのか。こんな有り様なら「もう原発はいらない」。初めての事故だからと思うが対応が遅いと思う。何もかも後回しだ。	ノート
1336	双葉の将来を思う	線量が高く戻れないのならあの家屋敷、水田、畑、山林を東電は買ってくれ。それも避難前、災害前の価格で買ってほしい。私達双葉の住民も、悲しいけれども売るしかない。私は怒る。よその地へ行っても自分の持っている家屋敷、水田、畑、山林は求める事は不可能だ。よその地へ行っても「新立ち」とか「新入り、後入り」と呼ばれて生きて行くしかないと思う。若い人達は「双葉」も戻らず老人だけ戻ってもどうにもならない。	ノート
1337	戻れるのか、帰れるのか	我が家があっても帰れない。我が家があっても住まれない。人生、何も悪い事していないのに、自由に我が家に帰れない。こんな悲しい事があるのか。福島第一原発福島第二原発地域で避難している以外の人々には私達の苦難は分からないだろう。第一原発は周辺の人口が少ないから大きな問題もなく避難したが、他の原発が30km避難としたら大変だ。他の地域は第一原発の2倍3倍の避難人口だ。	ノート
1340	精神的賠償（仮の町）	現在借上げ住宅に住んでいる。これから先3年間帰れない双葉の避難者は4年・5年・6年の住居の問題。仮の町が果たして出来るのか、どこへ出来るのか今だにわからない。出来上がった頃は帰れる時期になるのかそんな気もする。月々10万円の賠償も戻って3月後となっているが、果してそれまで月10万円がもらえるのか心配だ。農業は稲を作り野菜を作り生活が成り立っている。高線量で稲や野菜が作らなければ生活が出来ない。	ノート
1346	将来、6年後戻って住む事が出来るのか	将来戻って双葉町に住む事が可能か、不可能か。不可能の見込みなら一日も早く建物賠償を早めてほしい。宅地と建物の賠償金を貰えば小さな家でも求める事が出来るかも。6年の人生は長い、人生の10%が先の見えない避難生活だ。人間生まれて、小学校入学まで期間だ。短いようで長い。あの荒れ放題の地、元通りのようにしてほしい。地域の住民と一緒に戻らなければ屋敷や田畑はゴミの山となる。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1347	原子力発電所周辺の人達の人生を狂わせた原発事故	原発事故前の人生生活を考えると以前の生活に戻る事は大変だ。例え、戻っても、①には元の住民の100%は戻らないだろう戻っても50%程度だと考える、②農業の復興は無理。あの草ぼうぼうの荒地を元の姿に誰が戻す。そして線量の高い中作ったものが食べられるのか、③商人が戻っても、人が少なれば経営が成り立たない。ガソリンスタンド、ショッピングセンター、雑貨屋、洋品店、文具店、薬局全てが買上げ半減だ。それに加えて、学童、子供が戻らなかつたら双葉町などは先々が何も無い。私は考える。やがて元の地に戻った人達にも、生活や経営が成立つまで「生活奨励金」を国や東電は出すべき。私自身、生きて戻れるあてはないが、後々の家族の事を考えれば必要。	ノート
1349	この原発事故、日本の国で再度あったら日本の国は終りだ	絆とか結とかそんな事を言っているが避難生活をしている人達はそうではない。私は「怒」だと思う。原発避難して1年9ヶ月が経つ。いつ戻れる「あて」がない。線量の低い所の人達は少しずつ戻る。線量の高い浪江、双葉、大熊、富岡。何もやっていない。除染方法や技術がない。昔のことわざに「泥棒つかんで縄もぐり」が頭にうかぶ。	ノート
1354	避難先に家を求めて	双葉の避難している人達がいわき市に土地を買って家を建てている人が多勢いると聞く。本当に双葉の地へ戻れないのか。これだ。浪江、双葉、大熊、富岡の各町長が先々6年は戻らないと言うから、戻れないと言うから、いわき市や西郷村などに家を求める人があるのかもしれない。これをはっきりしないと避難している人達はその地に根を下ろすようになる。新聞など全損賠償の話も聞くが、国や東電に全損賠償する金があるのか。力があるのか、やがて「不在地主」が生まれると思う。	ノート
1355	毎日の避難生活もあきた	働く意力がなくなる。体力は落ちる。毎日何もやる事がない。精神的賠償金をもらっていてもつまらない。気なりに働くことを幸せに思う。	ノート
1356	毎日2K~3K歩くことが日課情けない。	避難生活には夢を希望もない。「幸せ」とは故郷に根を張って子を生まれ育つものだ。故郷とほいいもんだ。	ノート
1372	旧騎西高校	今でもまだいる人はいますが、何才以下の人は出てもらうとか制限を設けるべき。身体の不自由な人、その介護の人は、いるべきと思いますが。働ける人は働いて下さい。それからヒマだからってパチンコには行かないで下さい。双葉町民が白い目で見られる。ヒマなら働け！自立しろ！	ノート
1376	地震当日	H23.3.11 突如襲った大地震、天変地異、悪夢の始まりだった。友人二人とお茶会の最中だった。棚から落下する音にあわててはだしで外へ飛び出す。あの時の友人の一人は、もうこの世に居ない。暗闇で過した一夜は、ただ大津波のせいとしか考えていなかった。原発の事等、頭になかった。 反省する事 ・災害無線の電池が切れて停電では役立たず無線連絡が全く、耳に入らなかった事 ・非常用食料が備えていなかった事 ・事の重大さを知らなかった事	ノート
1377	避難して	3.12 朝改めて外を見廻して、前の家の瓦が雪崩の如く、落下していた。ブロック塀も床に倒して驚く。片付け始めたが遠くへ福島を目指して避難せよとの放送があった。朝食もせず、2~3枚の着替えと、非常袋を持って車に乗る。車列が288号に向いていてその中に入ってしまう。パラ園で浪江方向をと思ったが通行止めだった。後方から押し出されるように田村の体育館に入る。大熊町民の避難所だった。 ・非常袋の中身は役に立たない物ばかりだった事 ・直ぐ役立つ食べ物のなかった事	ノート
1378	避難する	3.13 ※皆は車で出歩いて食料を求めていた様子だったがガソリンを考えて決して外へでなかった事はよかったと思う。ようやく連絡ついた息子に原発が危ないのですぐ空港を目指せ、と指示され体育館を出る。空港に行くには田村に入ったのは幸いだった。空港は仙台空港から来た人々も居てゴツタ返していた。	ノート
1379	沖縄で受けた支援について	①中古車の無料貸し出し（3ヶ月）助かりました。 ②水道料金の一年免除 ③特定の商店での割引カード ④各相談会やイベントまで参加のお知らせ（足腰不自由で参加なし）	ノート
1383	暮らしについて	町民は、みんな慣れない仮住まいに苦勞している、なじみのない土地で知合いもなく、限られた場所にしか行けない。双葉に残した家は、古い建物だが修理しながら住めばこれから先も住めたのに空しい。墓地もあるのにどうなるのだろう。お盆、正月に子供、親類の集まる家がほしいと思う。	ノート
1388	復興会議について	復興会議は私共は離れているので体験出来ない。どんな話し合いなのかも伝わって来ない。まずは賠償問題を先にしてもらわないと落ち着く先も決まらないし、定められないこと。いつまでも被災者で居たくはない。生活設計を建て直すには、年をとりすぎてしまったが双葉町へは帰れないと考えて自立していくべきと思っている。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1389	現住所で不便な事	・足腰の弱い私には歩くには不便な起伏の激しい土地柄で、交通の方法は車ばかりなので、家の中にこもりがちになってしまう。子供の休日に合わせて病院の予約を取りつける。 ・避難してきたのが早い時期だったので此方の支援室も整わず、日赤の支援も遅かったし住居も自費で引越した。 ・最も知りたい双葉町の情報が聞けない事。テレビ、新聞も此方の話題のみ。 ・預金とか保険の事で問合せたくても、東邦銀行、郵便局等々不便を感じる。	ノート
1390	今後のこと、一時帰宅、賠償問題	双葉は、故郷でなつかしく、たまにテレビ、新聞に文字を見ると、知らず知らずに涙がにじみます。一時帰宅にも旅費やら、日数（前泊、後泊のため）がかかり未だ二回しか帰れない。近県の人マイカーで出入り出来る様で、それなりに家財も運び出せるかも知れないが、手荷物程度では、探し物で時間が過ぎてしまう。私共のような遠方の者もいると思いますが宿泊施設とか出来ないものかと考えます。中継所に宅配業者でも置いてくれないかと思ったりする程です。	ノート
1391	一時帰宅して	十一月末、ようやく2回目の帰宅では、散乱した家の中に加えてネズミの巣となり悪臭で二時間が限界でした。今回帰宅してみて年月と共に老朽化が進み、もう住めないことを再確認した次第です。健康状態の事や何やらアンケートが多く同じ様な内容でストレスになる。此のマイノートもどんな風に役立つのでしょうか。未来に双葉町が有る事を夢に見て祈ります。	ノート
1467	補償、賠償	東電のほうから5回目の請求が届きました。内容を見ると精神的賠償が1年分の請求でした。町は対象区域の話が進んでいない。どうしたら良い方法があるのでしょうか？どのような話になるのか？わかりません。補償は早めの方が良いと思うのですが？	ノート
1469	賠償	早く不動産賠償をしてほしいです。長く避難生活をしていると気持ちまでダメになるような気がします。でも、双葉町役場が植田に来てくれることは、希望が持てるかもしれない。一歩二歩前進して欲しいです。	ノート
1479	暮らし	双葉町での暮らしは、家族5人で過ごしていたので、楽しかった。避難生活で困ることは、何をしても埼玉の住所と双葉の住所、両方の住所を証明するのが大変！	ノート
1487	子ども（孫）の学校について	私の家族の状況は、私夫婦は、娘のところの千葉県に、息子夫婦は仕事の関係で息子は福島県〇〇市に嫁と孫2人は福島県〇〇市に、それぞれ避難生活をしており、淋しい毎日を送っております。孫の長男は来春大学に、長女は高校に入学するため、それぞれ勉強しておりますが、親の勤務先により只今、悩んでいるところです。家族が同じ避難所で生活できることを願っております。	ノート
1505	二重生活	二重生活にての不便があり大変。	ノート
1507	コミュニケーション	同じ地区だった人、知り合いの人と連絡を取ることができなく、孤独感がある。	ノート
1509	前進するためには	早く区域再編を急ぐべきである。但し、補償金全町民一律であるべきだ。復興にも補償金が早くするべきだ。	ノート
1521	生活する場所の気候風土のこと、放射線などの安心安全にかかわること	暑い、乾燥する、寒い 春と秋が短い 放射能は危険だ。誰にも見えない。離れるしかない。安全、安心は外から判断するのか、自分で決めるのか。	ノート
1522	避難生活の中で感じていること	自分が何故、ここに居るのか解らない。 体のあちこちが悪くなる。 健康な状態が続かない。	ノート
1532	避難生活	心が離れている 賠償金の有無による生活状態の差によって、心がすさんでいている わがままになっている 避難所は7日間（救助法） 〈みなし仮設〉を認めない県もある 仮設住宅、借上げ住宅は5年、3年後には無くなる 受け入れ先の絆	ノート
1547	賠償	・双葉町では、賠償のために弁護士を利用しましたが、合意するまで大変時間がかかる。まだ、合意していない。（8か月）	ノート
1548	避難生活について	・借上げアパートに住んでいるが、双葉町では一戸建てに住んでいたため、となりの音が気になりあまりゆっくり休めない。慣れられない。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1549	避難生活について	・原発事故のために家族、肉親、友人がバラバラになり、一人ぼっちになってしまったように思う。猜疑心でいっぱいになってしまった。いつも誰かに追い回されている。水道水は塩辛かったり（粉っぽい）、飲むと後味が悪く口の中がにがかったり、さとうはあまくない、しょう油は化学調味料の味で、味がわからず、塩辛い煮物になったりする。500mlのペットボトルのお茶やジュースを飲むといきなり眠くなり、死んだように寝てしまう。常に口の中が、苦い、何かが入っているような気がする。	ノート
1564	健康管理	食事に細心の注意を払っています。健康管理をしています。しかし、専門的知識に乏しく、避難生活が長期化すると、健康管理の難しさを感じています。	ノート
1574	賠償問題の解決	避難生活も長期化し、町民も経済的に行き詰っています。早急に賠償問題の解決に尽力してもらいたいと願っています。最優先の課題です。	ノート
1579	賠償問題の解決	生活していくためには経済的なことは大きな要素です。賠償問題の早期解決を願っています。経済的余裕があれば、人生の選択肢が増えます。	ノート
1582	東京電力賠償問題 早期救済	昨日東電から口座に振り込みましたとの通知がありました。ありがたいとそのとき思いましたが、しばらくたってから、なんとなく複雑な気分となりました。土地と家屋の査定なのかなーと思ったのです。本日のよみうり新聞の社説に原発被害賠償に和解による早期救済が大切だとありました。事故後の被害者が痛切かつ迅速に救済されるよう、紛争処理の体制をさらに充実させていくことが大切だと記されてありました。町長さんもなにかと大変でしょうけど、町民のためにどうぞよろしく願います。入金額は〇〇〇円でした。	ノート
1583	東京電力賠償問題 早期救済	10月1日のテレビで浪江町御お堀出身の田中さんが、大臣になりました。わたしの女学校時代は友人の弟さんなのでびっくりしました。原発事故には関係のない大臣ですが、町長さんが田中大臣にお目にかかるのがございましたら、浪江出身ですもの早期救済について宜しく願っています。いつも大変お世話になっており、双葉支援に対しましては感謝いたしております。	ノート
1584	原発について	野田第3次改造内閣が成立しました。原発ゼロ明記と枝野氏は言っておりますが、私としては原発ゼロにしてほしいです。双葉郡内の町村民の苦労や悩み、生活を思うとゼロにしてくださいと思っておりますが「30年代原発ゼロ」とは決めていないと、決定事項ではないと訴えたと書いてありました。1日も早く自宅に帰りたい人が多いので、それを先にしてもらいたいと思います。	ノート
1585	役場移転と仮の町	双葉町役場いわき市へ再移転方針 仮庁舎拠点に仮の町整備と新聞に出ていたので、いわき市は双葉の町にも近いので本当によかったと思いました。今年度中には、建設する方針を固めたと、いわき市に伝え了解を得たとのこと。移転を半数以上の希望者とのこと、役場支所をおくことにしたとのこと、良かったと思えました。 今日、船橋市役所から高齢者介護保険について係の方がきましていろいろと説明をしていきました。私だって、家族いたらいわきに住みたいと思ったかもしれません。	ノート
1586	汚染土置き場 毎日の暮らし	汚染土置き場の確保が進まないとのこと。放射線風評被害を守る住民からの理解が得られず、困ったことです。国への不信感とも自治体住民が多いため確保が進まず、困ったことである。 今日は、書道教室に10時～12時まで、2時間カナと漢字の練習をしてきました。高齢（88歳）となり家族に迷惑をかけないように散歩をしたり、新聞を読んだり週刊新潮や週刊文春を読んだり、レース編みや毛糸編み、その他、書道教室には、月2回でかけ、ポケ防止につとめています。今のところ体に異常がないので、元気に暮らしているのでありがたいと思っています。	ノート
1587	川内村工業団地造成へ	新聞に川内村工業団地造成へ旧警戒区域に2ヘクタール30人の雇用見込むと書いてありました。工業団地を造成する方針を決めたとのこと、来年4月ごろには造成を早ければ、来年11月には操業を始め30人の雇用を見込んでいるとのこと、寝泊まりはできないが、出入りは自由で事業が行えるとのこと、他町村でもいろいろと考えておるのではないのでしょうか。 双葉はどんな考えをもっているのかしら	ノート
1588	原発再稼働	原発再稼働と出ているが、規制委員は原発安全性の審査結果について、根拠も含めて地元自治体や周辺住民に分かりやすく説明することが重要だと思うので、そのための態勢も整えてもらいたいと思います。 電源を活用する方針であれば、ちょっと無責任だと思えます。 政府が責任を持つ姿勢を示さないと地元自治体は再稼働には応じにくいのではないかと思います。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1589	残る人生	この夏は大変な暑さが続きましたが、もう秋ですね。私の人生にも季節に例えると、高齢ですので冬の季節に入りました。残る人生も少なくなり死に対する考えも変わりました。残る人生を有意義に過ごし、家族に迷惑のかからないように他界できればと思って暮らしています。	ノート
1590	双葉出身 写真館再開	元従業員の〇〇さんが福島民報新聞10月6日のものに私の知っている人が出ているからといって民報新聞を渡してくれました。双葉出身の〇〇さんが出ていました。再起双葉町出身〇〇さん(35)撮り続ける使命胸に写真館開店と大きく出されていました。〇ちゃんは、人柄もよく苦勞しながらよく頑張ったと感心しながら、新聞をよみました。	ノート
1591	役場移転と区域再編	今日、新聞に双葉町の役場機能いわき市移転正式決定 設置場所は勿来地区中心に選定 とありましたが、でも、双葉郡住民と市民との軋轢のことを書いてありました。 4町村見通し立たず。 富岡、双葉、浪江、川俣4町、事故から帰還まで6年以上。 国の原子力災害対策本部は、住民の早期帰還を目指し避難指示解除を決めた上で、賠償額をきめるのが基本的な考え。自治体や住民の不満を解消できるように話を詰めていきたいとしている。早くやってほしいです。	ノート
1592	除染作業	新聞では首相、除染の加速指示とあり、福島第一の内部視察、楡葉町の除染現場など視察したのこと。福島復興再生の基盤となる除染をスピードアップしなければいけないと述べ、長浜環境相に除染の加速化の包括的な対策を指示したことを明らかにした。早く双葉町にも住民への情報提供をお願いしたいものです。東電で働いている作業員に恐怖と過酷な環境で奮闘していただくことに感謝申し上げたいと、労をねぎらったとのこと。福島県の新米おにぎりを試食し安全性をアピールしたことなど書いてありました。	ノート
1593	原発	いつもより今朝は歩く距離を長く歩いてみました。足の具合も良くなったと感じましたので。 今朝の新聞に、使用済み核燃料を空冷容器で地上管理とあり。設置場所は敷地内にこだわらないと考えを示したが、保管場所は地元自治体の了解が必要。できるかどうかは地元自治体の関係と述べるにとどめた。このことはちょっと自治体としては受け入れないと思う。難しいと思います。	ノート
1594	双葉への一時立ち入り	6巡目一時立ち入りのお知らせが双葉町支所からありましたが、自宅から持ちこむものも少しは残っていますが、持ってきても置く場所もないので全てあきらめることにしました。	ノート
1595	ふるさとの我が家	新聞では地震の時は、東電では故障していなかったとのこと。津波では東北地方の東海岸では、殆ど被害を受けたので地震より津波の力はすごいとふと思った。 我が家は3月11日のあの地震のときは1人暮らしでしたので、家具、食器棚、すべて倒れてしまい、足の踏み場もないくらい。1人暮らしでしたので、片付けもできず、そのまま12日に貴重品だけ持って友人の車で双葉を出てきましたので、今も我が家はそのままの状態になっています。すべて家や土地はあきらめて捨てたとの思いで、あまり悩まずにくらしております。	ノート
1596	他町村の復旧	新聞によると小高区復旧進まず、再開の事業所3%、本格除染もまだ、水道やインフラの復旧は遅れ本格的な除染も未実施のままとのこと。 これでは双葉町の除染作業はいつになることかと。 復旧は遅れるのではないのでしょうか。経産相に富岡町長全町一律の賠償をするよう要望しました。 今後5年間は帰還は不可能 枝野経産相は国とよく協議してきめたいと述べるにとどまった。 規制庁の3事務所、広野町で業務開始(きょうから)	ノート
1597	避難者数	福島県から県外に移った避難者数が昨年11月ぶりに6万人を割り込んだ。県は借上げ住宅の1年間の契約期間が終わったことなどが、背景にあるとみている。県の発表によると今月4日現在の県外避難者数は、5万9031人で前月より1016人へった。原発事故から1年半過ぎ、放射線量が下がったり除染作業が進んだりしたことなどが要因とみているようだ。 双葉町もはやく除染してくれたら、もどれるようにしてもらいたいものです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1598	近所とのコミュニケーション 情報提供	朝5時起きして、ちょっと薄暗かったけど、散歩してきました。白い小さな犬を連れて散歩していたおじいさんにあって、おはようございますと言ったら、何の返事もなかったです。 双葉支所からの「広報紙在中」おくってきました。 ・町民と議会の懇談会の開催について ・財物賠償の説明会 ・暮らしのサポート通信 } 感謝しながら目をとおしました ・福島民報新聞	ノート
1599	震災の事	あの時を思い出したので書きました。 福島第一原発は、津波により電源喪失となり、12日には1号機水素爆発したので、友人の車で町を脱出しました。 その後、14日に3号機が水素爆発、15日に早朝に2号機で爆発、最大量の放射性物質が放出されることとなり、飯館村のほうまで危機がせまったのであんなに遠くまで汚染されるなんておもいませんでした。穏やかな風によって原発から北西に向かう風によって村にまで到来したなんて信じられませんでした。14日、15日の情報は後日になってから知りびっくりしました。12日の事を思うと本当に恐ろしいことになったことを今でも思い出します。被曝しないで良かったと思います。 外交や経済の問題をしっかりとやってほしいと思うばかりです。テレビを見るたびに思います。	ノート
1600	大熊町教育長	朝日新聞を見ていたら（文字、活字文化推進大賞を受ける、福島県大熊町教育委員会の教育長）と出ていました（〇〇さん68歳）。 毎日10分間の朝の読書を教育長になった10年前、読書の町を掲げ児童生徒が教訓だ、校舎移転後も休まずつづけているとのこと、生徒に興味を持たせ、本をおくり、幼稚園の子供によみきかせ事業にも力をいれた。命の大切さを思うからと立派な教育長さんですね。	ノート
1601	高齢化対策	読売新聞（地球を読む）高齢化対応について ・政府は公的負担をすべて消費税で賄う方針を表明 65歳以上人口に占める割合現在の23%、2060年には40%。国家50年の大計を立ち上げる必要がある。高齢化対応世界の規範にしているが、国民の負担には日本の将来像を考えて経済の成長を図り、国家戦略を立てなければならないと思います。政治家この必要性を説明して国民を説得しなければならないと思います。 ・日立が英原発会社買収 5基前後を建設へ と書いてありました。 同社の原発事業は安定した基盤を確保することになるとありました。	ノート
1602	日々の暮らし	退屈なので、新聞や雑誌、あみもの、書道など1日を繰り返しています。 双葉に住んでいるときは老人会に入りませんかと勧められましたが、入会せず、友人や近所のひとたちとおしゃべりをしていました。 この八木が谷に来てからは、双葉にいたときの友人や弟の家族、元従業員の人達や、親しく付き合っていた人たちと電話や携帯で時々お話しをするのが楽しみにして暮らしています。	ノート
1603	賠償	読売新聞によると東電双葉町1世帯和解へ 生活圏の影響重視 自宅の放射線量が比較的低くても周囲の高線量地域と一体で評価すべきだとの和解案を示し東電も受け入れたことがわかった。 賠償額が減額とされるケースだが全損扱いとなり金額が認められるという。 低線量の住宅全損扱い、国紛争解決センター提示 双葉町の人たち自宅に帰りたいと思っているでしょうね。私も帰りたいです。	ノート
1604	介護	読売新聞に載っていましたのを切り貼りしました。 11月8日号週刊新潮に、介護に優しい町づくり千葉グリーンプラザ園生（2005年平成17年） 高齢者だけの世帯が激増して今は老人介後の時代に入ったが、1人になると介護が必要になってくる、変わる日本の暮らしと町になってきます。 これからの介護の理想形になり介護施設も利用するようになってきましたとのこと。私は88歳となり、ただはつきりしていることは、88年間寝て起きて生きてきた、そのことだけは確かなようである。みんなおめでとうと言ってくれるが、これがおめでたいのか哀しいのかと思うことがあります。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1605	介護施設	介護 ・ベストライフ稲毛 入居〇〇万 月〇〇万 ・ベストライフ大和中央 入居〇〇万 月〇〇万 認知症、ねたきり、介助が必要。 施設見学、入居相談、体験入居 もしかして入居するような場合にと、書いておきました。 一応、株式会社〇〇フリーダイヤル電話（〇〇〇） 午前10:00 午後5:30	ノート
1606	7000人の会議	今日は7000人の復興会議 ワーキンググループ会議in東京のお知らせ がありました。娘の都合により用事ができましたので、出席できず 残念思っております。1人では東京までは無理です。欠席しました ので、申し訳なく思っています。	ノート
1607	帰還について	読売新聞 大熊町へ戻らない46% 原発避難住民（10代～30代）5割超す 大熊町に戻りたいか 全体 戻りたい11.0% 判断がつかない41.5% 戻らない45.6% 60才以上 16.0% 42.6% 38.9% 40～50代 8.7% 42.5% 48.7% 10～30代 5.0% 39.8% 54.7% ・私としては、あと何年かたって除染されたら自宅に戻りたいと思いま すが、そのころには死んでいるかもしれません。（放射線への不安）	ノート
1608	帰還について	双葉町仮の町で学校再開16年4月方針 住民の帰還を促す と新聞に出てました。 原発を抱える双葉郡の自治体で小中学校再開の目途がついた。学校を再 開することで、仮の町へ住民の帰還を促す考えとのこと。 町の幼稚園～中学3年生の児童生徒の56%県外に避難。県内にいる295 人44%を上回る。町は学校再開が町のまとまりを維持し復興を進める うえで欠かせないと判断した。 川内村は今年の4月から、広野町は学期から、富岡、大熊、浪江、楢葉は 避難先で廃校舎を活用、葛尾は三春に来春から再開を決めたとのこと。 郡内の町村もなかなか大変だなーと思いました。 東電の復興支援がおそれため、町村では色々と苦労しているので、早く なんとかしてもらいたいものです。	ノート
1609	原発再稼働について	よみうり新聞で「原発40年超運転容認も」重田規制委員 安全基準適合 ならと書いてありました。 数年前に建設された比較的新しい炉が40年後に危険な存在になるとは言 い切れないと話、安全基準に適合していれば、40年を超える運転の容認 もありうると認めている。 具体的な作業の開始は来年1月以降の見通し。どちらにしても安全運転を してほしいです。	ノート
1610	東電の再建と賠償	新聞によると「現実的な再建計画に改めよ」 ・東電の再建の道筋が不透明になってきた。東電政府に対し、新たな支 援策を要請するとの発表でした。事故の賠償や廃炉の費用が膨らみ自力 で立ちゆかないと判断した。そんなことから東電を国有化した5兆円まで 立て替え支援策を講じたが、色々考えると、失敗のつけは国民の負担に かかってきて大変だと思う。東電の一層の経営の努力をしてもらいた いものである。 福島県の損害賠償と除染の取り組みを強化して欲しいです。	ノート
1611	3月11日の記憶	11日になると昨年の3月11日を思い出してきます。地震や津波のこと、一 生忘れることはないと思います。 ・川内村は避難伝える無線の村の写真、映像を震災の記憶を資料館に開 設し、事故の記憶を伝える活動を続けている。事故に翻弄された村のこ とを忘れてほしいから。	ノート
1612	原発ゼロ	・社説 原発ゼロでは反省に値しない 30年代に原発稼働ゼロを目指す方針を盛り込むようだが、代替エネ ルギーを一体どうするのか？現実をふまえた事実作りを問われている。	ノート
1613	衆院解散	衆院きょう解散 ・5増5減成立へ 特例公債も 民主離党7人に ・安倍総裁デフレ克服 ・政策総動員 ・原発は再稼働 できるだけ、早く安定した生活を望んでいます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1614	復興住宅	復興住宅建設遅れ 仮設期限14年度末 4割間に合わず。 復興住宅の整備状況 福島県 計画戸数 3019 着工戸数 90 団地取得戸数 1023 他県にくらべ、福島県が一番おけているのはどうしたのかーと思いま した。 福島県内で現段階で約3000戸の建設が計画されて同県の建築住宅課 は、原発事故ひなんによる避難者分を含めると最終的には7000から 7500戸に増えるの見込んでいる。	ノート
1615	選挙 区域再編	・衆院選 双葉町に助っ人 不在者投票 加須市職員派遣へ とあり 各地で避難を続けている6959人の行政サービスや復興関連業務に追 われている。職員のみなさんご苦労さまです。 ・浪江町の再編案決まる。線量別3区域。帰還は5年以上かかると主 張。 双葉は何年かかるのか、その頃、私は他界ですね。	ノート
1616	政治	維新校約に地方共有税 骨太案消費税衣替え念願 原発稼働容認とあり、私は反対です。 ・地方共有税は消費税と衣替えをして導入をはかるもので、私は反対で す。 ・民、自、党首討論へ安倍代表応じる意向（29日の開催） ・TPPについてももっと詳しく説明が欲しいと私は思います	ノート
1617	政党と脱原発	未来の党100人規模擁立へ 公約、子供手当年31万2000円公約原案 原案としては、卒原発については（もんじゅ）や高速増殖炉や使用済み 核燃料再処理工場の廃止なども盛り込んだ 子育て応援券で対応するとしている時26000円 内容としては、子 どもを持つ母親にすれば、ありがたいとおもうが、はたして不況なのに できるかしらと私は思います。 苦い経験から原発は無い方が良くと思うが、長い目でみてみると爆発な どなければ利用は十分にあると思うこともありました。	ノート
1618	区域見直し	・双葉支所から、放射線測定器届き、早々届いたとの返事をだしまし た。ありがとうございました。 大熊町、避難区域再編へ 来月10日住民95%帰還困難区域 役場は会津若松市に移転する。 帰還まで、5年以上かかる、帰還困難区域に含まれる見通しだ。中屋敷 は除染などが進んだあとに解除される。天沢はもっと高く、町内には多 くの家畜が放置されておるとのこと ・町村会長辞任を双葉町長に要求 会長としてふさわしくないとのこと7町村長から辞任を求められること をきめたとありました。町長さんも色々ご苦労さまでした。	ノート
1619	政治	月日のたつのは早いことで、もう12月になりました。 30日に党首討論がありました。わたしとしてははやく景気回復をやっ てほしいと願っています。また、消費税は増税はもう少し景気がよく なってきてからにしてほしいと思います。昨日の討論会では、増税反対 具体論出ずでした。 米上院（尖閣に安保適用）全会一致で中国をけん制しましたので、 ちょっと安心しました。我が国の領土なのに、中国は自国の領土のよう にふるまうので。 ・11党首原発で論戦しました。	ノート
1620	選挙	昨日は双葉支所より選挙管理委員会から選挙についての書類が届きまし た。 私としては、腰痛で腰も曲がり杖をたよりに歩行しているが、長く歩くと 苦痛となり、選挙の投票に行くのはちょっと無理なので投票はあきら めることにしました。	ノート
1621	政治	保険改革冷めた議論 財源サービス 具体策見えず（医療・介護）  デフレ脱却に処方箋を示してほしい。こりゃダメだとならないように、 努力してほしい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1622	マイノート	<p>双葉支所からマイノートに関する書類が届きました。支所から書類が届くたびに、町長さんはじめ職員のみなさんが毎日毎日お忙しくすごしておられるとのこと本当にご苦労さまでございます。</p> <p>お世話になっております事、ありがたく、いつも書類が届くたびに感謝してきました。心からお礼を申し上げておりました。色々と情報をいただきありがとうございます。</p> <p>娘のところに世話になっておりますので、よく世話してくれますので、何不自由なく暮らしております。月に一度、近くの内科のクリニックに診さつをしていただき、尿検査、血液検査、などで体に異常がないとのことので元気に暮らしてきました。</p> <p>6年前から腰痛で腰は曲がり、杖をたよりに歩行した生活ですので88歳ともなれば、このような姿になるのは仕方ないとおもっていますが、何とか元気で暮らしておりますので、あといくばくもない人生ですので、残る人生を有意義に過ごせるようにと思ひながら生活しております。</p> <p>マイノートの件ですが、日記帳のようになってしまいましたが、こころぐるしく思っております。</p>	ノート
1623	暮らし	<p>朝、テレビを見ていたら新潟地方雪が降っていました。喜多方の〇〇さんから昨日雪が降っているのとの電話があり、また、弟の住んでいる二本松も雪とのこと、これから雪の多い地方で暮らすのは大変なことですね。私は千葉に来て住んでいますので、双葉みれば、あたたかくて助かります。</p>	ノート
1624	原発再稼働	<p>・敦賀再稼働認めず 規制委員長、直下に活断層濃厚とあり、東電のようになつたら困りますので、私も再稼働は賛成できません。</p>	ノート
1625	原発、除染、廃炉	<p>・政権 維新か 交代か 最多12党に審判 ・廃炉、除染にIAEA調査団 福島閣僚会議声明 燃料が溶融した原発の廃炉や除染作業について、広範囲にわたってIAEAの専門家による調査団に現状をみてもらう。 各国の協力を改めて求めたと書いてありました。 ・腰痛のため、歩くのが苦痛でしたので、投票には行きませんでした。</p>	ノート
1626	景気対策と福島の再生	<p>・物価上昇2%目標要請 下落する物価を上昇させる手法としては、有効かどうかは意見がわかれるようですが、私としては、物価は上がらないのがよいと思いますが、どうなることが心配です。 ・自公大型補正で一致（党中会談で）景気対策のため。 ・東日本大震災の被災地復興と原発事故に苦しむ福島県の再生に向け、具体的な対策を講じる。大いにやって下さいと申し上げたい。</p>	ノート
1627	原発の新設	<p>・朝、雨がふっていたので、室内を何回も歩く練習をしました。 ・対韓修復で中国けん制 特使派遣 竹島提訴も慎重に検討とあり。外交問題をもめないようにしてほしいと願っています。 ・原発新設、凍結、見直し（安倍代表） ・全体的に全国においてどう考えていくか、大方針の中で新設についてどう考えるのか、これらを検討していきたいと語った。が、私としては、原発新設については反対です。 ・根本匠議員、福島県選出 復興相とのこと。</p>	ノート
1628	安倍政権 エネルギー政策	<p>安倍政権に望むこと 東電の事故を起こした当事国として、原発をやめる選択をするのか乗り越えるのか、その分岐点にさしかかっている。 電力は暮らしと産業を支える血液に相当することは私だつてわかっています。これからどういう風に話がきまるのか、エネルギー政策について、慎重に判断してもらいたいと思います。原発の近くの町村民のみなさんの考えだと思います。 午後、住民意向調査ご協力をお願い 調査票を提出すること</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1629	政治	<p>安倍内閣経済を重視 財務、金融 麻生氏、経産 茂木氏、あす発足 福島県出身の根本匠は復興とのこと 地震で被害を受けた東北地方のことをしっかりとやってほしいと思います。 福島県の浜通り地方をお願いしたいと思います。</p> <p>双葉の自宅は被害もなく、町に帰宅できるようになったとき、すぐに住むことができるので、その日を待っています。 ペットボトル入れの袋を編んだ 双葉支所から生活物資宅配便で送ってくれました。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。 年賀状を出しました。 民主党代表 海江田氏となる。</p>	ノート
1630	安倍内閣 東北の復興	<p>安倍内閣発足 自公 経済、復興を最優先とあり 早く東北地方の復興に力を入れてほしいです。 復興、原発事故再生の根本匠さん、福島2区出身ですので、早く復興出来るようにお願いしたいとねがっています。 政治とはだれのためか、何のためか、もちろん、国民の幸せのためでなければなりませんので、景気対策、教育、外交の立て直しです。</p>	ノート
1631	復興相	<p>福島から復興相 根本さん現場の声あげる 現場の声を吸い上げたいと意欲を語った 根本さんは落選中、震災と原発事故発生直後の11年3月20日から今年の11月まで、地元郡山市の防災対策アドバイザーを無報酬で引き受け、元建設官僚の経験をもとに省庁との折衝で市にアドバイスをした。単なる防災だけではなく、総合的な戦略を進める必要があるとして、除染や農業風評被害対策なども盛り込んだ対策を提言したこともであると新聞に書いてありました。 現場の声を吸い上げ各省庁を動かすのが復興庁の役割だと申ししていました。</p>	ノート
1632	暮らし	<p>東京での復興会議がありましたが、私1人で出席できず、娘の都合もあって、欠席しましたので、申し訳なく思っています。 マイノート持参とありましたが、私は1回も出席しなかったもので、不備の点はお許しください。年齢も88歳ですが、今のところ、ボケてないし、体に異常ありませんので、元気に暮らしており、娘の家に世話になっていますが、家族がよくしてくれていますので、幸せで有りがたいと思って生活しておりますので、御体心下さい。 双葉支所の職員の方々には、大変お世話になりありがとうございました。</p>	ノート
1633	復興、ふるさとへの思い	<p>私は88歳の高齢ですが、生まれた時は双葉町の〇〇で、双葉町を離れたのは女学校時代、双葉から相馬に通学は大変だったので、寮宿舎で暮らし、戦争中は、東京の学校で3年半、双葉を離れましたので、それだけで後はずっと双葉町の住民として暮らしてきましたので、高齢ですので、死亡する前に双葉町の自宅で住んでみたいと思っております。 双葉町に住める状態にしてほしいのです。今のところ元気な暮らしをしておりますので、1人でくらしも何とかやってゆけると考えております。自宅はどこも被害がなく、住める状態ですので、いつもそのような事を考えながらの生活です。</p>	ノート
1651	生活・環境	<p>現在私は、会津若松市に住んでいます。 冬の雪の多さ、夏の盆地地形により、気温が高く暑く、生活しにくい。 双葉では一年を通して住みやすかった。</p>	ノート
1655	現在の人付き合い	<p>仮設住宅に住んでいるが、他町といっしょの自治会である為、個性の強いに会長であり、ふんいきが良くなく、早くおだやかな生活がしたい。</p>	ノート
1660	一時帰宅について	<p>自宅に帰るたび荒れはて、せいたかあわだち草のアーケードをくぐりぬけると、イノシシが畑に大きな穴をほり、あわだち草をたおし草が平になっているのにガッカリした。 家に入るとネズミのフンが大量にあり、もう双葉には帰ってこれないという思いを強くしています。</p>	ノート
1663	震災時のペット保護について	<p>震災後、町としてペットの保護に手をさしのべてほしかった。 精神的にやすらぐペットは家族でしたので。</p>	ノート
1668	趣味のできる場所、環境があるように	<p>習い事が老後の生きがいでした。 パッチワーク教室、相込人形教室、歴史探訪。 また復活しなければ、体力と精神力がすっかりなくなり本当の老人になってしまうのではと思う。</p>	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1670	双葉町に戻って住めるためには	除染によって1ミリシーベルト以下になり、家を建て替え、インフラを整備し、生活環境の整った町にしなければ戻れない。何年かかる？ 我が家は、 5巡目の一時立入りから「ねずみ」の被害がすごい！！ 6巡目の一時立入りでは「たぬきの親子」が住んでいた。 前の畑は「イノシシ」が畑の真中をゴロンゴロンしたのだろう、セイタカアワダチ草がグシャグシャに倒されていた。 双葉町役場の近くでこの様な環境になってしまっている。 双葉町に住めるようになるとは思えない一時立入りでした。	ノート
1673	賠償はどうなる	生活の再建もままならない。 ADRは進まず、土地・家屋の賠償、個人事業主の家屋・土地の賠償について、ADRを利用している人には、東電からの請求書が来ない。 一切をADRを通すようになると、東電社員から説明を受けた。 過失0%の被害者が自分の家屋・土地を直接請求したいと思っても、精神的賠償をADRを通したら、あとは直接請求の道を閉ざしてしまうやり方はやめさせて！！土地・家屋の賠償も選択肢をとらせるべきだ。 どこに申し出たら良いのか。	ノート
1683	避難生活について	賠償を早く進めてほしい。住宅ローンもなるし、母子家庭の娘はたいへんです。私達は土地を仮の町にするとされればそこでいいから。借上げ住宅アパートに住んでいますけれども一日も話する事もなく過ぎていく。	ノート
1688	避難から今までの思い	私達は川俣から14日朝、〇〇の民宿へ5日間、それで東海村の方へ10日間家族12名でいましたが、実家の方は〇〇へ、私達はやっと〇〇病院から主人が〇〇病院に運ばれたと相模原へいる娘からTELがありました。病院に行く事にしたのが3月末です。娘達は須賀川に移動していて、アパートに一部屋があると言うので、主人の所へ行く時よって部屋を見て、主人の面会をして手続きをし、3月31日に須賀川へ移りました。4月いっぱいアパートにいましたが、学校がはじまるのでサテライトは福島商業になっているので、5月7日にアパートを見つけて福島市に移り今になっています。何も持たない何も無い、本当に困りました。でも友達がいろいろ助けてくれました。本当にありがたいです。 でも、双葉の役場の人は、私達は自分で生活出来るから役場から出たのだと言われました。その時の気持ちは今でも忘れないです。町長は職員にこう答えるように言っているのかと思いました。主人は6月〇日に亡くなりました。その時も同じ思いをしました。「〇〇ですけれども主人が亡くなりました」と言うのと、「あ～そう」とだけの答えでした。同じ双葉町民なのにそれだけですかと聞きました。犬の子や猫の子でないのにと思い悲しくなった事、今でも忘れないです。 加須市にいる人達は仮設や借上げにいる人は双葉の町民でないと思っ ているみたいですね。私達特に借上げにいる人は、町から見すてられた と思っています。	ノート
1693	賠償補償	幾度となく言われていることだが、スピード感がない。 進まない原因がどこにあるのか、追求の上改善策を積極的にこうじるべき。加害者は一体だれなのかを考えてほしい。	ノート
1696	一時帰宅	町道、県道に雑草がおおいかぶさっていて、車に傷が付く。 除草をお願いしたい。 1年後には道が見えなくなりそうです。	ノート
1698	公平・公正	区域再編されてもなお一律補償を担保すべき。	ノート
1699	現在の生活について	米寿を目前に頭の中には何もよみがえって来ません。 今は下野市にとけこんではいっております。少ない余命を送っております。	ノート
1708	賠償を進め双葉町は解散	賠償を進め早く安定した暮らしにしたい。町は財源を町民に分配し、解散するしかないのではないのか。職員は各々希望する希望する自治体に再就職できるようにすればよい。	ノート
1710	町に対する不満	双葉町はすべてにおいて遅れている。賠償は早急に進めるべき。高齢者は先がない。生きていく間に少しでも安心した生活がしたい。その為にも生活費（賠償）が必要なのである。町民は井戸川町長の私物ではない。議会との話し合いもなく勝手なこと無責任なことをするな！！長に値しないものはすぐに辞めるべきである。いつまで町政をもて遊ぶのか！！町長に苦言を呈する者はいないのか？副町長は不在か！？課長の中に肝の座った奴はいないのか！！福島県内と埼玉との温度差があり過ぎだ！！	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1721	ちょっと気づいたこと	今朝テレビを見て気づいたことですが、東京でクリスマスツリーに450本のケヤキの木に（50万個）の電球をつけている所を見ました。それがそこ1ヶ所でないでしょ、まだたくさんあるようです。私達をバカにしているじゃ有りませんか。避難民は個々どんな気持ちで過ごしているのかと思うとくやしくなりました。涙が出ました。都会の人達はなにか忘れてはいませんか。東電の電力も流れていることを。私達は1燈の電球も使っていないと言うのに。	ノート
1725	避難先での生活	今避難生活でみんなバラバラになってしまい、以前よく会っていた人とも会えなくなりました。友人も近くにいないので遊び歩くこともなく、1日1回も外に出ず過ごすことが多くなりました。今は働いていますが、人間関係も微妙、浅くのつきあいです。意外と避難者には冷たく、「どうせ金もってるんでしょ」と普通に言われる日々です。友人と話してましたが、周りの目を気にして生活しているみたいです。	ノート
1726	最後は双葉町で	祖母の口ぐせは「仮設では死にたくない」です。本当はもう年だし、最後は双葉の自宅で、との気持ちだと思っています。あと5年6年そこまで生きれるかもわかりません。でも祖母と同じ気持ちでいる人が他にもいると思います。無理だとは頭で分かっていますが最後は自宅から送りたい気持ちでいます。	ノート
1727	復興住宅はできますか？	今は借りあげ住宅に住んでいます。先が見えない今、いっそ家を建ててしまおうか悩んでしまいます。でも実際、双葉人じゃなくなるって思うと、何とも言えない感情が出てきて、思いとどまってしまっています。今後も双葉住民でいれる方法を考えていただきたいです。	ノート
1728	物資支援に感謝	先日、物資が届きました。本当にありがとうございます。モチとか米とか、これで正月って気になりました。せめて正月くらいは正月気分を味わいたいです（仕事ですが）。届いた物を見ながら、ぞう煮にしようか、とか色々考えて楽しくなりました。	ノート
1732	長男家族との離れた生活	事故前は、家のすぐそばに長男が家を建て毎日孫の顔を見れたが、今はお互い「いわき」で生活しているが「小名浜」と「泉」で車でないと会えない。歩いていける範囲で空いているアパートはないものかと今だに探しているが、なかなか見つからない。借上げにしてくれない大家さんが増えていて、よけい見つけにくい。  10年後にでも双葉に帰れるんだったら、とりあえず私と夫だけでも帰ろうかと思うが、事故前みたいに歩いて行ける範囲で、病院、駅、役場、銀行、郵便局、お店などができるんだらうかと心配である。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1733	町長と復興会議に対する意見	<p>はじめに提案させていただきたいのは、町長の姿勢であります。昨年3月11日以降の町長の発言を見聞きすると執行者としての発信力が感じられない、常に言い訳だけである。メディアに向かってよく町長は町民の意見を聞きながらと言われますが、どこで誰に聞いているのか、聞く気なのかわからない？</p> <p>また、町長はよく双葉町民を日本国民、県民と思っていますか？との質問をいたしますが、まずその前に私から言わせていただくと町長こそ（町長は私たちを双葉町民と思っていますか？）という問いかけをしてみたい。なぜなら、町長が言う年1ミリシーベルトなるまで帰らないと言ったら帰町など私の代にはあり得ないことであり双葉町を崩壊することになる。自分の視野の範囲のみの発言であり、町民の意見を聞いているとは思えない。そこで、まず長として取り組むことは早期の線引き、町民の補償賠償をいかに良くするかと、町民が次に踏み出すための後押しであり、町民の意見、希望に真摯に耳を傾けることが大切である。今は町民の財政再建など二の次であるべきである。</p> <p>よって、この復興会議も私と同じく帰町困難との考えに変化している人たちがかなり増えていると思われるので、町民がどれくらい帰町の意志があるかまた仮の街を必要としているのかをもう一度チェックしなおしてやり直すべきである。それが無駄を省くことになると思う。また、双葉町の復興会議であるからには、会議の長は双葉町をよく熟知した方が就くべきであり丸投げは良くないと思う。今の外部の人たちはあくまでもオブザーバーであるべきである。</p> <p>最後に、私が必ず実行してほしいのは、2011年3月11日に双葉町にいて被災した人は、日本中全国どここの所在地に移っても元双葉町民としての証明がなされる証明書を発行してほしい、これが次のステップに踏み出す最良の策であると思われる。</p>	ノート
1748	賠償について	<p>原発事故による被災者の損害賠償で直接東電に請求した場合と弁護士を介して請求した場合、どこか平等に扱っていないように見られる。個々人の事情は異なるので一概には語ることは出来ませんが、先取勝とならないように東電に申し入れして欲しい。</p>	ノート
1760	仮設住宅生活の苦勞	<p>仮設に入って隣り同士の声がきこえたり家族の話がきこえるなど、色々なめんどで不便みたいです。</p> <p>話を聞くと、おばあちゃんの耳がとおくて、大きな声で言葉を交わしたりすると、いじめているとか。かげ口をきかれそこにいれなくなったりして。人間関係がむずかしくなったり、おちこんでいく人もいます。できれば広い所でみんな仲良く住めたらいいと思います。</p>	ノート
1767	支援物資へのお礼	<p>支援物資（食料品）届きました。ありがとうございました。</p>	ノート
1783	支援の不公平感	<p>借上げ住宅には仮設のような手厚い補助もなく、援助物資も時たま配送されるだけで、不公平感がいなめない。</p>	ノート
1797	復興策定の方向性 その1	<p>各人、各業への賠償の早期解決。</p>	ノート
1803	賠償の後押しを要望	<p>生活上の賠償が進んでいません。1年9カ月となる現在経済的に支障をきたしてきています。東電への後押しを進めてほしい。</p>	ノート
1805	県内外避難者の不公平感	<p>避難先はそれぞれの事情から県外と県内に分かれていったものであり、県外避難者の場合の住宅借上げ家賃が自己負担されている現状からみて、県内避難者との不公平感が考えられます。</p>	ノート
1811	県内外避難者の不公平感	<p>県内に避難している人達に比べ、私のように県外にいる物は殆ど支援など受ける機会がない。それなのに、先日こんなことを耳にした。「原発より賠償金をもらい、仮設住宅に住み、お金がかからないので旅行ばかりしている人達がいるけど、おたくもそうか？」と…。びっくり。確かにそういう人達もいるだろうと感じてはいたけれど、この差は何？「ならば県内に戻ればいいんじゃない」と言われてお終りだろうな。</p>	ノート
1812	自分死に場所を悔やむ	<p>家族の仲が深まった所も有れば、逆にバラバラになってしまった家族もいるというのに…。</p> <p>どちらにせよ、お先が短い年寄りにとって胸を張って言えるのは、もう二度と自分の家の畳の家で死ねないと言う事。</p>	ノート
1818	避難生活が大変	<p>土にふれる事も出来ない。双葉に住んでいた時は自然があたりまえにあった。空気もきれいだった。</p> <p>何をやるにもきゅうくつだ。風呂もガスなのですぐさめてしまい、双葉の薪の風呂に入りたい。</p>	ノート
1820	避難生活の辛さ	<p>家族がバラバラ 心もバラバラ 1人でアパートさびしい さびしいです</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1824	お金	<p>上段に「大切なのはお金なんかじゃなく～」とは書いたものの、やっぱり毎日困っているお金問題。東電のお金もいくら本当に必要で購入せざるをえなかったものでさえ、あの方たちの判断で、ものすごく少額しかしかもらえなかった。多分これからもそうだろうなど、とても悲しくなる。</p> <p>私はいくら〇〇勤めとは言え、〇〇である。悲しいくらいもらえない。貯金なんかできるはずもない。</p> <p>でも私だって結婚し、家庭をもつ。本当は双葉で育てたかったけど。お金って、人を喜ばせるけど悲しくもさせる。</p>	ノート
1825	お金②	<p>どこの家でも、”どこに家をかまえるか”は話題にあがっているかもしれない。もちろん我が家もそうである。</p> <p>建てるお金がない。どうすればいいのか。</p> <p>今生活するだけで精一杯。</p> <p>自分が〇〇という安定しない職業であるのも一因だろうけど、双葉に家がある（あった）から、こんな大きな悩みに発展することもなかった。</p> <p>なんでこんなことに困らなくてはならなくなったのか。</p>	ノート
1826	ばあちゃん	<p>祖父〇〇が他界し、祖母は元気がなくなった。現在仮設にてお世話になっているが、骨折したり、胸が苦しくなることもあるらしく、心配である。時々顔を見にいくととても喜んでくれる。それは生前じいちゃんが喜んで迎えてくれたことを思い出させる。</p> <p>ばあちゃんはいつも、「厚生病院みたいにいける所があれば」とか口に出す。不安なのは、自分が困ったときどうすればよいかだと言う。ばあちゃんは性格上、人の多いところ、あつまるところなどに足を運べない。だから人知れずばあちゃんのように一人で悩み苦しんでいる人が、実は多くいるのかもしれない。かわいそすぎる。</p>	ノート
1828	仮設と借上げ	<p>仕事のため、借上げアパートでの生活をしている。</p> <p>よく聞こえる残念な話。「仮設や埼玉はたくさんモノをもらってる」</p> <p>なぜ違いが生じるのか？</p> <p>なぜ平等にできないのか？</p> <p>理由を聞きたい。もらえる人ともらえない人。</p> <p>こういう小さなコトからも、不信任は生まれてくる。</p> <p>配るなら、借上げの人にも声をかけるべき。</p> <p>同じ双葉に住んでいた、仲間ではないか。</p>	ノート
1830	心	<p>ずっと気を張っているからだろう。</p> <p>元気だよと振る舞い、みんなを安心させたかったのだろう。</p> <p>でも私の心は少しずつ異常信号を出し続けていた。</p> <p>震災があったし、みんなつらいのは同じ。</p> <p>でも最近の私は今までの私と極端に違う。</p> <p>人とかかわることを億劫に思うようになった。</p> <p>最近仕事でも人との距離が生じ始めた。</p> <p>こんな気持ちのとき、きまって思い出すのは〇〇の家と窓からの風景と、大事なペットたちのこと。</p> <p>今はあまりにも違いすぎて、泣けてくる。</p>	ノート
1837	私自身	<p>前の勤務先で津波を見て…2011年〇月に〇〇に戻ったが避難所めぐり。〇月から〇〇勤務。今年からは〇〇に。</p> <p>元気にやってきた。たくさん感謝を持って。</p> <p>私よりつらい人、頑張ってる人がいる。まだやれると奮い立たせながら。</p> <p>しかしはじめて自分が疲れてSOSを出していたんだと気づかされた。笑うことができなくなっていた。</p> <p>必要のない人間だと思うようになった。</p> <p>でも、3/11に「〇〇生きてよかった」と、家族やたくさんの友達から私の生存を喜ぶ声をもらった。</p> <p>それが私の支えになってる。</p>	ノート
1838	把握してるのか？	<p>私のように、心に苦しむ町民が多いはず。</p> <p>職業柄上、よくわかるけれど、苦しんでる人って表に出さないし、出せない。よくわかる。</p> <p>だから苦しんでる人の負担をやわらげる策を練らなければ。</p> <p>話をきく、顔をみに行く、etc</p> <p>今、仕事に行くだけでも精一杯の私だから言える。</p> <p>たまにでいいから、こういうのしてくれと。</p> <p>引きこもったり自殺とか考えたら大変だから。</p> <p>特にお年より、退職した人、など。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1842	ちがうのに	<p>「双葉（郡）の人間は、金もらって豪遊してる」 「あいつらたくさんもらってるんだから、出ていけ」</p> <p>シャワーのように降りそそぐ、非難の声。 なんで一部の人間のことを、話広げて「みんな」にするのかなー。</p> <p>『私たち、豪遊なんかできないし、必死に生きてるんですけど！！』</p> <p>でもこういう声って、マスコミでもとりあげないよね。 だれか本当のことを伝えていこうよ。</p>	ノート
1846	取材	<p>〇〇勤務になってから、多くの取材に驚く。 他県が昨年から連載していたり、ラジオ、TV。なにかある度そこには取材の人々。 「双葉郡〇〇は再開した。」そういうメッセージを伝えたいのか。</p> <p>ふつうに〇〇を行ってるだけなのに、今はそれをやるのがnewsになる。</p> <p>ふしぎな気持ちだし、悲しい。 双葉郡〇〇の再開を喜ぶ自分と、双葉の現実沈む自分。 いつも自分は2人…。</p>	ノート
1848	2学期終業式	<p>終業式。TV、新聞取材…見慣れた。 全校でのランチタイムの時、学年の子供たちから Christmas card をもらった。涙が出そうになった。 ランチは、よく見ると追跡取材の新聞記者、すばらしい絵画をプレゼントしてくださった画家さんも一緒だった。</p> <p>一緒にいれば、もう仲間。</p> <p>あたたかい時間でうっとりした。 でも〇〇で、これやりたいな。 そう思った。</p>	ノート
1850	Happy Christmas	<p>クリスマス…大切なひとを想いうかべる日でもある。 そんな日が震災以降、より深い意味を持つ日になった。 いや、原発で帰れないから余計にいろんなひとを想いうかべる。</p> <p>うちのかわいいペットたち…。天国へ行っちゃった。まだどこかで生きてるのかも。 地元のみんな…。またあのばしょでお話したいね。 双葉町…。人、もの、自然、少ないけど大好きよ。 そして一緒に家族…。あなたたちと生きる幸せ、毎日かみしめているよ！</p> <p>みんなみんなにMerry Christmas！</p>	ノート
1851	現在の生活について	<p>今まで働いて住みなれてきた生活が夢のような気がする。 身体に楽ばかりで何もする事なくむなし生活ぶりです。 9月〇日は一度も行ったことのない一時帰宅だ。 どこもかしこも荒れはてた景色を見ながら家路に。途中お墓によりお参りをする。</p>	ノート
1852	一時帰宅について	<p>すべての石碑が倒されてた。直すことも出来ずお参りするだけで帰宅する。 室内の掃除。よごれたところをふく。 ねずみが入ってちらかしてた。 2時間でという限られた事で冬物の衣類など袋につめた。 もっと時間がほしいと思います。</p>	ノート
1853	気分転換	<p>困ったことばかりではなく、福島旅行で稲荷神社をお参りし、JAのり菜あんにより、桃、りんごの果物や昼食を取る。 午後はヤクルト工場の説明を受け、ありとあらゆるオートメーションにおどろく。人件費の節約には感動させられる。</p>	ノート
1869	東電による補償	<p>双葉町の地価と新たな土地の地価の差額を国、東電に補償していただきたい。</p>	ノート
1870	高速道路無料化	<p>高速道路の無料化を継続してほしい。</p>	ノート
1871	賠償問題の早期解決	<p>賠償が進まない内は生活設計ができない。</p>	ノート
1873	家族ばらばらの生活	<p>家族が分離して、いつまでもこの様な生活が続いたらと思うと不安。 職場も失い、年齢的に働けるとしたら、土、日曜日勤務の職場。 夫が一週間働いてストレスで疲れて帰ってくる日なので、借上げ住宅に居てあげて、日常普通の生活に近い生活をさせてやりたい為働けない。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1874	家族ばらばらの生活	学生は友達もでき、他の学校には転校したくないと言っています。小さいながらも放射能の事も考えているの？ そのような家族を置いていけないので、夫は単身で福島に。（今まで料理等したことがなかったのに、俺が我慢して一人で頑張ると言ってる。頭の下がる思いです。） 早く家族、親戚、町民が近くで住める様に意見を集約して計画を進めてほしい。	ノート
1875	双葉町の補修整備	一時帰宅に行つて思った事。 家、お墓の周りが草伸び放題で入っていけない。 除草をやっていただきたい。（ねずみのすになっている） 屋根修理もこれからも続けてほしい。	ノート
1876	避難者の自立が大事	旧騎西高校をいつまでも残している事で、町民全員が自立しようとする気力を持ってないでいると思う。 障害者も、頑張つて自立している方も実際にいる事も、騎西で過ごしている方に理解してほしい。 いつまでも甘えてばかりはいられない。 自分の力で生きていかなければいけない。 その中で人の力を借りながら協力していけば、自然と周りの方と仲良くなっていくのではないのでしょうか？！	ノート
1885	避難時の状況	双葉町民の一部の方が何百kmも離れた埼玉県に移動される事をNHKで知りました。 その大移動のバスの車窓から見受けられた何人かの方の不安そうな、そして心配顔が見られて何か胸に迫るものがありました。	ノート
1886	埼玉への避難について	何で県外でなければならぬのか？ 県内でも早く手を打てばどこかは見つかるのではなかったのではないのか。全然知らない町、人と考えると私もその立場になったら心配、不安でどうしようもないだろうと思いました。 未だそこで暮らしてる方もおられるし、一日も早くいわき市の移転先が決まれば…と考えております。	ノート
1887	避難時の状況	私の家族は息子のワゴン車に乗り込んであの巨大地震直後葛尾に避難しました。一晚寝たけれど次の日には葛尾も30km圏内でダメというという事で、その後会津坂下に避難しました。 私の場合は透析というのが付いてまわるので、その病院を見つける事から始めなければなりません。	ノート
1893	H23年4月～H24年10月頃まで	仕事で時間がなく読めない字ですみません。 周囲に知人が少なく、震災後、仕事場所等が決まってから不安な日々が続き、家に帰りたく何度もなりました。さびしい思いをわかってくれる人は周囲にはいませんでした。	ノート
1894	H24年11月頃	少しずつ日々の生活に慣れてきて、まったく元の日常に戻る事を考えるようになったら、危険な事（原発）や、町民、隣町等の人々がいなければ、仕事が成り立たないと思い無理だと感じました。	ノート
1895	H24年12月頃	来年に向けて未来を考えるようになり、新しい生活を考えるようになりました。今の生活を満足するようにながらんでいます。	ノート
1896	H25年1月	仕事相手も増えて来て、新しい生活を希望する事にしました。	ノート
1903	避難所に対して	テレビに町長や騎西の人たちが映って、あたかも自分たちの意見が双葉町民全体の意見だというように話しているのを見ると、腹が立って仕方がありません。	ノート
1904	避難所に対して	だいたい、いつまで避難所暮らしを続けるつもりですか？ 地震や津波であれだけの被害を受けた岩手や宮城の人たちでさえ、みんな自立して生活しているというのに…	ノート
1905	それぞれの生活を	あの廃校にいる人たちが双葉町の代表のようにテレビで放送されると、恥ずかしくなります。 居心地がいいのは分かりますが、早く避難所を閉めてそれぞれの生活をスタートして下さい。	ノート
1906	町民に平等な対応を	新しい生活を始めるのはとても大変なことです。ほとんどの双葉町民はそうやって自立して暮らしているんです。みんな平等、条件は同じはずですよ？	ノート
1909	賠償の早期解決	そんな人たちに、これからの事を考えて決断するタイミングを与えてください。賠償を早く済ませて、新しい生活をスタートさせたい人もたくさんいます。 どうか、前に進ませて下さい。 そのためにも、町長の決断力のなさは少々不安です。	ノート
1911	避難所について	いつまで埼玉にいるんだ！ 町民の声を聞く気があるのなら福島に戻るべきだ！	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1916	支援の不平等について	まず第一に日赤他からの支援は品物ではなく、一早く必要なもの現金を少しづつでも良いから町民に配ってもらいたかった。 昨年東電から外町に送って頂きましたが、すでに買いそろえた後で置場所もなく結局は無駄になってしまいました。 聞くところによると加須避難所に現在でもいる方々は食事、生活は避難所へ行き仮設住宅には支援物資を山とおき食事代わりにしているそうではありませんか。また一家で2区画（二家軒分）も借りている方もいる話も聞きます。 町でもよくそういう事を許していますね。 我々は自主、自費で生活しています。	ノート
1917	支援の不平等について	この地は昨年12月に借上げ制度もすでに終わり担当者は福島県や双葉町に相談するようにとのことでしたが、現在借上げ住宅に入っている方などは期間も延長されたと聞きます。 私達のように県外住民にも何かよい支援の方法はないのでしょうか。 宮城県〇〇市の社協の交流サロンに自ら交ぜてもらいたく申し出ました。その時のある会合にて新米を借上げ住宅や仮設にいる方には日赤から配ります。 私たちの分はありません…でした。 そんなみじめな気持ちわかりますでしょうか。指をくわえてみていなさいということはこの年になって目の前で味わった話です。 我々も市の方へ住民登録もしているのにまだまだ色々考える心のゆとりができません。 この街にくるまでに7回の引越しでした。町に、人に慣れるまでにまたまた時間がかかります。自分の家があるのになんでこんな所にと時々考えることがあります。 福島県内にいれば催物、サロン、婦人学級…教室といっぱい参加したいものがあります。もちろん7000人の復興会議にも大いに参加したいのですが不可能です。	ノート
1930	支援物資について	加須にいる方はいち早く自分好の衣服など選んでもらえるとの事を聞きます。我々などはなにも頂いたことありません。 日赤その他からの支援は現金で配れるものは品物でなく現金で平等に分けてもらいたい。余り品物、金品の事で主張すると自分の利益のために…といやな感じがしますが、知らない土地でこんなみじめにひっそりと暮らしている人たちもいるという事に頭において頂きたい。	ノート
1931	心境	いろいろ考えれば考える程、なんでこんな所にこんなことをしているのか気がめいてきます。わかっているけど納得いかなないことがあります。でもこれはこれで1000年に一度の出来事の中に自分が生きていたのだから仕方ないと自分に云い聞かせている次第です。 ここで一句 「枯れ葉まふ 双葉（ふるさと）の実（せんだん）も おちるころかな」	ノート
1935	一時帰宅について	先日第6巡一時帰宅に行ってきました。 枯れ草がのき下までのびていました。我家がだんだんみずぼらしくなっています。 淋しい～対策はないものかな～	ノート
1939	〇〇市について	思い出の品も息子には放射能だから絶対に持ち出すなと云われます。なんと悲しいこと。 この街でも津波からの避難者が大勢いるのに、社協さんの支援で福島県からの私たちにも目を向けてくださり感謝。この気持ちを市長に手紙を書きましたところ、市長から社協長さんに連絡し職員の前で披露して下さったとのこと。〇〇市へ双葉町からは我家の外だれもこの市内にいないとか聞いています。	ノート
1940	11月22日6巡り一時帰宅	「柿の実が 留守宅守り 迎え出る」 「家を建て 柿を植えよと 亡き夫が」 やはり双葉の思いはたち切れません。	ノート
1941	11月22日6巡り一時帰宅	我々が長年住みなれた町 苦勞して子育てをした家 下着を買うこともできず息子を3人教育した家 庭の雑草も、家から一步でたとき目についた一本をとっていた時は雑草など伸びたことはなかった。住んでいないという事は恐ろしく荒れはてるものだ。非常にながかりした。	ノート



no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1942	今までの避難について	東京に2カ月避難していた時のこと、私たちは心さびしいやりきれぬ思いで姉宅に身を小さくして世話になっている。 そんな時車内の若者はズボンや腰の下まで下げ茶髪の女の子とじゃれ合ってちゃらちゃらして歩いている。なんだこれは！！ 突然着の身着たままとるものもとらず、サンダル、エプロンかけで家を出た私たちの様な経験をした人でないと理解してはもらえないと思います。 関東地方で使う電気を双葉でつくりその犠牲になる。納得はいかぬが仕方ない。	ノート
1944	日々の想い	「初雪や 双葉（ふるさと）の住（いえ）を 思い出し」	ノート
1945	日々の想い	「スーパーで 客の中から 友をさがす」 （人ごみの中には知人友人はいないものかと）	ノート
1946	日々の想い	「駐車場 いわきNO. なつかしむ」	ノート
1947	今までの避難について	話は後先になります。 昨年埼玉県〇〇市に10ヶ月程空家をかりることができ住みました。 市住民福祉方を訪ねたところ、とても親切に対応してくれ、心救われました。〇〇課長さんでした。 〇〇市のイベントコンサート、西武球場観戦等数えきれないほどの招き、市からも支援も頂きうれしかったです。 民生委員も訪ねて来てくれました。私もその委員の活動は現在できないが、話がはずみました。	ノート
1948	人の親切、心に残る話	また去年3月から3週間東京〇〇姉宅に息子家族3人と私計4人で世話になりました。めい、おいも親切にしてくれました。 人の恩は生涯忘れることはできません。 また、預金通帳も無いので、近くの〇〇郵便局に行き再発行を依頼。 また、被災証明を町から出してもらおうべく家族3名を入れてFAXにて役場に送る際、どうしても行き先に届かず郵便局に行ってお願をしました。 局長さんが一日つきっきりでやってくださり、一日のおわりにやっと町へFAXできました。誰にもできない忙しい方が私の願いをはたして下さったことも生涯忘れられません。	ノート
1949	人の親切、心に残る話	〇〇市に移り生活が少し落ちついてきたとき世話になった方々の安否を心配してくれた方々へ便りをだそう。住所（分かっている方だけにも）と思い礼状を書いたのですが今度は郵便番号がわからない。〇〇郵便局に訪ねたが「ありません」というだけ。とほうにくれて〇〇郵便局に問い合わせたところ、みつけてすぐ送り下さりうれしく涙がでました。 状況の折はお茶菓子を持ってお礼にいきました。それからずっと職員一同さんと仲良しになり便りやりとりや保険が満期になり再加入などおつき合ひさせてもらっています。人のつながり、うれしいものです。	ノート
1950	息子たちとの暮らし	あの当時は皆がいらいらして言葉使いも荒っぽく心にずきとくるものがありました。こちらに来てから息子も心にゆとりができてか、一寸でも親孝行しようという気持ちになっている様子でやさしく接しやさしい言葉で話しかけてくれ幸せです。 嫁の実家は福島県〇〇町でここから40分位で行ったり来たりでき、あちらのご両親も埼玉より宮城県〇〇市に住むといたことでとても安心したようで、こんなうれしく幸せなことはないといっていました。 私は1年埼玉で友をつくり自らサークルに入会を求め努力してきたものをまた、他の地に引越すことに抵抗がありましたが、今は元気でもやはり今後年をどんどんとり自由がきかなくなった時を考え、また息子も一緒に行こうと云ってくれ、老いては子に従えと思い一緒に行動でき何とか世話になり、これが一番の幸せと思います。 また、マンション2F、3Fを借りお金は少しよけいにかかりますが、一日中若い人たちとワンフロアにて暮らすのも互いに大変と思います。これで良かったと思う。 そこで息子に云いました。 朝夕位は食事と一緒にしよう。そうでなければ孫と会う時間もない。ここまで移ってきた意味がないと…。 次の朝夕から嫁より「ごはんどうぞ」のメールが来るようになり一緒に食事しています。 私がなにか作っていくと何ももたないで、洗濯もしようと思うと一緒に全部やるから一、といわれ手伝いません。 昼は一人自分好みの味噌汁を作って食べている次第です。 言う事はありません。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1951	高速道路料金について	昨年一年間は長男が単身須賀川に住み、勤務先は〇〇通勤に苦勞し、週末は私、嫁、孫が避難している埼玉県〇〇市へ通うことになり、孫の「パパいかないでー」の言葉に皆泣いたものでした。その時大変助かったのは高速道路無料化でした。ガソリン代も大変でしたが…。 現在も上に同様をしているのが3男家族。埼玉県〇〇町に住む家族。第二原発に職場のある3男は週末には家族の元へ単身赴任のつらさをいやという程やっている。無料化がなければ生活はできない。3男は双葉町に売り出していた双葉ヒルズ分譲地を求めマイホームを建てやっと夢の生活がはじまり〇ヶ月でそこを離れることになり落ちこみました。	ノート
1952	選挙	政治は余り好きではない。 でも投票に宮城県〇〇市の投票所に行きました。担当者は親切だった。この声が一寸でも届けばいいなー。 双葉町からは老夫婦が投票に来たとのこと。 どなたなのかお会いしたいが個人情報教えてもらえない。	ノート
1953	町から支援物資届く	丁度、米、餅など買おうと思っていた所だった。 一寸感激した。	ノート
1954	ダルマ市参加のため宿探し	町ダルマ市イベントにフラダンス出演依頼があり宿をとるのに苦勞した。舞子浜のかんぽの宿いわきに一室のみ空きがあり確保する。4~5人の参加。	ノート
1955	町長不信任案成立	井戸川町長不信任案成立とのニュース。 議会もどうなることやら…。	ノート
1956	伊集院静氏の話を感じたこと	私たち原発で家を追われて現在に至っているが、もっと大変な人々がいる、いっぱいいるという事。 話の内容は立派なことをいっている。 これは1000年に一度の出来事なのだから。	ノート
1957	ここで一句	放射能 家はあっても 帰れない 原発が なければ良かった 双葉町 旧友と いつ会えるのか 避難の身 わが家には いつ戻れるのやら しびれがきれる あきらめを いいきかせても 戻りたい	ノート
1958	議員選挙の通知	町会議員選挙の通知が届く。 これから町の行方は？	ノート
1959	最後に	遅くなりました。 みなさんもどうぞお体に気つけて町のために活躍下さい。	ノート
1960	自己紹介	この度みんなでまちづくりマイノートを配布していただき有難うございました。  私は今年満91才を迎えており認知症にかかっており、字を書くのに目が見えなく片目（右失明）しており難儀しております。  終戦翌年の昭和21年（1946年）6月に現住所双葉町〇〇に復員して居住して65年目の平成23年（2011年）3月11日午後2時46分東日本大震災地震津波原発事故にあい、余儀なく〇〇に避難しております。残念で堪えません。でも津波で家を流失され親夫婦、子供達と離ればなれにあった方からみれば私達家族は無事でしたから不幸の幸であると思っております。	ノート
1961	避難時について	当日午後2時46分突然大地震発生し度々の余震でその夜は私の屋表に孫夫婦が家を新築したばかりなのでその夜は家族みんなで孫の家に泊り翌日の朝避難することを聞き、私はどうして避難するのか判りませんでした。 避難先の川俣カ岳中学校で〇〇さんから津波と原発事故を知りました。双葉広報の知らせがなかったと思います。	ノート
1963	日記より	東日本大震災発生から早いもの三十五日経て、私の心は落ちついて参りました。昔の思い出も書きました。自然に囲まれた思い出のある故郷は今は大変な災難地区に放射能に悩ましい故郷となり残念で堪えません。一日も早く帰ることを念願してペンをおきます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1964	一時帰宅をして私が感じたこと	今日の帰宅で若夫婦5回目であり、私達夫婦 私満91才妻82才 初回であります。当日19号台風で朝8時30分頃雨が降っており心配しておったがだんだん小雨となり晴間が出てよかったが帰り柏崎についた頃大雨となり、でもアパートに着いた頃は雨となり御無事で帰宅が出来て安堵しました。 1. 周囲の環境、道路両側は見渡す限り背丈の草が生茂っており、基盤整理した田園の面影がなくなって残念でした。 2. 道路は特に沢入口から石熊に通ずるところにとりどころ亀裂があり、自動車の運転が困難である。 3. 墓場が草むらで墓の形が見えないし、祖先の墓まいりが出来ないので祖先にすまないと思ひ残念でした。	ノート
1965	私の家屋について	1. 外壁のモルタルにひびが入る。少しはがれたところもある。 2. 風呂場のタイルにヒビ割れる。はがれたところもある。 3. 家の中にハクビシンが入り糞だらけで畳や布団類がだめになった。 4. 私が一生涯をかけて退職記念につくりあげた庭園も今は草むらで眺める面影もなく苦勞したかいも今では水の泡に帰して私の気持は残念に堪えません。 5. この様な状態では、家には住むことが出来ないと考えます。	ノート
1966	私のゴールを100才と決めた	私は今年91才を迎えました。ゴールを100才と決めました。そして日々の日常生活を楽しく家庭を円満に生きていきたいと思っています。日課は避難生活のため広報の情報もなく庭園の手入れもないので、健康維持のため規則正しく生活習慣を身につけて、まず、①夜9時に寝朝6時に起床する、②まず散歩朝晩各30分位1日1時間、③新聞を読むこと、大事なところを書きとること、④テレビを見ること、⑤毎日日記を書くこと、一日500字以内、書けない字は辞書を見る。最後に双葉町復興と〇〇家再建に努力する。	ノート
1967	返答に困った電話	私の知人は3年後に会社を退職して、わが故郷双葉町に住みたいと新築を2年後にしたいと言う。 突然の電話で私は返答は困った。彼の故郷には昔の思い出が山積みしており、親戚や友人もたくさんいるので余生を故郷で楽しく暮らしたかったからであるが、私から現在の双葉町放射能の線量では到底無理であるので、私達も何時戻れるかわからないのでそのこと話すと、彼は非常に落胆している様子であった。私も本当に気の毒と思って彼の余生を悲しく感じた。人間は錦を飾って故郷に帰るといふ言葉を思い出す。残念でならないと思います。	ノート
1987	4. ②避難生活1年8か月により町民の避難地域への定着化と長期化の不安	下記の様に双葉町民は全国に分散している。 ◆福島県内に避難されている方 3686人 ◆福島県外に避難されている方 3278人 ※旧埼玉県立騎西高校…159人 内訳 【都道府県別避難状況】 40都道府県 3278人 【福島県内市町村別避難状況】 42市町村 3686人 それで下記の状況が予想される。  避難地住民への融和化、公共施設・病院へ通院の安定化、将来の永住に向かって家を新築、土地を購入した方もいる。子供の学校の入学転校問題、反面いじめ等の問題もありその反対もあるだろう。 上記の問題が、年数に比例して町民の定着化が進んでくるのに伴って、生じるものと思われる。特に、旧埼玉県立騎西高校…159人への批判、仮設住宅の窮屈さ、借上げ住宅住民の孤立化、借上げ期間の問題があり、将来についてどう判断してよいか迷う町民が大部分であろう。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1989	5. 住民票を移さずに避難している住民の方のメリット	<p>原発避難者特例法に基づく指定市町村及び特例事務の告示等について指定市町村から住民票を移さずに避難している住民の方は、指定市町村または福島県が提供すべき行政サービスのうち、自ら提供することが困難であるとして総務大臣に届け出て告示されたもの（特例事務）については、原発避難者特例法に基づき、避難先団体から受けることができます。</p> <p>平成23年11月15日、原発避難者特例法に基づき、次の事務が特例事務として告示されました。</p> <p>【医療・福祉関係】8法律166事務（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定等に関する事務（介護保険法）</li> <li>・介護予防等のための地域支援事業に関する事務（介護保険法）</li> <li>・養護老人ホーム等への入居措置に関する事務（老人福祉法）</li> <li>・保育所入所に関する事務（児童福祉法）</li> <li>・予防接種に関する事務（予防接種法）</li> <li>・児童扶養手当に関する事務（特別児童扶養手当等の支給に関する事務）</li> <li>・乳幼児、妊産婦等への健康診断、保健指導に関する事務（母子保健法）</li> <li>・障害者、障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務（障害自立支援法）</li> </ul> <p>【教育関係】2法律53事務（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の就学等に関する事務（学校教育法、学校保健安全法）</li> <li>・義務教育段階の就学援助に関する事務（学校教育法、学校保健安全法）</li> </ul> <p>※事務数は事務の根拠となる法律または政令の条項数によるもの。</p> <p>特別事務については、事務の引き継ぎ、準備期間を経て、平成24年1月以降、避難先団体から提供されることとなります。</p>	ノート
1990	6. 住民票を移すデメリット	<p>①住民税が課税される。 →双葉郡の町村も住民税の課税を再開しているところがほとんどで税金は変わらないかもしれませんが。</p> <p>②所得税等の申告期限の延長措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>③高速道路の無料措置が受けられなくなる可能性がある。該当措置は2013年3月で打ち切られる可能性が高いためあまりメリットはないかもしれません。</p> <p>④役場からの義援金がもらえなくなる可能性がある。</p> <p>⑤医療費の無料措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>⑥不動産を購入する際の登録免許税（契約書）の減免措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>⑦その他原子力被災者が今後受けられるであろう行政や税制上の様々な優遇措置等が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>※住民税は1月1日現在の市町村から課税されますが、その他の措置については住民票を移しても2011年3月11日現在で判断されるかもしれませんので、役場や関係機関に個別に確認した方がいいと思う。</p> <p>住民票を移さないデメリットとしては、住民票上の住所地以外の市町村において不動産を購入する際、司法書士の登記料が約10万円程度高くなります。</p> <p>私は様々な行政や税制上の優遇措置、役場の基本方針（仮の町、被災者住宅、町村合併等）がはっきりと確定するまでは待った方がいいような気がします。あとはメリット、デメリットの情報を最大限集約し総合的に判断するしかないと思います。</p> <p>医療費免除は手続きすれば、住民登録を移しても受けられるようです。</p>	ノート
1991	7. 双葉町の将来像についての試案	<p>福島県内外の幼児、小・中学校児童生徒数[H24. 11. 1現在]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県内…296名（約44%）</li> <li>・福島県外…375名（約56%）</li> </ul> <p>将来、児童生がは双葉町に戻る確率はかなり低いと思う。</p> <p>双葉町の平均寿命 女性85.5才 男性78.0才</p> <p>20年後現在の町民平均寿命に達する可能性がある。残念で悲しいことであるが、双葉町は消滅してしまう可能性がある。</p>	ノート
1992	7. ①戻らない人のために将来に向けての生活再建援助する施策を講ずる	<p>東電の説明会では帰還困難地域が75%あると説明している。東電の賠償で区画割りを行い帰還困難地域に該当しない世帯に町は援助する。中間貯蔵施設候補地の現地調査を受け入れる。結果により、賠償を求める。とにかく他町村より何事も後手である。</p>	ノート
2007	双葉町を出て	<p>双葉町から出て気づきました。人間関係がむずかしかったと感じました。</p>	ノート

### 【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された町民の意見・提案のこと。  
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1201	復興とは何か	人間としての復興をまず手助けしてほしい。	1	05いわき
1201	コメント1	原発事故のせいで避難生活、原発立地地域なので事故後も原発の普及作業。被害者なのに客先が加害者なんてストレス溜まる一方。		05いわき
1257	差別	仮設の人と借上げの人の差別がすぎることに納得がいかない。	1	05いわき
1257	コメント1	「借上げに住んでいるから支援はほとんど受けていない」と町に相談したら、「自分で埼玉に取りに来ない人にはやらない」と双葉町職員に言われたことがあります。借上げ住宅に避難している人を双葉町民だと思っていますか？		05いわき
1257	コメント2	ペットが居る為に自己負担の賃貸住宅を契約しました。契約に要した費用を東電に請求しましたが拒否されました。町に相談したら個人でADRに申し立てできると言われて終わり。		05いわき
1293	心配事	避難民ということでバッシングを受ける。子供たちも心配。		05いわき
1293	コメント1	育てたように子は育つ！！		05いわき
1294	自立	自立しないといけない。	2	05いわき
1294	コメント1	特に加須に避難してる住民はね！！		05いわき
1294	コメント2	依存するのも程々に		05いわき
1294	コメント3	自己の問題だと思えます。それにブログと違いますので1スレッドで箇条書きでまとめて投稿されては如何ですか？何人かいらっしやるようですが、見る方も助かります。	1	05いわき
1417	受け入れ	埼玉で車検を受け入れてもらえない。そのため、車のナンバーを変えた。		05いわき
1417	コメント1	私は埼玉で車検しましたよ。		05いわき
1470	現状	一部の人の行いで、多くの避難者が双葉町民と名乗りづらい。	1	05いわき
1470	コメント1	騎西高校に来たボランティアの方がブログなどに書いてます。		05いわき
1560	借上げ住宅	仮設住宅で行われているイベントがうらやましい。借上げ住宅は孤独。	1	06郡山
1560	コメント1	借上げ住宅になんか芸能人も来ない、ボランティアも来ない、支援物資も届かない、仮設住宅の行事なんか案内も来ない、周りに知人なんかいない、時々自分が誰なんだかわからなくなる。		06郡山
1646	住環境	借上げ住宅、仮設によって差が大きいのがストレスの原因になっている。	1	06郡山
1646	コメント1	どうすればいいのだろう。		06郡山
1657	補償	2011年11月以降に発症した病気に対する補償もしてほしい。		06郡山
1657	コメント1	因果関係を証明すればいいのではないか？		06郡山
1669	住宅ローン	住宅ローンの利息を東京電力に払ってほしい。		06郡山
1669	コメント1	なぜ利息なのか？どうせなら全部でも？		06郡山
1669	コメント2	私的債務整理ガイドライン。		06郡山
1708	生活	法の下で平等なのか、知りたい。		06郡山
1708	コメント1	平等じゃね～よ。		06郡山
2115	差別	願わくば、福島的女性が変に見られないよう皆で注意して生活していきたい。		07つくば
2115	コメント1	本当にそう願います。そして、男性も差別されるようなことのないような日本であって欲しいです。		07つくば
2462	火災の責任	9月15日に帰ったら、草ぼうぼうだった。冬を過ぎれば乾燥して火事の危険がある。もし今の双葉町に火が出たら全滅してしまう。その賠償はどうなるのか、東電・国がとるのか？		さくらG
2462	コメント1	もしもの話をしたらきりがない。しかも今回の事故・・・		さくらG
2645	差別的な対応への不満	避難者は県外に行くと「税金で生活してる」と思われてしまうので、肩身が狭い。		会津若松G
2645	コメント1	そんな事ないと思えます	1	会津若松G

2783	避難先での交流について	借上げ住宅に引っ越してきた当初、ゴミ出しにいくと「町内会費も払わないでただでゴミ出しして」なんて聞こえた。避難先の自治会に入ったら良くなった。	さくらG
2783	コメント1	当然の事です。その地区でお世話になってるんですから納めるべきですし、それが近所づきあいなんです。（自分もそうしてます）	さくらG
2808	双葉郡の人がうける差別の問題	いわきナンバーというだけで周囲の目が違う。	さくらG
2808	コメント1	そんな事無いと思います。	さくらG
2809	双葉郡の人がうける差別の問題	車を売ったが、いわきナンバーだと買ったたかれる。	さくらG
2809	コメント1	そんな事無いと思いますが...	さくらG
3104	補償の問題	引越しも結婚もだめ、住所変更しただけで補償が受けられなくなるのは不公平である。	埼玉G
3104	コメント1	そうなんですか？ 詳しい情報求む！	埼玉G

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
14	仮設住宅の管理	仮設住宅のカギを借りてる人と住んでる人が違うのはなぜ？ おかしいと、思ってるのは私だけなのでしょう。 カギを借りても住んでいない人も、中にはいます。 私も仮設住宅借りたいけど空いていないそうです。 加須市に住んで、なぜいわき南台のカギを持っているのか。 私には、理解できません。 カギを返すように管理してください。 私の、提案です。	3	HP
14	コメント1	初めて知ったw 不正と言う事でしょうか！？		HP
16	高速道路の無料化	加須IC（埼玉県）と桜土浦IC（茨城県）については、双葉町からの避難者のみを対象の考え方がわからない。避難者は全国にいるのに。	1	HP
16	コメント1	なんだ！完全廃炉で安全宣言が出るまで、原発避難者には全国の高速道路無料のパスポート化を！		HP
19	双葉町民の歌	毎日お昼に防災無線で流れていたオルゴール、あれは「双葉町民の歌」だったと思います。 震災前は何気なく耳に入ってきた音楽でしたが、何故か避難中の今すごくあのオルゴールが懐かしく思われます。 動画サイトで偶然聞いたとき私は涙が出ました、可能ならば仮設住宅等でお昼に流すことはできないでしょうか？ 借上げ住宅で避難中の私にとって双葉町との繋がりが日々薄くなっている感じがします、このオルゴールが双葉町民の絆になるのではないかと思います。	1	HP
24	生活再建とは	9月7日に「避難指示区域の見直しに伴う賠償基準」に関する説明会に出席した。新しい賠償基準の方針で、「生活再建できるような配慮した賠償の枠組み」とか「生活再建のためには、早期にまとまった資金が必要になることが多いと考えられる」といいながら、避難者にとって満足のいく賠償額の算定方法ではない。国、及び東電のイメージする生活再建とは、どんなものなのか提示させてほしい。我々にとって生活再建とは、早期に事故前の双葉町での生活に戻してもらうことであり、それが不可能なら同等の生活環境を確保してもらうことである。	1	HP
24	コメント1	コマドリさんこんにちは、国や電力が決めた賠償金なんか納得いかないですね。多くを欲するのではないけど、加害者側が決めた賠償って？変ですよ。		HP
24	コメント2	あまっちゃんコメントありがとうございます。私たちは無過失の被害者です、なのに全てが加害者側のペースで進む賠償制度ってほんとに変ですよ。		HP
30	精神的損害賠償	新聞で見た「失われた時をお金で埋める事は出来ない」という言葉に共感しました。でも加害者は納得のいかない額のお金で埋めようとしています。原発事故以降、多くの人が時を無駄にし人生そのものを狂わされました。なのに加害者側にはその意識が薄いように感じられます。精神的損害賠償は少なくとも廃炉作業が完了するまで続けてもらえないと考えます。	2	HP
34	住宅ローンと再建	震災前に家を新築したばかりで、原発事故後もローンは支払いを継続しています。 今は震災の救済処置で借上げ住宅の生活をしているため、家賃等は発生していませんが期限があります。その時仮の町や移住して現在のアパートへの継続生活を選択した場合、家賃を請求されたり、二重ローンを抱えることになってますが、これでは自分たちの再建どころか毎月の生活も厳しくなると思われれます。私のような悩みを抱えている方はいないのでしょうか？また町は国や東電に対して何か対策を要求しているのでしょうか？		HP
34	コメント1	「政府と金融機関などが、東日本大震災の被災者が自己破産せずに住宅ローンなど震災前の債務を軽減できる仕組みをまとめた。2011年8月22日から申請開始。」と出てますが 金融会社とかから通知来て無いんでしょうか？ 周知されてない可能性あるのかも！まずは銀行などローン会社に相談された方がいいと思います。的外れなコメントならご免さいです。	1	HP



no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
34	コメント2	〇〇さん、アドバイスありがとうございます。私の場合幸いにも仕事は失っておらず給料が支払われるので債務軽減の対象ではありませんでした。しかも、金融会社の説明では一時的に返済は停止できるものの、完済時期が遅れるだけとのことなので震災後からローンは支払いを続けています。余裕を持ってローンを組んではいましたが今後家賃や新たなローンを組む場合、家計を圧迫するのは必然なので頭が痛いです。		HP
34	コメント3	〇〇さん、そうでしたか。．．．震災で家を失った方や、そうでない方などいろいろなケースがあるので一概にはコメントできないとは思ってましたが。。。確かに頭が痛い問題ですね。内閣改造もいいけど、政府はこういう問題に真剣に取り組んで欲しいものですorz	2	HP
34	コメント4	国の目線が被災者に向いているとはどうしても思えませんね。選挙があるときだけ被災地に来て良い人を演じているけど、もう騙されません。パフォーマンスはもういらぬですね。被災者は何を必要としているのか吸い出しているのではなく、押し付けているだけにしか見えません。	1	HP
34	コメント5	確かにそうですね、10/7（日）に一時帰宅してきましたけど、総理が来るとかで第二原発入り口南側の登坂車線の所で検問してて大渋滞でした。今更来なくて良いのに、ありがた迷惑ですw あの規模の検問だけでどれだけ金が掛かっているのだろうか（へりも数機飛んで）その金が勿体ないw もっと有効な使い道あるのにorz	1	HP
40	音に関する問題が？	各地の避難所、仮設住宅等で、ご近所の音に関する苦情は無いですか？私のところでは、歯に詰まってなのか、シーハー、シーハーとしている人がいて困ってしまいます。たまになら仕方ないですが・・・。		HP
48	賠償と中間貯蔵庫	区域編成を受け入れる代わりに町民一律賠償を確実にすることが大切である。名目声明でなく確固たる確約をするまで、応じない態度が必要である。 中間貯蔵施設は先の賠償問題とは、別問題である。その施設を受け入れるなら政府がいう別の補償金が必要で、具体的金額を聞く必要がある。具体的金額の提示後に調査が始まるの事が常識である。 それ以前の調査には応じられない。	2	HP
49	復興は大事だが、、、	これからの生活に不安があるという人多いでしょうが、依存性が強いと自立できないんですよ。 自分の事は自分で決めるんですよ。		HP
50	自立	簡単には、自立という言葉を使うことが出来ない。 自立したいと思うが、あまりにも環境が一変しすぎた。 東京電力及び国に全面的に補償してもらって初めて出発点が見えてくる。 それが見えたところで、人生の余裕を感じる。 不安だけの状況では、自立は簡単ではない。 自分を省みたときの感想である。	1	HP
50	コメント1	こんばんわ もっとも意見だと思います。例えば震災で家が流された独り暮らしの高齢者に「自立せよ」と言っても実情無理です。酷な話でしょう。		HP
52	事故から一年半	いつまで被災者でいるんでしょうか？ 一生依存して生きるのには恥ずかしい事です。		HP
53	自立	私は、いま自立できないことは恥ずかしいと思わない。 それ以上に精神的苦痛は、被害者全員受けたと思う。 一年半以上たっても、苦痛に悩んでいる人は少なくない。 自立の第一歩は、自分の家族を復興できる賠償。 第二歩は、双葉町の完全復興。 それから将来が見えるのでは、ないだろうか？ この状況で、人に甘えたり、頼ることは悪いとは思わない。 自殺者が、この状況でも数が少ないのが心の救いと思われる。	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
54	個人復興に条件関する提案 1	<p>個人の復興は、当然ながら東電による十分なる賠償である。これから最大の賠償とされる財物賠償である。</p> <p>当初政府は、自治体が解除時期を『5年間帰らず』とするならば、町民の賠償の割合は、全損扱いと報道していた。</p> <p>また最近の紛争審査会の見解も放射線量が低い場合でも、隣接する地域の放射線量が高い場合（まだらな地域）は、財物の全損扱い和解を東電に促している。これに付随して他の賠償項目も5年間一律賠償を実施される。</p> <p>このようなことから、町長や町会議員の考え方を一つに持ち一刻も早い現実味のある賠償金を町民全体に通知できれば、個人の復興が見えてくる。</p> <p>双葉町は少なくとも上記条件に値する為、町一丸となって権利をもっと強く主張しなければならぬ。</p> <p>中間貯蔵庫に関してはこれらとは別の問題であり、別項目により議論する必要がある。</p> <p>これらのことが、町民が納得できれば双葉町の将来像に信頼感がより生まれてくる。よって双葉町の真の復興再生工程が現実になる。</p>		HP
55	一時立入 申し込みに ついて	<p>一時立入コールセンターに電話で申し込む度に、毎回同じ事を説明などしなければならぬ。</p> <p>例えば、</p> <p>「自宅以外の立ち寄り先で、墓参する場合、お墓はどこにありますか？」</p> <p>「何名ですか？」</p> <p>「送付先の確認」</p> <p>等々いちいち説明しなければならぬ。</p> <p>本人確認で仕方ない事だと思いますが、もっと簡単に申し込める方法にできないか。電話だけでなく、WebやE-maiで申し込める方法を希望。よろしくお願い致します。</p>		HP
57	原子力爆弾の不発弾がある町	<p>一時帰宅してる時に、爆発したらどうする？</p> <p>安全安心なんか言ってるけど？</p> <p>何を根拠にその期間に一時帰宅させてんだ。</p> <p>もし爆発したら、町を相手にするしかね～な。</p> <p>皆この話に、のっかれ～～。</p> <p>誰が被害者に補償をするか決めておけよ 町の執行部さん達よ。</p>		HP
59	町長に問う	<p>避難生活から早約1年7ヶ月たちいまだ双葉町の将来像が見えない。特に次の事を問いたい。</p> <p>1. まだ財物の賠償がはっきりしない。この補償は町民の生活再生を左右する。</p> <p>町の国に対する交渉により、賠償金額が変わってくる。言うまでもなく区域編成による賠償金額の違いである。現在一律賠償を訴えているが、これが現実になるまで町は国の言い分を受け入れないでほしい。</p> <p>2. 中間貯蔵施設の現実味</p> <p>確かに施設建設は町民の殆どが望まないだろう。しかし、受け入れ条件が町民に有利であれば、考える余地があるかもしれない。</p> <p>やはり十分な追加補償である。町民が納得いく補償金額が求められる。金額は一個人では言及できないが、おおよそ一人につき1億くらいが想像できる。</p> <p>3. 仮の町</p> <p>当然ながら希望する。しかし、問題が確かに多いが。解決策がないとは言いきれない。これから検証の必要性があり、時間をかけ臨むべきである。</p> <p>ただいえることは、行政のためが一番ではなく町民のためが一番と言う思考で思ってもらいたい。そうすれば町民は双葉町および町長に賛同する。</p> <p>以上、簡単な質問だが、ぜひとも現実味のある分かりやすい真意・言葉で町長から町民に発してもらいたい。</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
60	町議員に問う	『町長に問う』という提案項目と同様、町議員にも同じことを考えてもらいたい。その上町長と協力的に進め、将来性のある双葉町を作ってもらいたい。 個人感情は、第二の問題。第一が町民を優先させる考えを持ってもらいたい。なぜ、このような内容を投稿するかというと、町民は上記内容について同じ考えをしている。また町長と町議員の関係を良好と思っていない人が多いからである。		HP
60	コメント1	町政懇談会でどうぞ		HP
63	本当にどんな未来があるのだろうか？	<p>時間が経過していく中で、今回の東電事故問題が解決されていくように報道されていくが、本当に町民が思う未来があるのだろうか。 賠償問題、中間貯蔵施設、除染、そして帰還。 その後の町民は、以前暮らしていたもの（物質、精神的なもの）を取り戻せるのか？一つ一つ解決の検証を試みる必要があると思われる。そうすれば少なくとも点が線につながって糸口が見えてくる。</p> <p>まず賠償について。 区域編成を強制的にされ、賠償金の不十分な支払いの可能性。80%</p> <p>第二 中間貯蔵庫 中間貯蔵庫施設建設による不十分な賠償金の可能性。70% 中間貯蔵庫施設の異様な景観の可能性。100% 中間貯蔵庫施設の使用による不安の可能性。100%</p> <p>第三に除染 不可能に近い完全除染の可能性。100% 家の除染の可能性。30% 庭木の除染の可能性。25% その他雑地の除染の可能性。10% 山、木、河川の除染の可能性。5%</p> <p>その他上記項目以外に数え切れないほどある。少なくとも上記項目の解決策がなければ、帰還することは『到底出来ない』という結論に至る。 これは、現実なものであり、単なる論評ではない。 町にぜひとも解決策を講じてもらいたい。町民も協力するだろう。 私は、信じたい。</p>	2	HP
63	コメント1	私も、協力したいが、町から、前向きな方針をだしてもらいたいですね。	3	HP
64	東電、国は	<p>自分の町から避難を強いられ、苦痛を伴って強制的に仮設住宅、借上げ住宅に住んでいることを、本当に国、東電は認識し、我々に同情心があるのだろうか？次のことを再認識し、何らかの意思を示さなければ我々は君たちを許すことは出来ない。</p> <p>多くの老人は、住み慣れた土地で楽しく田んぼで米を作り、畑で作物を作り余生を満喫していたはずである。一変して、今は余った時間をどう処理していいかわからず、途方に迷って生き甲斐を奪われた。 若者は仕事を取り上げられ、将来の家族の生計に不安を抱いている人は多いはずである。半数の人が職種を変えた。その必要性もないのに変えずにはられない状況である。 学生達はよりよい生活環境で勉強する権利を奪われ、友達とも離れてしまう結果となった。幼児達は、最も放射線の影響を受けやすいため、県外に避難を強いられた。 動物たちは、飼い主に見捨てられ行き場所がなく、餓死した動物、確保された動物、人間の気ままな考えで動物の寿命に影響を与えた。その他生き物たち、放射線により何十年と今後手入れをしてもらうことはない。</p> <p>言葉では、言い尽くせぬほどの『悪いこと』をした者は、『良いこと』に変わるまで許すことは出来ないと思う。そうしなければ将来のある子ども達に申し訳が立たない。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
64	コメント1	事故から間もなく2年を迎えようとしていますが、私は復興について前進しているという実感がありません。周りでは復興の名のもと喜んでる姿をよく目にするようになりました、最初は私もそれを喜んでいましたが、自分の現状と乖離が大きくなり素直に喜べなくなってしまい、今では腹立たしささえ覚えています。世間では原発事故が風化し始めていること、これも国と東電のせいだと思うとこの怒りはどこにぶつければいいのだろうと思います。	2	HP
64	コメント2	スレ違いです。		HP
66	東京電力に対する要望	<p>東京電力は、福島県の復興支援のため、2013年4月から、全社員およそ3万8,000人を福島県へ順次派遣し、年間延べ10万人態勢で支援に臨む方針を検討しているようだ。</p> <p>それ自体は歓迎する、しかし福島第一原発の現状を見ると事故当初は低姿勢だったものの、今は事故前のような東電体質が既にはびこっている、地元の東電社員にはあまり感じられないが、応援でやってくる東電社員に強く感じられる、要するに他人事なのだろう。廃炉に向けた原発の後始末も大事だが、我々の住む町を汚してしまったことに対する対応が屋根の養生だけということに苛立ちを感じます。私が要望するのは、帰還優先の後除染では誰も帰りたくないのは当たり前です、除染が優先の後に帰還じゃないでしょうか。その除染も東電が率先して私たちの要望を受け入れ実施すべきです。そのための増員派遣ならば歓迎します。</p>	3	HP
66	コメント1	東京電力に期待します、社員用の仮設住宅（避難者仕様）を整備し、腰を据えて取り組んでほしいです。	1	HP
66	コメント2	同感です。東京電力何を考えている。時間がたつと加害者意識が薄れてくる。少なくとも我々の意見を永遠に訴える必要がある。東電の姿勢には賛成できない。	1	HP
66	コメント3	国も東電も口先だけは謝罪を述べていますが全く私たちには伝わらないし、賠償にしても国が東電を守るような指針にしか思えません。せめて行動だけは加害者としての誠意を示してほしいものです。		HP
66	コメント4	賠償wwwスレ違い。		HP
68	仮設住宅、借上げ住宅に住むということ	<p>約100坪の家に住んでいた。松の木、柿の木、グミの木、びわの木その他何十本の木々が生い茂る約200坪の庭があった。金魚も数十匹泳いでいた水槽もあった。</p> <p>何故いま仮設住宅に住んでいるのか？</p> <p>この現状を改めて考えると、今の政府の言動、東京電力の行動を簡単に許すことはできない。言うまでもなく謝る気持ちがあるならば、君たちが家を離れ、自主的に仮設住宅等に住んでみたらいいのではないのか？このくらい出来ない人に真実の言葉を発することが出来るのか？</p> <p>時折、悔しさと嘆かわしさがこみ上げてくる。</p> <p>少なくともこのような思いは、決して私だけではないであろう。</p> <p>何回も投稿をしている中で、同じ言葉だが全てにあきらめの気持ちではない。</p> <p>この機会に、町長、町議員そして町民が一致団結し、町の完全たる勝利を欲したい。</p>	1	HP
70	10月20日の記事を町、町議員はどう思う？	<p>『国の「原子力損害賠償紛争解決センター」は、被害者と東京電力との間の和解を中立的な立場で仲介するために設けられています。話し合われているのは福島県双葉町にある住宅と土地で（ふたばM）放射線量が比較的低いため東京電力の基準ではすべての価値が失われた「全損」扱いにならないとみられています。しかし、センターは今月、「住宅の放射線量が低くても、日常生活をおくる周辺地域の線量は高く、住宅は社会的な使い道を失った」として「全損」扱いにすべきだと判断したことが明らかになりました。その上で、東京電力の基準よりも大幅に高い金額を和解案で示したということです。』</p> <p>この記事はどこまで双葉町民に波及するのだろうか。双葉町及び町議員の意見を聞きたい。</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
71	10月31日の記事を町、町議員はどう思う？	<p>『佐藤知事は冒頭で「県民の生活が再建できるようこれまで何度も要望したが、対応は不十分だ。東京電力は原子力災害の原因者としての責任を最後まで完全に果たすべきだ」と述べました。要望書では、不動産に対する賠償の支払いを速やかに行うこと。』</p> <p>県知事が上記内容を東電社長に要求している、これに倣って、双葉の要求を求めたい。町長及び町議員の意見を聞きたい。</p>		HP
77	新たなる不動産賠償和解案について	<p>『東電、全損前提の和解案を受諾 双葉・浪江町民の不動産賠償 避難区域の見直し未了を理由に東京電力が明確な賠償基準を示していない双葉、浪江両町民の不動産賠償について東電は、政府の原子力損害賠償紛争解決センターから提示された「全損」を前提とした和解案を受諾した。申立人を支援する弁護士が3日、明らかにした。 弁護士によると、双葉、浪江、大熊、富岡の4町と葛尾村は避難区域の見直し協議が賠償問題の絡みで難航しており、東電の和解案の受諾は今後の区域見直しや賠償交渉に大きく影響する可能性もある、としている。 東電が受諾した和解案は双葉、浪江両町民がセンターに申し立てた不動産賠償それぞれ1件。センターは区域に関係なく全損を前提に賠償するよう東電に和解案を示していた。東電は7月公表の賠償方針で、双葉町や浪江町などの避難区域再編が完了していないとして明確な賠償基準を示していなかった。』 (2012/11/04 09:21 カテゴリー：主要) 民報新聞</p> <p>民報新聞から抜粋したものであるが、これで賠償問題が進んでいく気がする。さらなる詳細報道を。知りたい事がある。これに付随して、精神的損害、動産損害、中間貯蔵施設の割増損害その他損害を明確に町民が知り、目先の不安解消を拭い、更なる双葉町の将来像を町が導いてほしい。</p>	2	HP
77	コメント1	ありがとうございます。 県外避難者にとって重要な情報です。m(_ _ )m		HP
84	帰還を考える。(1)	<p>『大熊町 46%が「戻らない」 原発事故に伴う避難区域の見直しが進められている大熊町の住民を対象に町や政府が行った意向調査で、「現時点で町に戻らないと決めている」と回答した世帯が、46%に上がりました。大熊町の住民の意向調査は、町と県それに復興庁が合同で、5378世帯すべてを対象にことし9月に行い、64%にあたる3424人の世帯主から回答がありました。それによりますと、避難指示が解除されたあと、町に戻るか現時点でどう考えているか尋ねたところ、「戻らないと決めている」と答えた世帯が最も多く、46%に上り、次いで、「まだ判断がつかない」が42%、「戻りたいと考えている」は11%にとどまりました。「戻りたい」と答えた世帯を年代別に見ますと、60代以上では16%だったのに対し、30代までの若い世帯では5%で、世代間の考え方の違いが浮き彫りになった形です。 また、「戻らない」理由は、複数回答で「放射線量への不安」が81%、「原発の安全性への不安」が70%、「家が劣化し住めない」が68%などとなりました。』</p> <p>上記文章は、NHK報道の文章です。</p> <p>これを見て、多くの周りの町民は思うだろう。放射線の危険性、町としての社会再復興不安、従来の町の人々との絆不安、いろんな不安が積み重なりこの数字が示された。 この結果を国、東京電力が反省し、重く受け取らなければならない。帰還させるだけではなく、現状生活から将来が見えるより良い生活を導くのも大切である。 つまり、一人一人の要望に耳を傾けるべきである。 帰りたくないという人を帰還させるべきではなく、その人たちには、より手厚い支援、手助けが出来る国になってもらいたい。 そんな温かい社会を求める人は多い。 11月06日 19時45分</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
89	双葉町復興計画（1）	<p>1 第一弾計画  (1) 財物の賠償  (2) 仮設住宅、借上げ住宅、長期住宅の環境設備  (3) 教育環境の充実  (4) 町の一年後と計画</p> <p>復興計画にあたり目先の第一弾を提案する。</p> <p>(1) に関して  財物の賠償は、やはり個人生活再生に大きく影響するため、何度も投稿した内容と同じになるが、区域区分に関係なく一律賠償を願う。町から発行しているものを拝見すると、一律賠償を国に求めている状況は分かるが、要求の進捗状況の知らせ、また状況が変化した場合の説明を町として通達して欲しい。随時、東電、国の対応に関して町の取り組み方を説明し、町民が安心できるように媒体を使って随時伝達する。  今回は、第一弾（1）を提案します。</p>	1	HP
92	双葉町復興計画（1） - (2)(3)(4)について	<p>1 第一弾計画  (1) 財物の賠償  (2) 仮設住宅、借上げ住宅、長期住宅の環境設備  (3) 教育環境の充実  (4) 町の一年後と計画</p> <p>復興計画にあたり目先の第一弾を提案する。</p> <p>(2) に関して  安心して暮らせる住宅環境を確保しなければならない。  ・仮設住宅  主に年配者が住居に選んでいるため、町が思いやりのある仮設住宅地域づくりが必要。  ・借上げ住宅  ・長期にすめる住宅  今後帰還するまで、あるいは放射線の安全性が認められるまで双葉町のひとつの街づくりの基本となる住居が必要になる。  (3) に関して  安心してまなべる環境をつくる。  教育に関して保護者は、いろいろ問題を抱えているので個別相談窓口を整える。  下記のようなことが考える。  ・いわき方面の学校を選ぶには？  ・仮の町が決まらないと進学地域が決まらない。  ・入試の際の学区？  ・進学にあたっての学校情報？  (4) に関して  町の半年、一年の短期的取組目標を具体的に掲げてもらいたい。  下記の理由が考えられる。  ・長期的目標も大事だが短期的目標が分かれば、町民として短期目標を合わせやすい。  今回は、復興第一弾の（2）（3）（4）について提案します。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
96	財物賠償の全損扱いについて（弁護士情報）	<p>町も復興計画を策定できれば、計画に沿って速やかに実行できることを願っています。その中に盛り込まれると思われる財物賠償について提案したいと思います。</p> <p>弁護士の今までの実績と見解は、次のようである。 先日双葉住民の一人は、弁護団に依頼した財物賠償について『放射線線量が低い地域でも周りの線量が高いため事実上長期の生活権を奪われた。その理由で財物の賠償を全損扱いと東電に申し入れた』 その結果、東電の言い分を退け、全損扱いに決定した。 弁護士が言うには、『双葉町は全区域、上記の結論になるでしょう』と言っていました。（あくまでも弁護士の説明ですので、事実は再度確認、注意してください。）</p> <p>このような事実があるので、ましてや双葉町は弁護団を備えているので、今度の復興計画は、自信を持って強く東電、国に主張してもらいたいと提案します。 出来れば、町民に先行宣言（確かな情報）などフォーマリーなスタイルでなくラピッドリー情報も必要かと思えます。</p>	1	HP
96	コメント1	金の心配ならするな。ともう少ししたらハッキリ言います。		HP
96	コメント2	『もう少ししたらはっきり言います』とは興味深い発言ですね。ぜひ今教えてくれませんか？残念ながら私には、想像できません。楽しみな内容待っています。		HP
96	コメント3	流動的ですが、国会の関係でコメントしたつもりでしたが・・・今日になって原発被災者弁護団のHPで、いわき地裁で東電相手に損害賠償の訴訟を12月4日に申し立てるとありました。前述の通り流動的なので日々刻々と状況が変わっています。住んでいる地域ごとに情報の得やすさがあると思うので、シェアできるといいですね。		HP
96	コメント4	精神的慰謝料が25万まで認められる和解案が認められたようです。		HP
96	コメント5	URLを貼れば済むことです。		HP
97	仮の町	ある日突然に住み慣れた町を追われ、今現在皆さんはそれぞれの住んでいる土地にすっかり馴染んでいるのでしょうか？ 明るく元気には心がけていますが何か不安で本当には落ち着いていません。 仮の町についていきたいです。	3	HP
97	コメント1	最後の復興会議で各地の動向を見極めるといいですよ。		HP
97	コメント2	〇〇さんへ ありがとうございます	1	HP



no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
98	帰還への要望	<p>一時帰宅のたびに自分の家、庭、田畑が朽ち果て、益々荒廃する現実 に自分一人では何もできない悲しみや悔しさが増していきます。国や東電 主体の賠償や除染にも納得できないことばかりですが、自分は双葉町に 帰還する夢はまだ諦めてはいません。ただし、帰還には条件があります ので以下に述べます。</p> <p>雇用と環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋敷周りや田畑の草刈をして、荒廃を防止したい</li> <li>・除染は町民や双葉町が主体になり実施計画を立て国や東電が責任を もって行う。</li> </ul> <p>町民が除染を行う場合、危険手当もしくは給料を国が支払い、雇用の確 保をする。（現状は国から依頼された警戒区域の除染作業員には原発から の距離や線量に応じて最高1万円/日、支払われている）</p> <p>居住と賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインを早期復旧して、希望者には家屋の修復と自由に帰還で きるようにする。</li> </ul> <p>賠償方式は現行の精神的損害一人10万/月が良いが、帰還困難、居住制 限、早期帰宅準備区別せず一律双葉町の線量が事故前に戻るまで、もし くは原発廃炉が終了するまでとし、帰還する人しない人すべての町民に 支払う事。</p> <p>かなり個人的で一方向的な考え方もかもしれませんが、とにかく「双葉町を 知らない国や東電、除染作業員に何ができるのだろうか？」という思い で書かせていただきました。</p>	2	HP
98	コメント1	<p>除染作業は1日最高で一万円本当ですか？</p>		HP
98	コメント2	<p>本当です、国から依頼された警戒区域の除染に限り線量や原発からの距 離に応じて最高一万円/日の危険手当が支払われています、一日です よ……。しかし除染を請け負う一部の会社が除染業者に危険手当を 支払っていない事が発覚し県内のニュースにも取り上げられました。も う一つついでですが福島第一原発の復旧作業に関わっている人たちには 国からの危険手当は支払われていません。協力会社の人や他県から仕事 を求めてくる人たちは当然安い給料、危険な原発で全面マスクを着け重 労働、東電の厳しい制約を受けながら働くよりも割のいい国の除染作業 の方がいいと転職する人も増えています。除染や復興の協力はありがた いことですが、双葉町を金目当てとして捉えられるのが辛く自分でやり たいこととして提案させてもらいました。</p>		HP
98	コメント3	<p>おっしゃる通り、故郷が荒廃していくのは見ていてとても耐え難い物が あります。せめて荒れ果てるのは避けて欲しいというのが痛切な思いで す。しかし現実としてチェルノブイリでは町がどうなったのか知るべき です。あまりにも線量が高すぎて悲しい最後を遂げました。3年後、5 0年後でもかまいません。帰るにしてもそれまでどこに住んでどんな人 生を送るのか誰かがやってくれるのを待っていても何も起きませんか ら。</p>	2	HP
98	コメント4	<p>残りの人生と現在の双葉町の線量から被曝に対する影響のリスクを何度 も考え、私と妻はいずれ近いうち自宅に帰ることを選択しました。子供 たちが自立するまでは妻が放射能の影響のないところで育てる計画で す。私は自分が望む生き方で人生を全うしたいし、いつの日か子供達や 子孫が双葉町での生活をしたかった時に住める環境を作っておきたい のが希望です。</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
124	どうするのか双葉町	<p>目先の賠償案は、決まった。国と町が早急にすり合わせていこう。</p> <p>第二弾の賠償案要求は、中間貯蔵庫施設についてである。町長のメッセージにあるように8項目の質問状に対して国の返答は不十分と見なされる。これでは会議に挑む気持ちが薄れるのは当然であるが、各関係者には違って見えた結果になった。 これが日本の社会なのだろう。 またPDFで施設から2km人家がなくなると町長はメッセージを送っている。他町村はこれを見ていかに思うのか。静観して結果を考えてみたい。 その上で賠償案を考えていくべきだ。</p> <p>第三弾の賠償案は6年以降の賠償請求である。相当に国、東電は減額してくるだろう。危険にさらされた賠償金とは程遠くなるに違いない。ここで妥協案を考えるべきではない。本来なら町が将来の賠償も視野に入れて考えてくれると心づよい。</p> <p>話は変わるが、今月18日に町長不信任案が提出されるかもしれない。可決される可能性がある。 町長は偏屈なところもあるが、頑張っている。水面下では賠償、中間貯蔵施設について動いていた。今回の区域編成賠償案発表で町民も理解しているはずである。 私個人的に、不信任案を出さないで欲しい。町一丸で動けば双葉町の将来が見える。町長は今以上に情報を発信してもらうことを前提とする。</p>	3	HP
124	コメント1	同感です。	1	HP
177	コメント13	<p>私は3点ほど要望があります。 まずは加須の避難所を早急に閉鎖し、役場機能の県内移設を希望します。 それと避難所と仮設住宅と借上げ住宅の格差是正ですね。 最後に仮の町も含めた災害公営住宅の建設についてです。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
177	コメント14	<p>加須の避難所は閉鎖すべきですね。 みんな仮設なり借り上げ住宅なりで生活してるのに、いまだに避難所って・・・ 避難所にいる人達は、色々理屈をこねて避難所存続を訴えているようですが、結局、本質は電気も水も使い放題な生活に慣れてしまっただけだと思いますね。 いい加減「我々は被災者様」等という考えで人に頼り切る生活は捨てて、これからの町づくりを皆で考えるべき時だと思います。</p> <p>役場機能の県内移設も必須ですね。 テレビなどでは埼玉に避難している人が「役場が福島に行くと自分達が取り残される恐れがあるので移転しないで欲しい」と言ってるみたいですが、そもそも、双葉町は福島県の町なんですから、役場が福島県にあるのが本来の姿だと思います。 県内にいる町民が役場が県外にある事で不利益を被る方が余程おかしい状態だと思いますし。 先日、郡山市で行われた公開討論会に行ってきましたが、伊沢候補は、役場機能移転に際して前町長が発言したいわきに役場機能云々…という発言をまずいわき市に謝罪する事から始めます・・・ とっておりました。 尻拭いご苦労様ですね・・・</p> <p>因みに前町長は司会の「復興が他の町より遅れてる」という言葉に「町の復興は遅れてません、どこが遅れてるのか逆に聞きたい」…等と噛みついてました（笑）</p> <p>後は、復興住宅に関しては出来れば一戸建て…再編説明会で町が用意した資料に記載されていたような長屋タイプが理想ですね。 避難前は一軒家住まいだった事もありマンションタイプは馴染めないです… 病院、学校、職場の確保も必要でしょうね。</p>	2	HP
185	避難区域の見直し	<p>避難区域の見直しによる帰宅困難区域については「将来にわたって居住を制限することを原則とし、少なくとも事故後6年間は固定する」とある。 現時点で除染、インフラの復旧、及び帰還時期の見込みはたたないという事である。 それを避難住民に強いて避難生活の長期化を覚悟させるのであれば、賠償金の一括払い（包括請求方式）を用意しましたという事ではなく、少なくとも「精神的損害」については増額するぐらいの配慮はないのだろうか。 町は国、及び東電に誠意をしめすよう求めてほしい。</p>	2	HP
185	コメント4	<p>残念ながら原発事故以降福島県内のある自治体住民から双葉郡は「恩恵を受けていた、加害者、出て行け」等の誹謗中傷を受けています。 最近では公共施設への落書きによる暴言や仮設住宅の車両を狙って壊す等ニュースにもなりました。当然双葉郡の殆どが避難している自治体なので公共施設、医療、交通、住宅問題等が出てくるのは当然ですが、被害者である私たちの気持ちは理解してもらえないようです。 子供たちにも被害が始めています、だから良くないことですが私の子供には双葉町民であることをなるべく言わないように指導しています、まるで隠れクリスタンのような状態です。 そういったトラブルを含めて国や東電、そして町長にも対策を求めたいと思っています。</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
185	コメント5	<p>ありがとうございます。 驚きました、びっくりです。故郷を追われてこのような生活をしているのに、その上その様なストレスを抱えての日々・・・想像をすると胸が苦しくなります。 現実を突き付けられた気持です。嫌がられていると言う事ですね、私たちは。 勉強しました。 本当の心から、というのは難しいですが、子供たち、家族が明るく楽しく毎日を過ごしたいです。</p>	1	HP
185	コメント6	<p>&gt;恩恵を受けていた・・・ 個人ではあまり利用しないだろうと思われる施設など間接的には確かに恩恵あったのは事実でしょう。</p> <p>しかし根本はそんなところではないと思う。 「双葉郡だけ！それも大熊、双葉や浪江だけ、金貰ってたんだろ！？」 「双葉郡が賠償金出て！いわきは出ない！」 多分こんな内容だと思います いわきに限らず相馬も同じだと思いますし、双葉郡内でも温度差があると思います。</p> <p>以前プライベートで関東圏内で小会合があった時にも、同じように袋だたきにあった事がありました。 「震災以前双葉郡の人はみんな東電から金貰ってたんでしょ！？」 「貰ってたくせに尚且つ賠償金か！」</p> <p>『でもそれは漁業関係者だけで「原発が原因で漁業権を放棄する」場合の保証金なんだよ！船主は五千万、乗組員は三千万で親子で漁師だったら数千～億出てたらしいよ。だけど一般人には無縁の話なんだよ』『それを目論んでかN町職員辞めて漁師になった人も居ましたけどね』って説明したら「知らなかった！初めて知った！お陰で疑問だったのが解決した！ありがとう」って逆に感謝されました。</p> <p>ですから言われるのは仕方ないと思います、でもコソコソしたりするのではなく、キチンと説明や返答ができないとそういう問題になりますし、もっと大きな問題になりかねないです。</p>	1	HP
185	コメント7	文中訂正：保証金 →補償金		HP
185	コメント8	<p>説明して理解してもらえるならそれに越したことはありませんね。 自分が避難している自治体の住民の方は、それでは収まらないくらいの感情で避難者を見ている、職場ではいじめに近いくらいの偏見（賠償金いくら入ったの？働く必要ないだろう等）とか双葉町と書かれた履歴書を見ただけで不採用になった人もいます。子供に対しても親のいないところで「父ちゃんは賠償金でパチンコ行ったのか？母ちゃんは高級なネックレス買ったんだってな？」こういう会話が実際交わされているのです。</p> <p>しかし、どんなに説明しても多勢に無勢という場合が多く、正論だけでは通用しなくなっているのが現状です。原因は津波被災者への救済と原発事故被害者への賠償の捉え方がごちゃ混ぜになっているからではないでしょうか。</p> <p>とにかく、国と東電が原発事故の加害者であることを認め避難者が納得できる賠償と、震災被災者への救済をしっかりとやることだと思います。その上で、何の罪もない子供にその被害が及ぶくらいならば、親にとっては卑怯と言われても我慢するときもあります。</p>	1	HP
185	コメント9	あからさまな暴言、偏見、間違っていますよね。同情いたします。		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
185	コメント10	私は健康な日々を送っていません。 健康の定義にはあっていない毎日です。 不安になったり、動悸がしたり、今までになかった精神の状態を感じています。その中で、いわれなき言葉に憤慨です。		HP
185	コメント11	県外に避難しています、犬と一緒になので避難所に入れず、義兄を頼り今の地にたどり着きました。 周囲に原発事故避難者は見かけませんし、交流もありません。 知人も何人か県外に避難していますが、車に悪戯されたり、地元ナンバーに変更したり、自主避難者との間に溝を感じたりと精神的な苦勞が多いようです。 私も「賠償金を貰ってるからいいだろう」みたいな話は聞きました。	1	HP
185	コメント12	県内県外に関わらず同じような偏見を受けているんですね。 悲しいことです。 風評被害を言うならば、これもその一部じゃないでしょうか。 普通の生活がどれだけ幸せだったのか肌身に感じています。 金だけでなく本当の幸せを取り戻したいです。		HP